EPSON

EMP-7850
取扱説明書

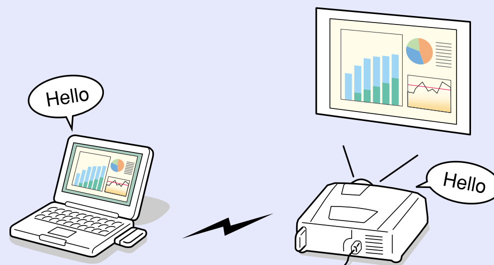


本機の特長

ネットワークに対応

以下のような、ネットワークに対応した多彩な機能を利用できます。

- ネットワークに接続しているコンピュータの映像を投写できます。
- 投写中のランプ切れなどプロジェクターに異常が発生した場合に、プロジェクター自らが電子メールで状態を通知します。



「EasyMP」をお使いになるときは『EasyMP セットアップガイド』と『EasyMP 活用ガイド』をご覧ください。

- タテ補正で投写映像の高さが低くなっても補正できます。
(高さ補正 ☛ p.47)



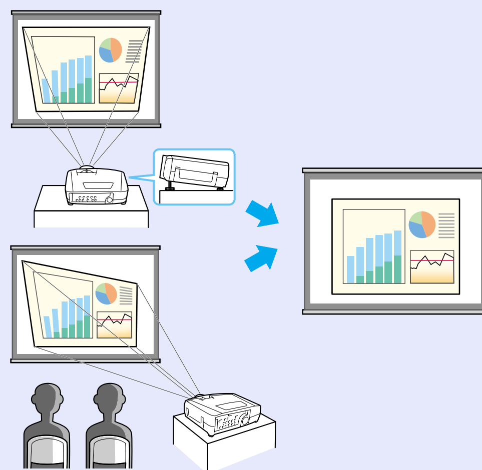
- 4つの角を補正するQuick Cornerでスクリーンピッタリに補正できます。☛ p.48



多彩な投写画面の補正機能

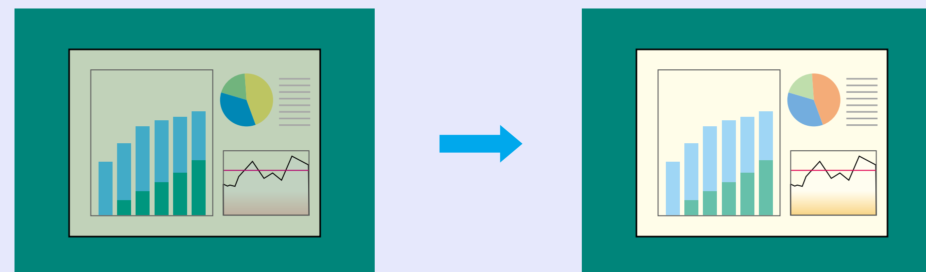
設置する場所を選ばず、最適な映像で投写することができます。

- フロントフットで本機を傾けたときの投写映像の台形ゆがみを自動的に補正します。
(自動台形補正 ☛ p.46)
- スクリーンのサイドから投写したときの投写映像の台形ゆがみも補正できます。
(タテ補正、ヨコ補正 ☛ p.46)



Wall Shot

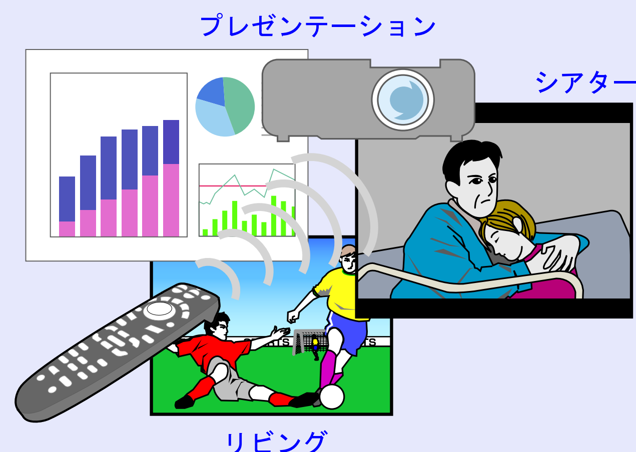
スクリーンのない場所でも映像本来の色を損なわずに投写できます。黒板や壁などに投写しても、映像本来の色に自動調整できます。
☛ p.50



カラーモード機能

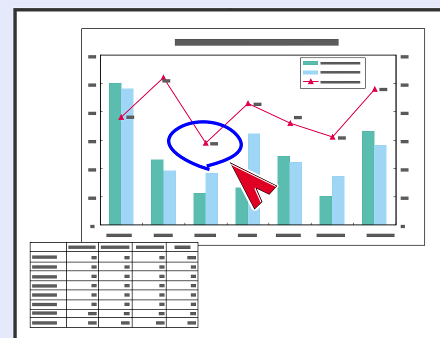
あらかじめ登録されている次の5つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写できます。面倒なカラー調整は不要です。☛ p.54

•ダイナミック •プレゼンテーション •シアター •リビング •sRGB



エフェクト機能

リモコン操作だけで、重要な箇所をポインタアイコンで指し示す、直線やフリーハンドで線を描いてポイント部分を強調することができます。☛ p.64



美しく鮮明な映像

高解像度、高輝度による鮮やかな画面を実現。
また、暗い部屋で投写したり、小さなスクリーンに映す場合など投写映像が明るすぎるときは、低輝度に切り替えられます。☛ p.84



目次



応用編

困ったときに

付　録

TOP

使い始めるまでの準備

この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明しています。

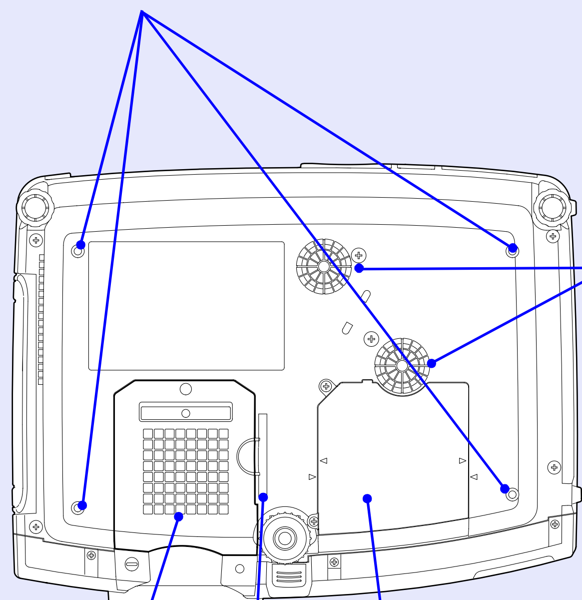
各部の名称と働き

標準レンズを装着している場合を例として記載しています。

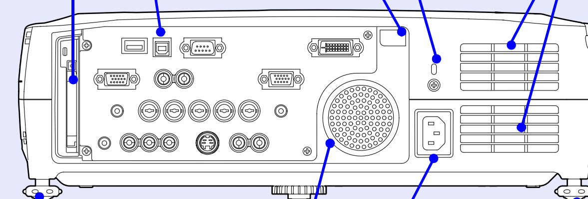
前面/上面/側面

- **ズームリング** ☛ p.42
  投写映像のサイズを調整します。
- **フォーカスリング** ☛ p.42
  投写映像の焦点を合わせます。
- **リモコン受光部** ☛ p.12
  リモコン信号を受信します。
- **排気口**
  ⓘ投写中、投写直後は高温になっているので触らないでください。
- **フットレバー** ☛ p.44
  フットレバーを引いて、フロントフットを伸縮させます。
- **フロントフット** ☛ p.44
  机上などに置いて使う場合に、投写角度を調整するときに伸ばします。
- **🌡(温度)インジケータ** ☛ p.91
  本機内部の温度異常を色や点滅•点灯状態で示します。
- **☼(ランプ)インジケータ** ☛ p.91
  投写ランプの異常を色や点滅•点灯状態で示します。
- **⏻(オペレーション)インジケータ** ☛ p.91
  本機の動作状態を、色や点滅•点灯状態で示します。
- **本体操作パネル** ☛ p.9
- **ハンドル**
  本機を持ち運ぶ場合は、このハンドルを持って移動します。
- **エアーフィルタ(吸気口)** ☛ p.110, 115
  吸気時に、本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。定期的に掃除してください。
- **レンズカバー**
  プロジェクターを使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。

底面


●天吊固定部(4箇所) ☛ p.14, 119
天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。
●吸気口 ☛ p.110
定期的に掃除してください。
●吸気口 ☛ p.110
定期的に掃除してください。
●ランプカバー ☛ p.112
ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
●エアーフィルタ ☛ p.110, 115
吸気時に、本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。定期的に掃除してください。

背面


●リモコン受光部 ☛ p.12
リモコン信号を受信します。
●盗難防止用ロック( ) ☛ p.122
●入出力端子 ☛ p.10
●カードスロット ☛ p.16
●吸気口 ☛ p.110
定期的に掃除してください。
●リアフット ☛ p.44
●リアフット ☛ p.44
●スピーカ
●電源端子 ☛ p.35
電源ケーブルを接続します。

リモコン

ボタン名またはボタンアイコンに ✋ を重ねるとボタンの説明が表示されます。

- リモコン発光部 ☛ p.13
- インジケータ
- [Eズーム]ボタン ☛ p.61
- [ページ]ボタン ☛ p.24
- [PinP]ボタン ☛ p.62
- [カラーモード]ボタン ☛ p.54
- [☼](照光)ボタン
- [Enter(⊙)]ボタン ☛ p.25, 87, 90
- [メニュー]ボタン ☛ p.87
- [プレビュー]ボタン ☛ p.38
- [プリセット]ボタン ☛ p.66
- [Wall Shot]ボタン ☛ p.50
- [音量]ボタン ☛ p.55
- [数字]ボタン ☛ p.57



- [電源]ボタン ☛ p.36, 40
- [リモコン]スイッチ ☛ p.12
- [A/Vミュート] ボタン ☛ p.60
- [リサイズ]ボタン ☛ p.68
- [静止]ボタン ☛ p.61
- [◌]ボタン ☛ p.25, 87, 90
- [Effect]ボタン ☛ p.64
- [Esc(⊙)]ボタン ☛ p.25, 88, 90
- [ヘルプ]ボタン ☛ p.90
- [入力切替]ボタン ☛ p.37
- [自動調整]ボタン ☛ p.51
- [テンキー]ボタン ☛ p.57, 71
- [ID]ボタン ☛ p.71
- [リモート]端子 ☛ p.119

本体操作パネル

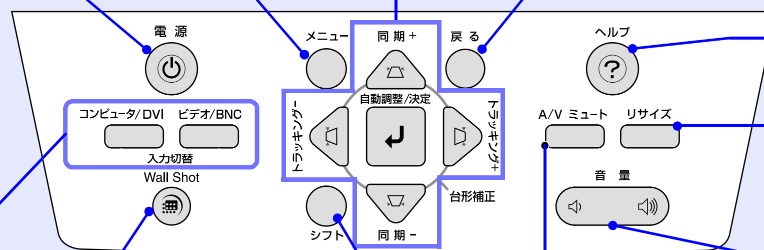
説明のないボタンは、リモコンに同じボタンがあります。そちらをご覧ください。

- [自動調整/決定]ボタン ☛ p.51, 87, 90
  リモコンの[自動調整]ボタンと同じ働きをします。
  環境設定メニューやヘルプ表示中は、リモコンの[Enter]ボタンと同じ働きをします。

- [⏶][⏷]ボタン ☛ p.46, 48, 53, 87, 90
  タテ補正するときやQuick Cornerで補正するときに押します。
  [シフト]ボタンを押したまま、このボタンを押すとコンピュータのアナログRGB映像の同期▸▸を調整できます。
  環境設定メニューやヘルプ表示中は、項目を選択するときの[▲][▼](上下)ボタンとして使います。

- [◁][▷]ボタン ☛ p.47, 48, 52, 88, 90
  ヨコ補正するときやQuick Cornerで補正するときに押します。
  [シフト]ボタンを押したまま、このボタンを押すとコンピュータのアナログRGB映像のトラッキング▸▸を調整できます。
  環境設定メニューやヘルプ表示中は、設定値を調整するときの[◄][►](左右)ボタンとして使います。

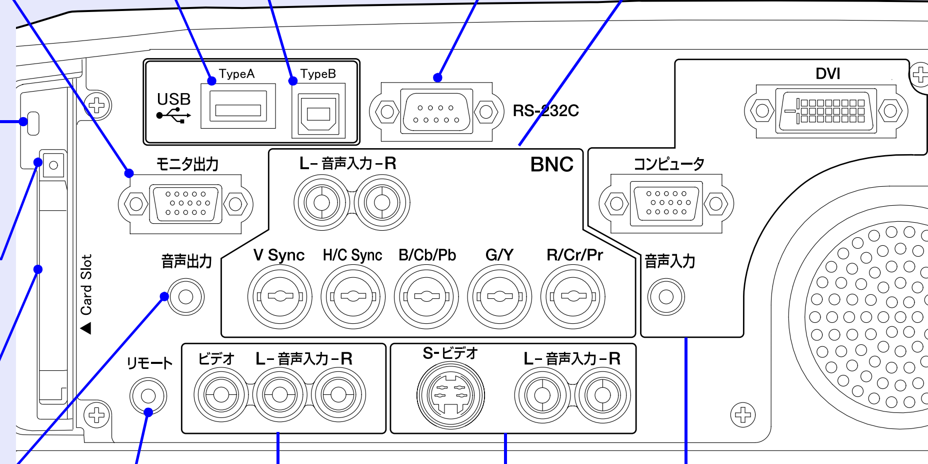
- [メニュー]ボタン ☛ p.87
- [電源]ボタン ☛ p.36, 40
- [入力切替]ボタン ☛ p.37
  [コンピュータ /DVI]ボタン:押すたびに[コンピュータ]端子→[DVI]端子→ EasyMP の順で映像ソースを切り替えます。
  [ビデオ /BNC]ボタン:押すたびに[S-ビデオ]端子→[ビデオ]端子→[BNC]端子の順で映像ソースを切り替えます。
- [Wall Shot]ボタン ☛ p.50



- [戻る]ボタン ☛ p.88, 90
  リモコンの[ESC]ボタンと同様の働きをします。
- [ヘルプ]ボタン ☛ p.90
- [リサイズ]ボタン ☛ p.68
- [音量]ボタン ☛ p.55
- [A/Vミュート]ボタン ☛ p.60
- [シフト]ボタン ☛ p.52, 53, 69
  このボタンは単独では機能しません。
  同期、トラッキングの調整時やリサイズ機能時に使います。

入出力端子

- [USB TypeB]端子 ☛ p.24, 124
  コンピュータケーブルでコンピュータと接続し、ワイヤレスマウス機能を使うときに、USBケーブルでコンピュータと接続します。
- [USB TypeA]端子 ☛ p.33
  EasyMPでデジタルカメラの画像ファイルを投写する場合に、USBケーブルでデジタルカメラを接続します。
- [モニタ出力]端子 ☛ p.26
  コンピュータケーブルで接続しているコンピュータのアナログRGB映像を外部モニタに出力します。コンピュータのデジタルRGB映像やビデオ映像、EasyMPの映像には対応していません。
- アクセスランプ ☛『EasyMPセットアップガイド』、『EasyMP活用ガイド』
  カードスロットに挿入したメモリーカードのアクセスの状態を、色や点灯状態で示します。
- イジェクトボタン ☛ p.17
  カードスロットにセットされているPCカードを取り出すときに押します。
- カードスロット ☛ p.16
  EasyMP実行時に、無線LANカードや有線LANカード、メモリカードをセットして使います。
- [音声出力]端子 ☛ p.32
  現在選択している映像ソースの音声を外部スピーカに出力します。
- [リモート]端子 ☛ p.119
  オプションのリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を入力します。



- [RS-232C]端子 ☛ p.124
  RS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。

- [BNC]端子 ☛ p.22, 23, 28
  コンピュータのアナログRGB映像信号や、ビデオ機器のRGBビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を入力します。
- [音声入力]端子([BNC]端子用) ☛ p.31
  [BNC]端子に接続した機器の音声信号を入力します。

- [コンピュータ]端子 ☛ p.19, 23, 30
  コンピュータのアナログRGB映像信号やビデオ機器のRGBビデオ信号を入力します。
- [DVI]端子 ☛ p.22, 23
  コンピュータのデジタルRGB映像信号を入力します。
- [音声入力]端子([コンピュータ][DVI]端子用) ☛ p.31
  [コンピュータ]端子、あるいは[DVI]端子に接続した機器の音声信号を入力します。

- [ビデオ]端子 ☛ p.27
  ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
- [音声入力]端子([ビデオ]端子用) ☛ p.31
  [ビデオ]端子に接続した機器の音声信号を入力します。

- [S-ビデオ]端子 ☛ p.28
  ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。
- [音声入力]端子([S-ビデオ]端子用) ☛ p.31
  [S-ビデオ]端子に接続した機器の音声信号を入力します。

電池のセット

購入直後は、リモコンに電池はセットされていません。まず、同梱の乾電池をセットします。

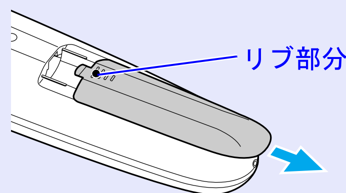

注意

電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

操作

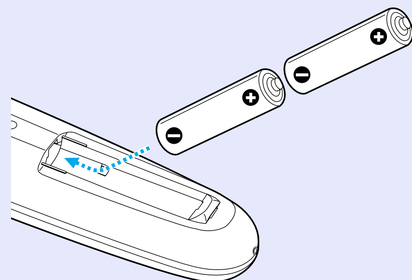
1 電池カバーを外します。

電池カバーのリブ部分を押さえながら、矢印の方向にスライドさせます。



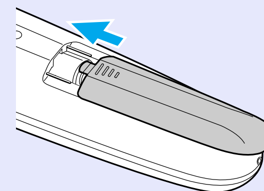
2 電池をセットします。

電池ホルダ内の(+)(−)の表示を確認し、電池の向きを間違えないようにセットします。



3 電池カバーを取り付けます。

電池カバーをスライドさせて、ツメの部分をカチッと音がするまで差し込みます。




ポイント

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単３形アルカリ乾電池２本を用意してください。

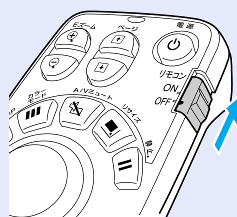
リモコンの使い方と操作範囲

■ 使い方

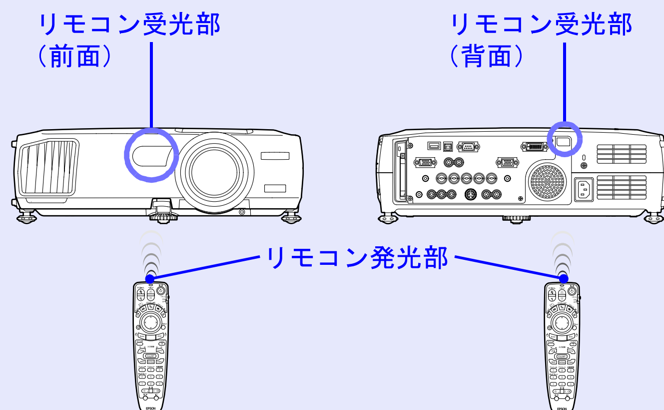
リモコンの使い方は次のとおりです。

操作

1 **リモコンの[リモコン]スイッチをONにします。**



2 **リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。**





ポイント

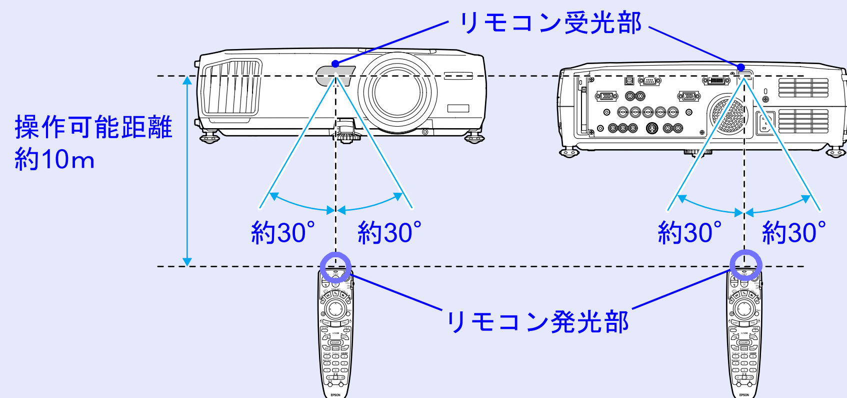
- プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。
- 使い終ったら、リモコンの[リモコン]スイッチをOFFにします。ONのままだと電池が消耗します。
- [リモコン]スイッチON時にリモコンのボタンが１分間以上押されたままの状態になっていると、ボタン操作の信号を送信しなくなります（リモコンのスリープモード）。これにより、リモコンが何かの下敷きになっている場合も電池の消耗を減らすことができます。いったんボタンを離して再度操作してください。

■ 操作範囲

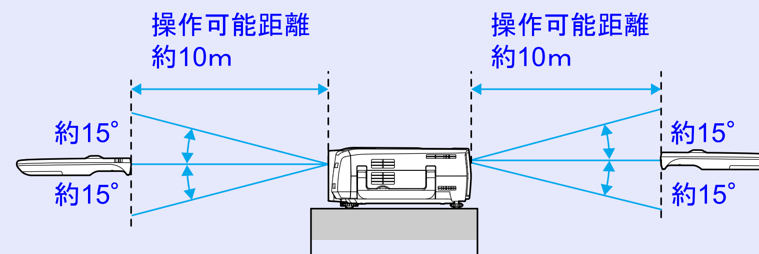
リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作が働きません。

操作可能距離	操作可能範囲
約10m	左右約30° 上下約15°

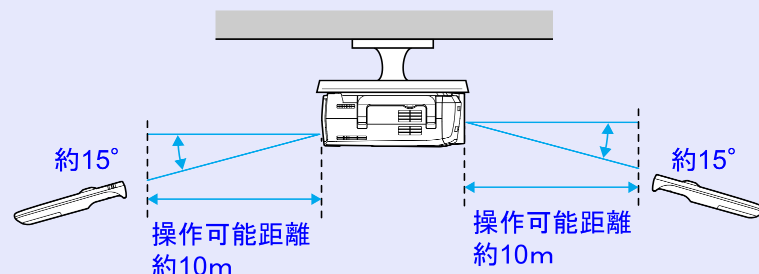
操作範囲（左右）



操作範囲（上下）



天吊りの場合





ポイント

離れた位置から確実にリモコンで操作したい場合は、オプションのリモコンケーブルセットをお使いください。

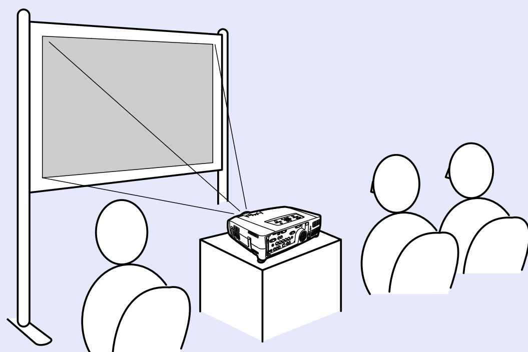
☛「付録 オプション品一覧」p.119

設置方法

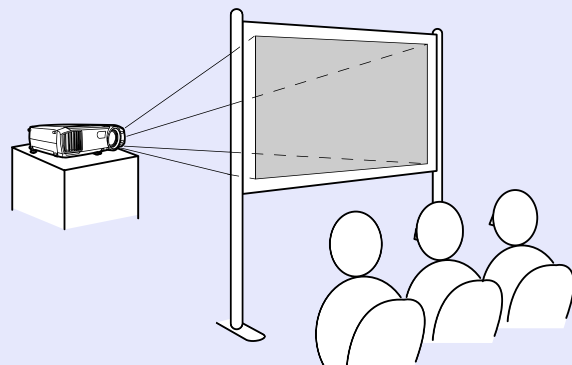
本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。


注意
設置にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

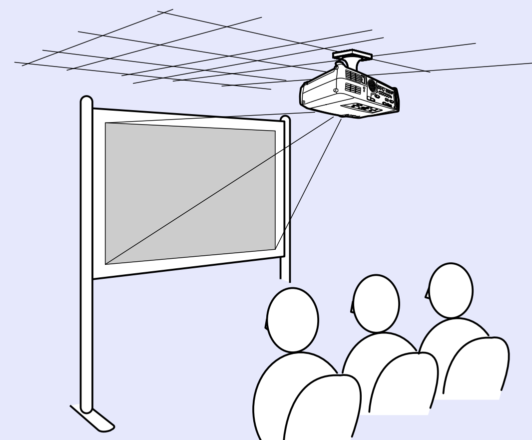
- 正面から投写する



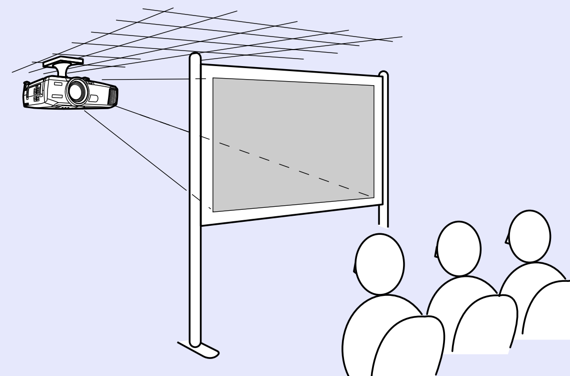
- リアスクリーンへ裏側から投写する



- 天吊りして正面から投写する



- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する



※天吊り(天井への取り付け)は、特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。☛ p.119


ポイント
天吊りやスクリーンの裏側から投写するときは、環境設定メニューの「高度な設定1」→「天吊り」、「リア」を設置の状態に合わせて変更します。☛ p.83

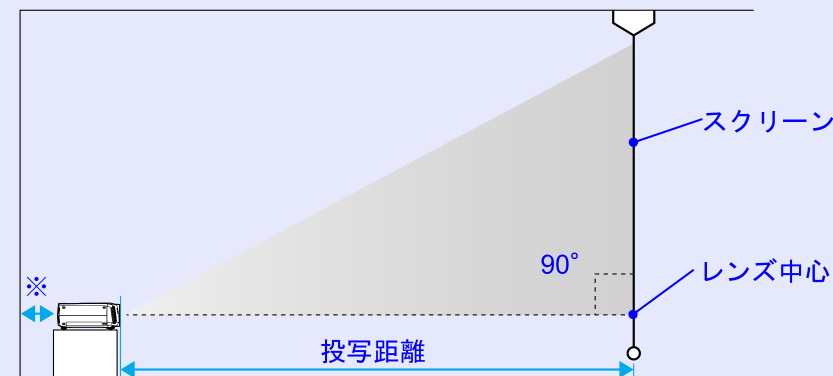
スクリーンサイズと投写距離

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。下記の推奨距離範囲や投写距離の数値は標準レンズを装着した場合のものです。他のオプションレンズを装着している場合は、レンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

推奨距離範囲	77cm～1113cm

次表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。値は、設置の目安にしてください。投写条件やズームの設定により、変わります。

4:3スクリーンサイズ(cm)	投写距離(cm)
30型(61×46)	77～107
40型(81×61)	105～144
60型(120×90)	161～219
80型(160×120)	216～293
100型(200×150)	272～368
200型(410×300)	550～740
300型(610×460)	827～1113



※壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をあけてください。



ポイント

- 標準レンズは約1.35倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約1.35倍のサイズで投写できます。
- 台形補正をすると画面が小さくなります。必要に応じてズーム調整をしてください。☛ p.42

カードのセットと取り出し

ここでは、PC カードのセット方法、取り出し方を、同梱の無線 LAN カードを例に説明します。その他のカードを使う場合や、コンピュータのPCカードスロットへのセットや取り出し方については、使用するカードに添付の『取扱説明書』をご覧ください。



ポイント

プロジェクターのカードスロットには、次の PC カードをセットして使用できます。
- 無線LANカード(本製品同梱品のみ対応)
- メモリカード
- 有線LANカード

使用できるカードの詳細について ☛『EasyMP セットアップガイド』「使用できるPCカード」

セット方法



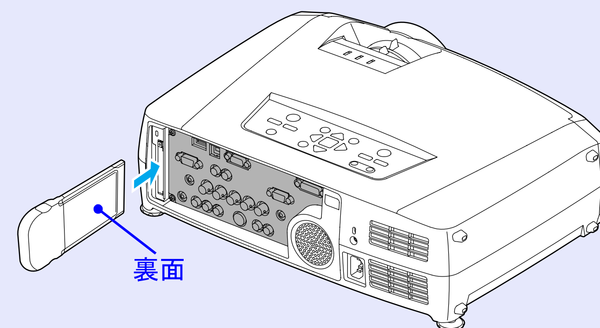
注意

- PCカードは、正しい向きでセットしてください。逆向きや裏返しにしてセットすると故障や機器の破損の原因となります。
- プロジェクターを持ち運ぶときは、必ず事前にカードを抜いてください。

操作

無線LANカードの表面を外側に向けて、カードスロットに差し込みます。

止まるところまでしっかり差し込んでください。無線 LAN カードは止まるところまで押し込んでも、カードの先端部分はカードスロットの中に入りません。



取り出し方

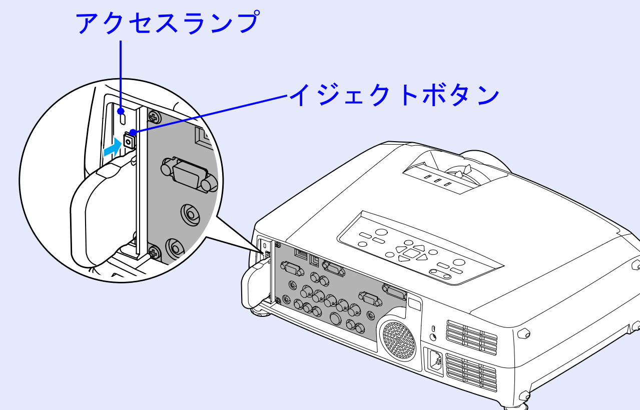

注意

- プロジェクターのカードスロットアクセスランプが緑色に点灯しているときや、ネットワーク接続中、シナリオ投写中は、PCカードを取り出さないでください。PCカード自体やメモリカードに保存されているデータが壊れることがあります。
- プロジェクターの使用中または使用直後は、PCカードが高温になっています。取り出しの際に不用意に触らないでください。やけどの原因となることがあります。
- CardPlayer使用時にメモリカードを抜く場合は、必ずCardPlayerの終了操作を実行してから抜いてください。CardPlayerを終了しないでメモリカードを抜くと、CardPlayerが正しく動作しなくなる場合があります。
☛『EasyMP 活用ガイド』「CardPlayerの終了方法」

操作

1 カードスロット上側のイジェクトボタンを押します。

イジェクトボタンが飛び出します。



2 イジェクトボタンをもう一度、押し込みます。

無線 LAN カードが少し飛び出しますので、そのまま無線 LAN カードをまっすぐに引き抜きます。


注意

イジェクトボタンが出たままになっていると、折れるなど故障の原因となりますので、必ず押し込んでください。


注意

コンピュータと接続する際は、次の点を確認してください。

- 接続する前に本機とコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
- 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

接続できるコンピュータ

ここでは、接続ケーブルを使って、本機とコンピュータを接続する方法を説明します。
ネットワークを介してコンピュータと接続する場合は、『EasyMP セットアップガイド』をご覧ください。
コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認してください。

- **条件1:接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること**
  コンピュータに「RGB 端子」「モニタ端子」「CRT 端子」などの映像信号を出力させる端子があることを確認してください。
  コンピュータとモニタが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。詳しくは、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニタを接続する」などの項目をご覧ください。
- **条件2:接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」(☛ p.126)の範囲内であること**
  コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、コンピュータの取扱説明書をご覧になり対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。


ポイント

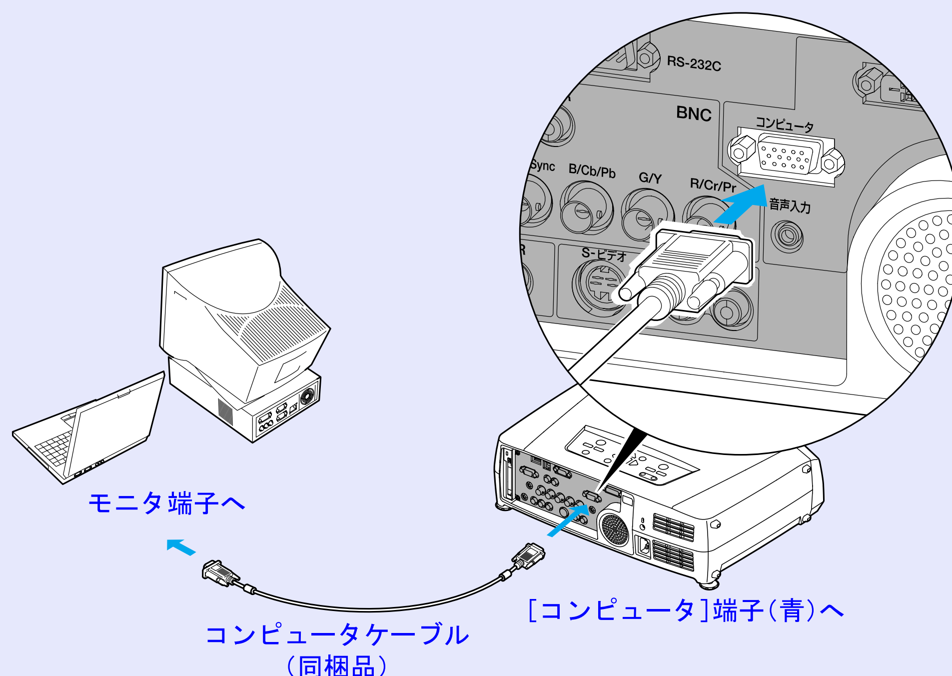
- コンピュータの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプタ類などが必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータと本機が離れて設置されており、同梱のコンピュータケーブルでは届かないときは、オプションのコンピュータケーブルをお使いください。☛「付録 オプション品一覧」p.119

コンピュータの映像を映す

コンピュータのモニタ端子の形状や規格により、接続する端子や使用する接続ケーブルが異なります。お使いになるコンピュータに合わせて、以降の内容をお読みください。

■ モニタ端子がミニ D-Sub 15pin 端子の場合

同梱のコンピュータケーブルで接続します。

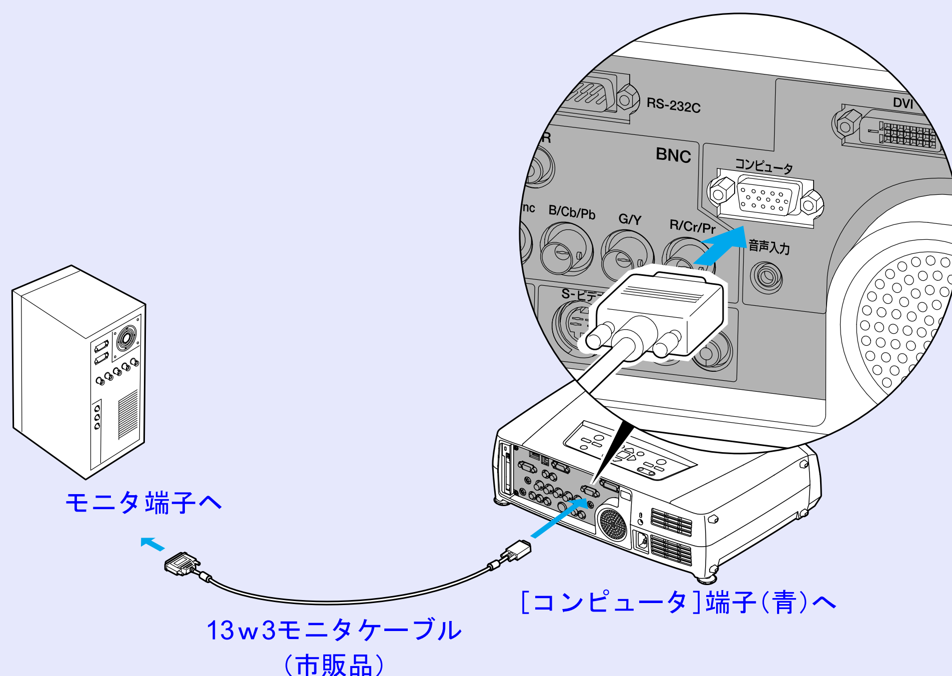



ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ入力」で「Analog-RGB」に設定します。☛ p.80
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp]ボタンを押すか、または投写映像に「コンピュータ(Analog-RGB)」と表示されるまで本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37

■ モニタ端子が 13w3 端子の場合

ワークステーション対応のコンピュータでは、モニタ端子が 13w3 端子の場合があります。
この場合は、市販の13w3⇔D-Sub15ケーブルを使って接続します。




ポイント

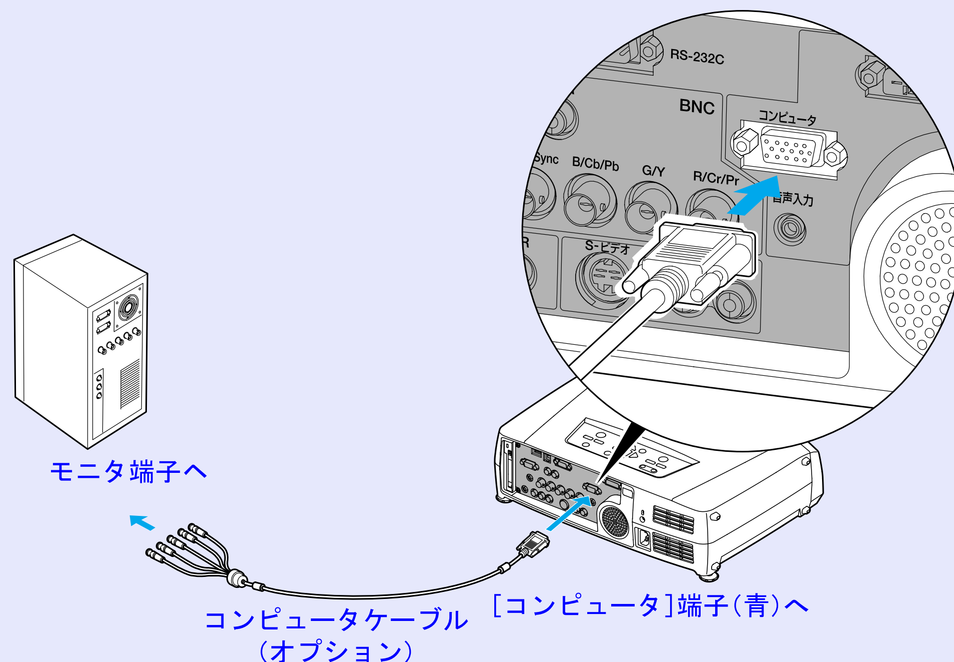
- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ入力」で「Analog-RGB」に設定します。☛ p.80
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp]ボタンを押すか、または投写映像に「コンピュータ(Analog-RGB)」と表示されるまで本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37
- ワークステーションによっては、専用ケーブルが必要な場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションのメーカーに確認してください。

■ モニタ端子が 5BNC 端子の場合

接続する端子、またはお使いの接続ケーブルにより次の 2 通りの接続方法があります。

- コンピュータのモニタ端子と、本機背面の[コンピュータ]端子をオプションのコンピュータケーブルで接続します。
  ☛「付録 オプション品一覧」p.119
- コンピュータのモニタ端子と、本機背面の[BNC]端子を市販の 5BNCモニタケーブル(5BNC・オス-オス)で接続します。

[コンピュータ]端子と接続する場合



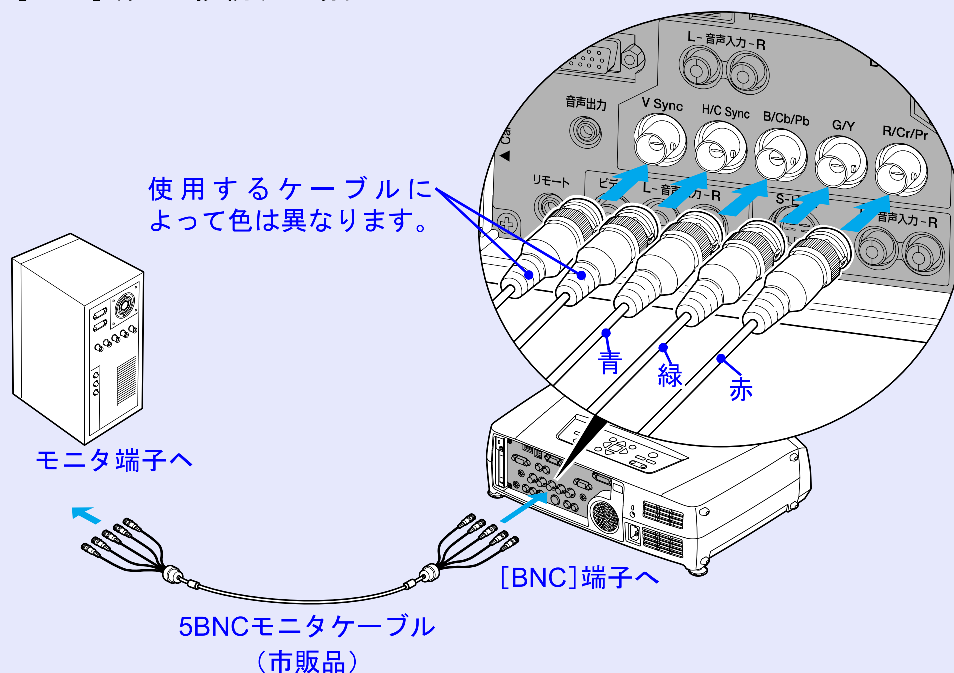


ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ入力」で「Analog-RGB」に設定します。☛ p.80
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp]ボタンを押すか、または投写映像に「コンピュータ(Analog-RGB)」と表示されるまで本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37



［BNC］端子と接続する場合



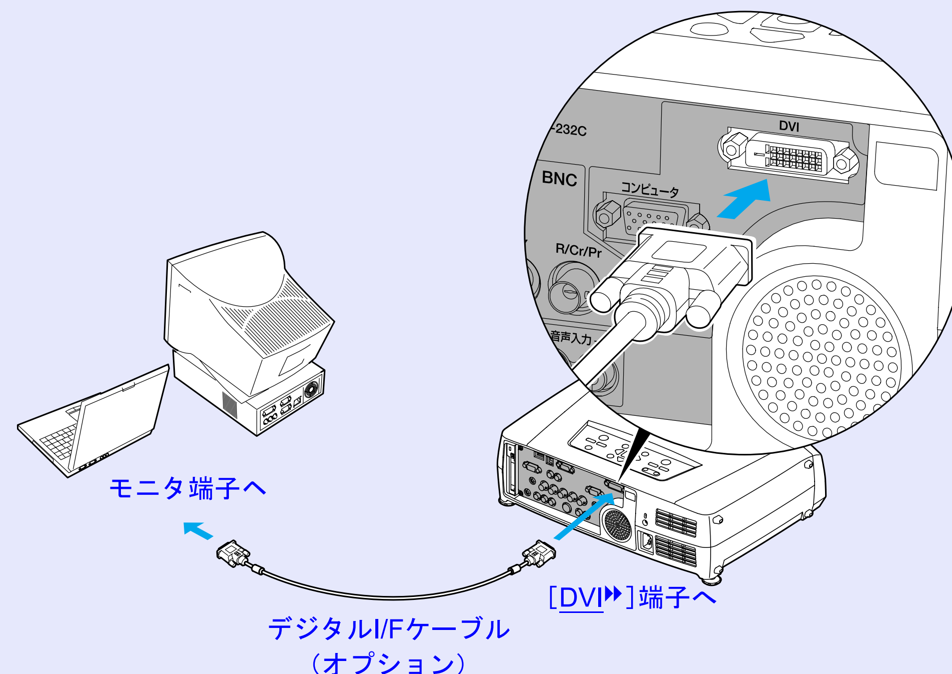


ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で「Analog-RGB」に設定します。☛ p.80
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの［BNC］ボタンを押すか、または投写映像に「BNC（Analog-RGB）」と表示されるまで本体の［ビデオ/BNC］ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37

■ モニタ端子がデジタル RGB 端子の場合

オプションのデジタルI/Fケーブルで接続します。





ポイント

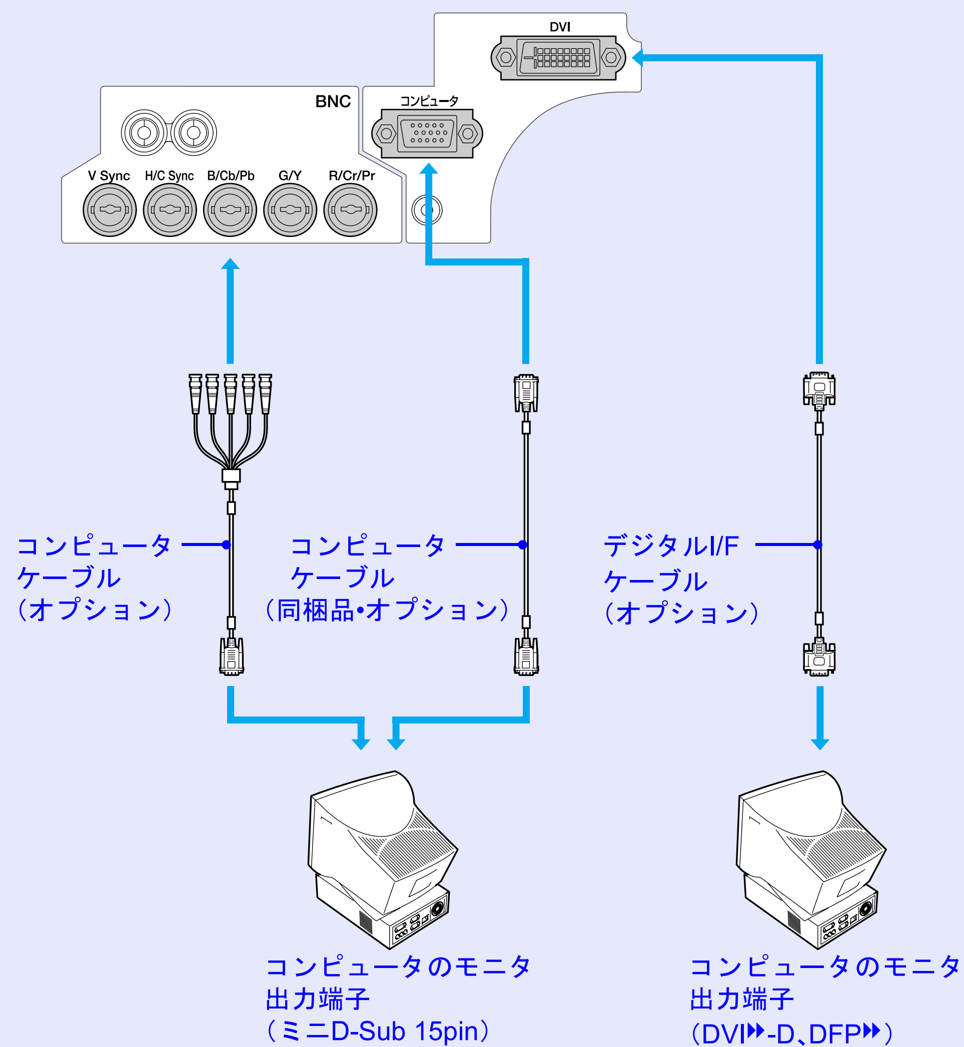
- オプションのデジタルI/Fケーブルは、お使いのコンピュータのモニタ端子に合ったものをお選びください。
☛「付録 オプション品一覧」p.119
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの［DVI］ボタンを押すか、または投写映像に「DVI」と表示されるまで本体の［コンピュータ/DVI］ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37



コンピュータを2台以上接続する場合

コンピュータを接続できる端子は以下のとおりです。以下の端子すべてにコンピュータを接続した場合、最大 3 台のコンピュータを接続できます。

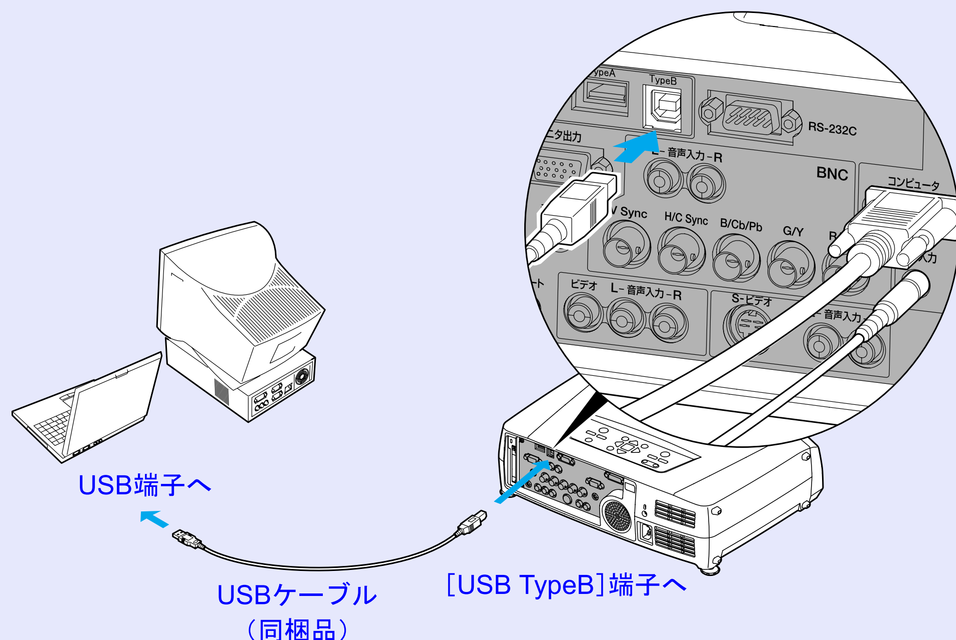
接続の詳細 ☛ p.18〜22



リモコンでマウスポインタを操作する（ワイヤレスマウス機能）

コンピュータの USB▸▸端子と、本機背面の[USB TypeB]端子を同梱の USB ケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作できます。

対応コンピュータ	マウスの種類	使用するケーブル
Windows 98/2000/Me/ XP Home Edition/XP Professional	USBマウス	USBケーブル （同梱品）
Macintosh （OS 8.6～9.2/10.0～10.2）	USBマウス	USBケーブル （同梱品）



※ワイヤレスマウスとして使用しているときは、リモコンの[↓][↑]ボタンで、PowerPointのスライド送り/戻しができます。

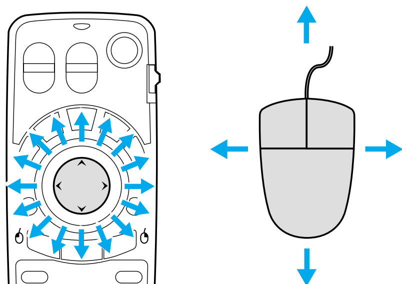
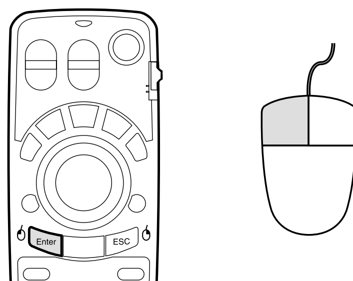
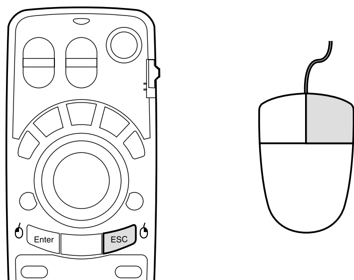
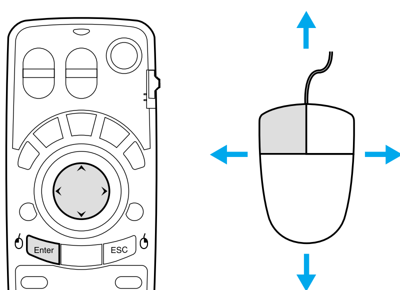


ポイント

- 本機背面の[USB TypeA]端子はUSBハブとしては使えません。
- USBケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルにのみ対応しています。
  Windowsの場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professionalプリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードしたWindows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional環境下では動作を保証いたしません。
- Windows/MacintoshともにOSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください



接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

<table>
<tr>
<td>マウスポインタの移動
リモコンの[◌]ボタンを傾けると、傾けた方向にマウスポインタが移動します。
</td>
<td>左クリック
[Enter(◌)]ボタンを押します。
すばやく２回続けて押すと、ダブルクリックになります。

</td>
</tr>
<tr>
<td>右クリック
[ESC(◌)]ボタンを押します。

</td>
<td>ドラッグ＆ドロップ
[Enter(◌)]ボタンを約1.5秒間押し続けると、押したボタンが点灯し、ドラッグモードになります。この状態で[◌]ボタンを傾けると、ドラッグ動作になります。
任意の場所で[Enter(◌)]ボタンを押すと、ドロップします。


[ESC(◌)]ボタンも同様に約1.5秒間押し続けるとドラッグモードになります。この操作で右クリックのドラッグ＆ドロップができます。</td>
</tr>
</table>

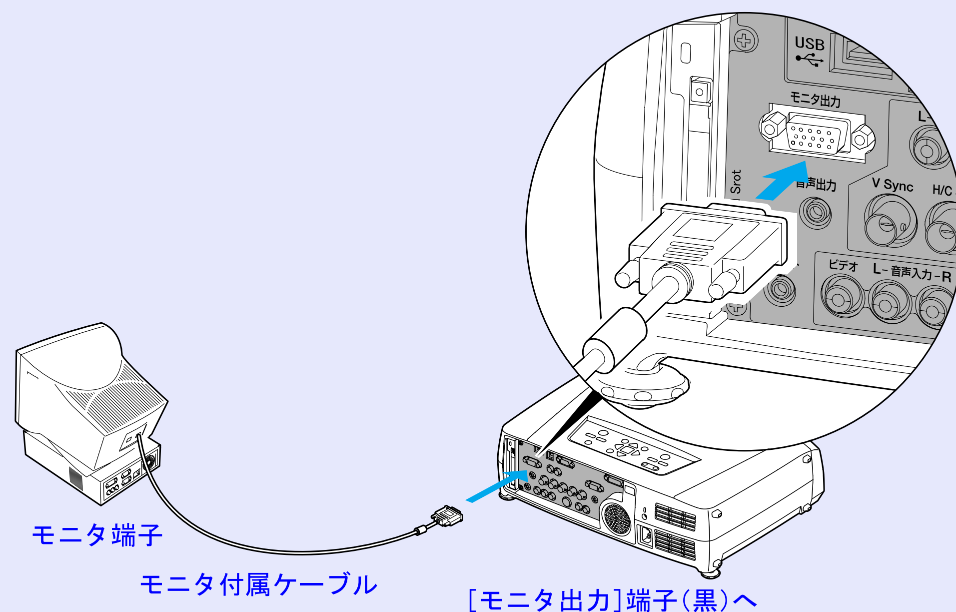


ポイント

- コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- 以下の機能を使用しているときは、リモコンでワイヤレスマウス機能は行えません。
  ・環境設定メニュー表示中　・ヘルプ表示中　・エフェクト機能中
  ・PinP機能の子画面設定中　・Eズーム機能中 ・Quick Corner設定中
  ・リサイズ機能のリアル表示中　・プレビュー機能中
  ・ユーザーロゴのキャプチャ中　・Wall Shotの設定中

外部モニタとの接続

コンピュータケーブルで接続しているコンピュータのアナログRGB映像を投写中は、本機に外部モニタを接続して外部モニタで確認しながらプレゼンテーションなどを行うことができます。
外部モニタは、モニタに付属のケーブルで接続します。





ポイント

- コンピュータのデジタルRGB映像、ビデオ映像、EasyMPの映像は外部モニタに出力できません。
- タテ補正などの設定ゲージや環境設定メニュー、ヘルプの表示は外部モニタに出力されません。

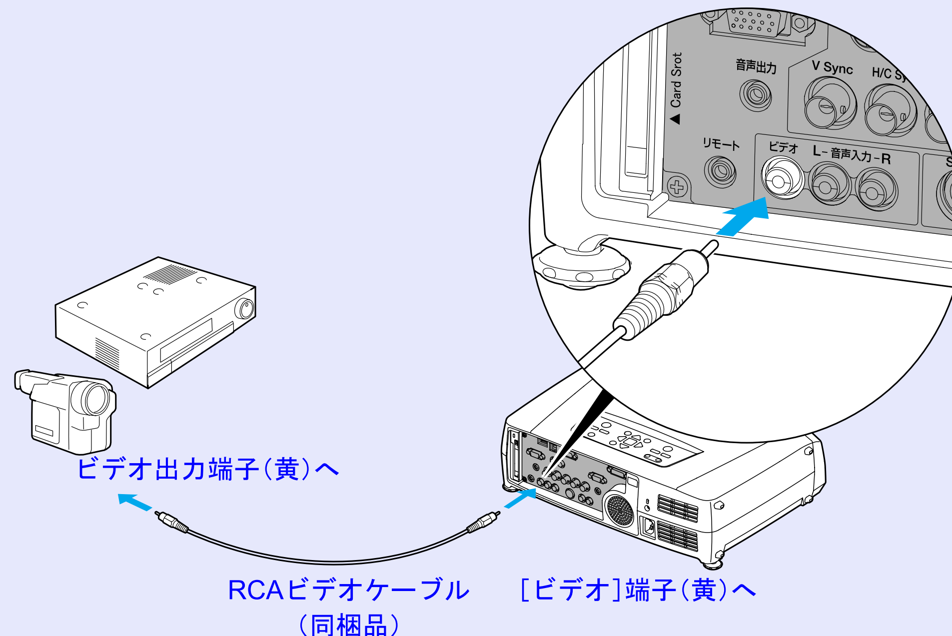

注意

ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。

- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
- 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

コンポジットビデオ"の映像を映す

同梱のRCAビデオケーブルを使って接続します。

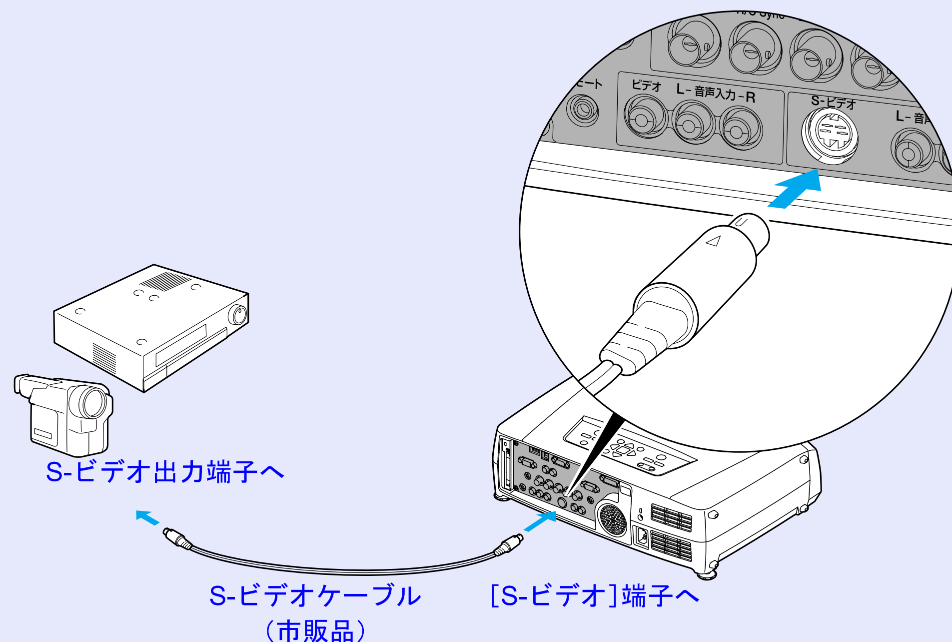



ポイント

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Video]ボタンを押すか、または投写映像に「ビデオ」と表示されるまで本体の[ビデオ /BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37

S-ビデオの映像を映す

市販のS-ビデオ ▸▸ケーブルを使って接続します。



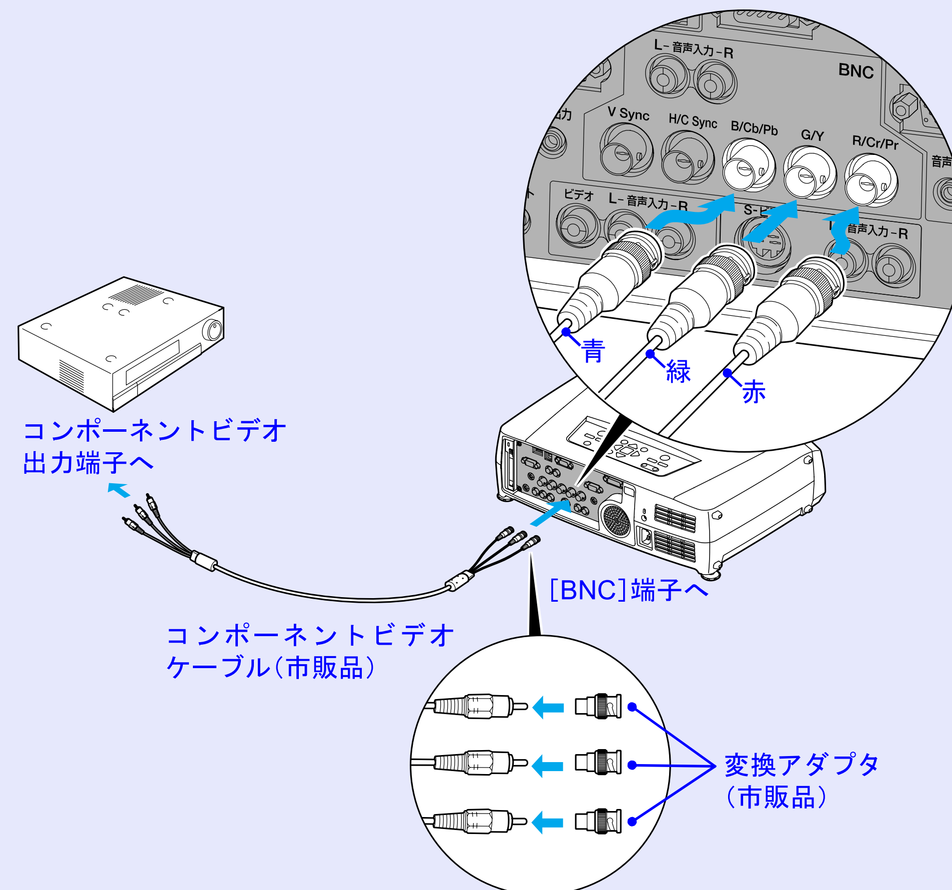


ポイント

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[S-Video]ボタンを押すか、または投写映像に「S- ビデオ」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37

コンポーネントビデオの映像を映す

市販のコンポーネントビデオ ▸▸ケーブルと変換アダプタ(3 個)を使って接続します。





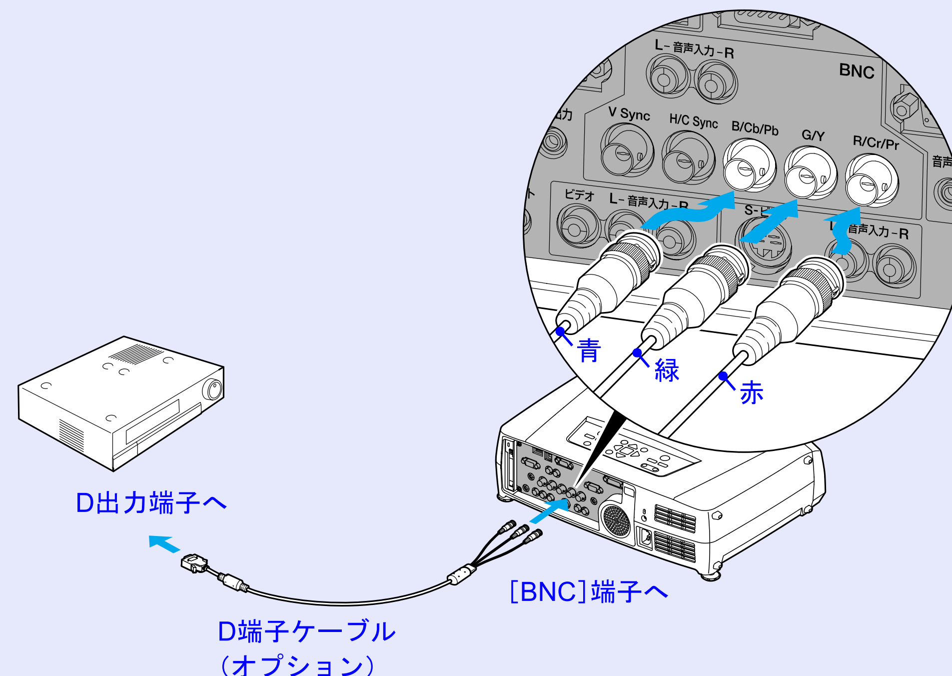


ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で機器の信号に合わせて「YCbCr」、または「YPbPr」に設定します。
  ☛ p.80
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または機器の信号に応じて「BNC（YCbCr）」または「BNC（YPbPr）」と投写映像に表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37

BSデジタルチューナの映像を映す

オプションのD端子ケーブルを使って接続します。
☛「付録 オプション品一覧」p.119





ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で「YPbPr」に設定します。☛ p.80
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または投写映像に「BNC（YPbPr）」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37
- BSデジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4規格までのBSデジタルチューナに対応しています。

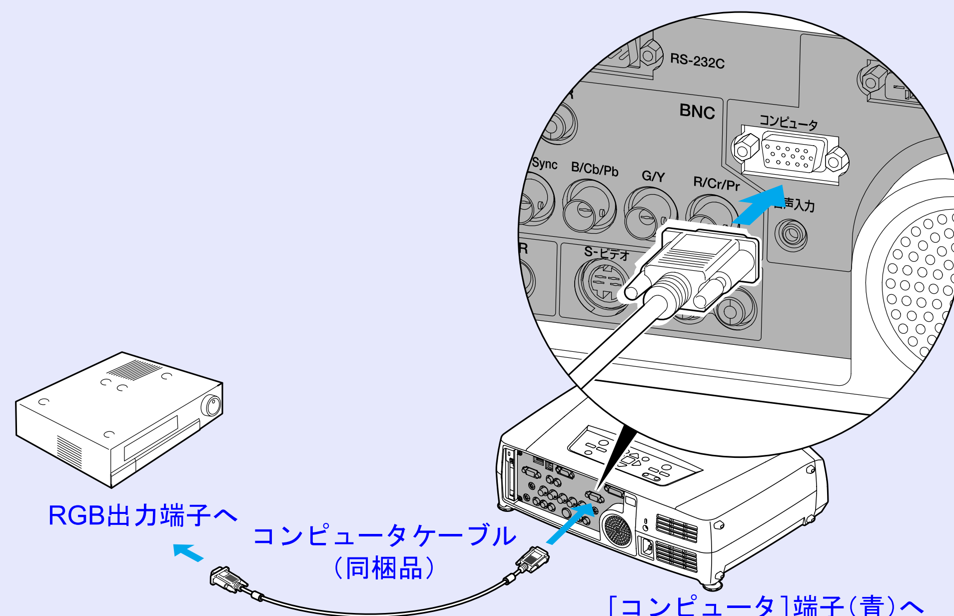


RGBビデオ映像を映す

RGB ビデオは、コンピュータ以外のRGB信号を出力するビデオ機器と接続して映像を投写する場合に使用します。接続の方法は、以下の 2 種類があります。お使いのビデオ機器の端子に合わせて接続してください。

■ RGB 出力端子がミニ D-Sub 15pin 端子の場合

同梱のコンピュータケーブルを使って接続します。



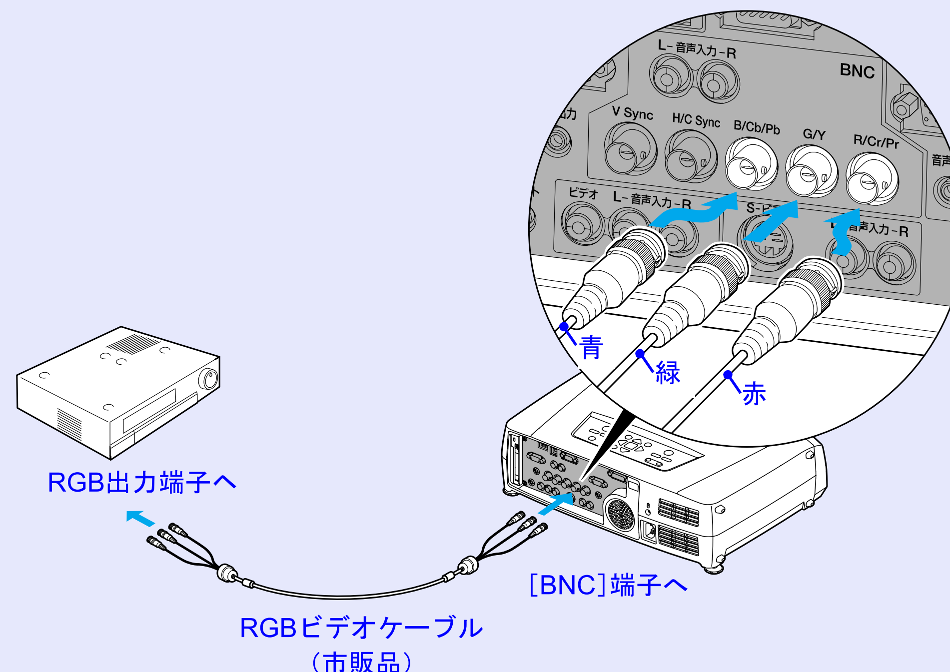


ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ入力」で「RGB-Video」に設定します。☛ p.80
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp]ボタンを押すか、または投写映像に「コンピュータ（RGB-Video）」と表示されるまで本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37

■ RGB 出力端子が 3BNC 端子の場合

市販のRGBビデオケーブルを使って接続します。



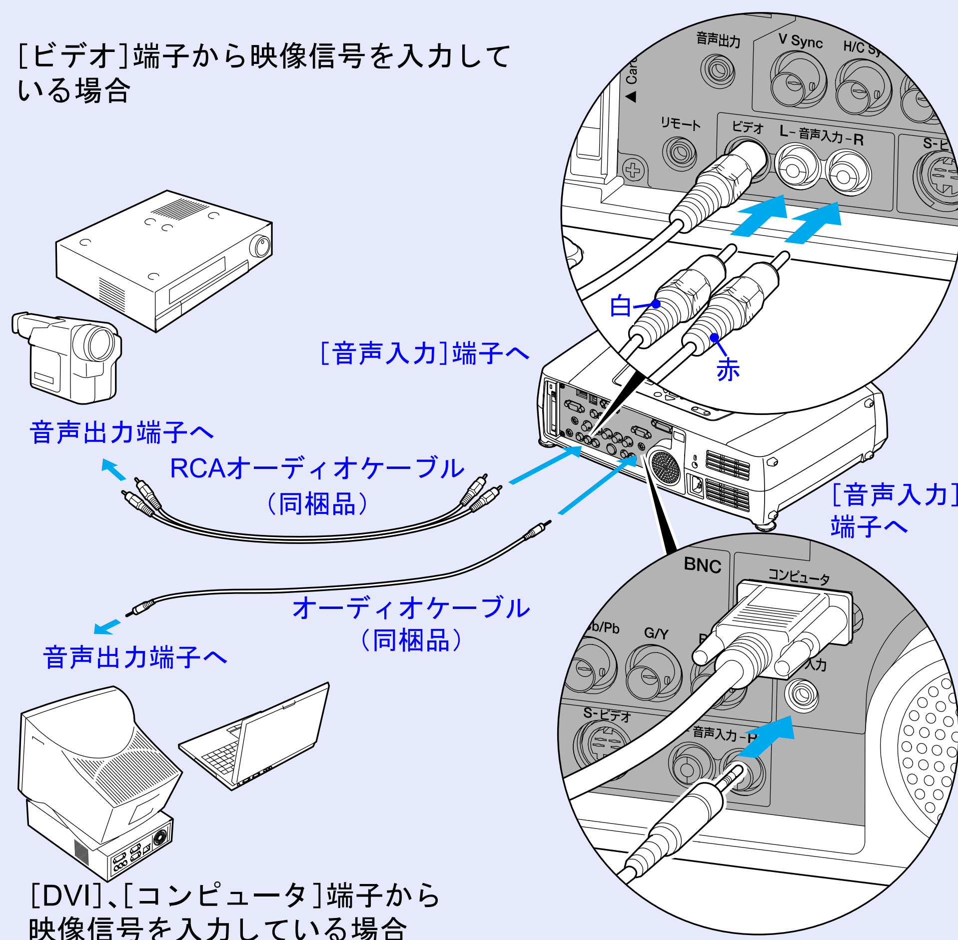


ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で「RGB-Video」に設定します。☛ p.80
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または投写映像に「BNC（RGB-Video）」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.37

接続機器の音声を出す

本機には、最大5Wのスピーカが1個内蔵されています。音声出力端子を持つ接続機器(コンピュータやビデオ機器)の音声を本機の内蔵スピーカから出力することができます。
[DVI]端子と[コンピュータ]端子は同じ枠内の[音声入力]端子を共通で使います。その他は、同じ枠内の映像入力端子と[音声入力]端子が、1対1で対応しています。
接続に使うオーディオケーブルは、[音声入力]端子の形状に合わせて次のいずれかから選択します。



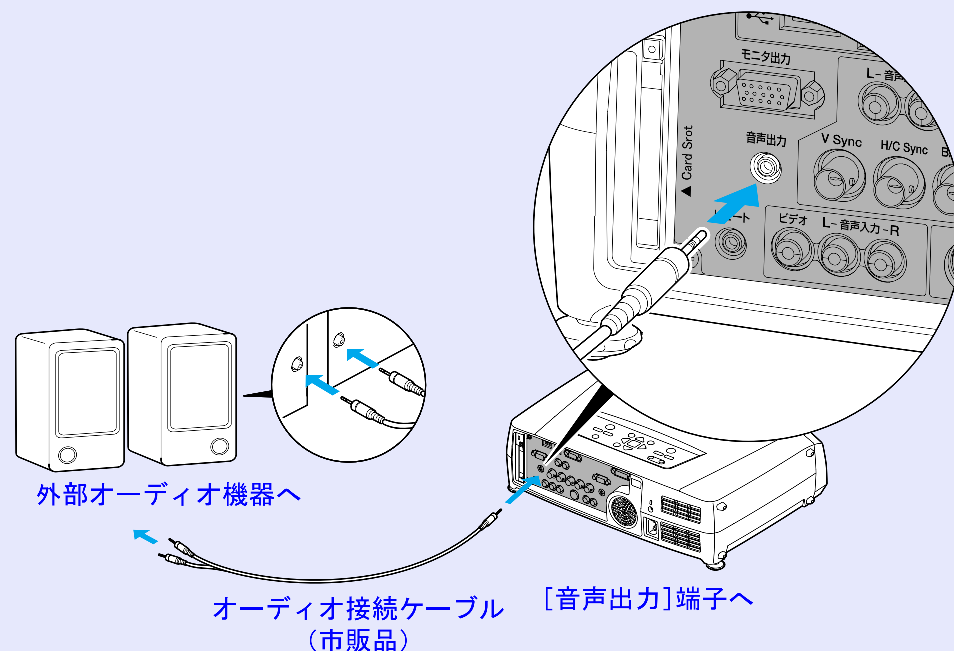


ポイント

- 投写開始後、音量を調整することができます。☛ p.55
- [DVI]端子、[コンピュータ]端子共通の音声端子に接続した場合は、映像信号の選択に関わらず入力している音声が流れます。環境設定メニューの「音声」→「コンピュータ/DVI音声入力」で出力する音声を[コンピュータ]端子あるいは[DVI]端子のどちらかに限定することができます。
- 市販の2RCA(L•R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と記表されているものをお使いください。

外部スピーカから音声を出す

本機の[音声出力]端子と、外付けのアンプ内蔵スピーカを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。
市販のオーディオ接続ケーブル(ピンプラグ)⇔3.5mm(ステレオミニジャック)などを使用します。オーディオ接続ケーブルは、外部オーディオ機器の接続部の形状に合わせて購入してください。





ポイント

[音声出力]端子へステレオミニジャックを差し込むと、音声は外部出力に切り替わります。このとき、本機の内蔵スピーカから音声は出力されません

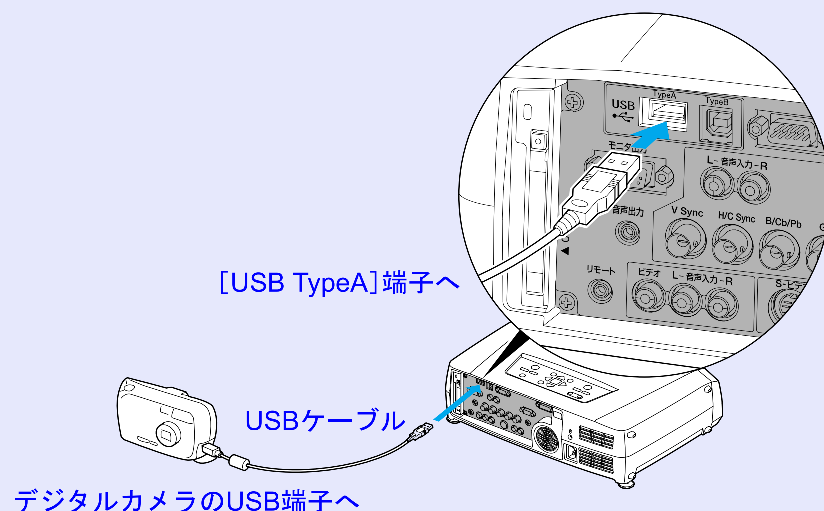
デジタルカメラをUSBケーブルで接続

デジタルカメラに同梱、あるいは指定の USB ケーブルを使って、接続します。



ポイント

- 長さが3m以下のUSBケーブルをお使いください。3mを超えると、CardPlayerが正しく動作しなくなる場合があります。
- プロジェクターのメモリカードスロットに、無線または有線LANカードやメモリカードがセットされていないことを確認してから接続します。





注意 USB ハブを使用すると、正しく動作しないことがあります。デジタルカメラとプロジェクターを直接接続してください。

プロジェクターからUSBケーブルを抜く

投写終了後は、以下の手順でプロジェクターから USB ケーブルを抜きます。

操作

1. **CardPlayer の画面上で「EJECT」ボタンにカーソルを合わせてリモコンの[Enter]ボタンを押し、CardPlayer を終了します。☛『EasyMP 活用ガイド』「CardPlayer の終了方法」**



注意 プロジェクターからUSBケーブルを抜く前に、必ずCardPlayerの終了操作を実行してください。CardPlayer を終了しないでUSBケーブルを抜くと、CardPlayerが正しく動作しなくなる場合があります。

2. **プロジェクターの[USB TypeA]端子からUSBケーブルを抜きます。**

TOP

基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。



注意

投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

電源ケーブルを接続しよう

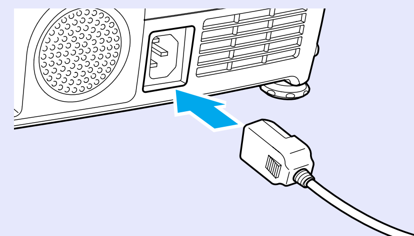
操作

1 **本機と本機に接続するすべての機器の電源が切ってあることを確認します。**

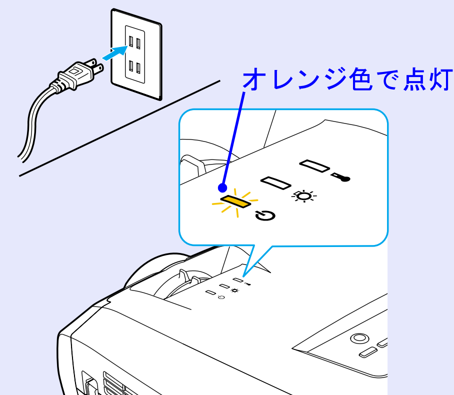
2 **必要に応じて、本機とコンピュータあるいはビデオ機器を接続します。**☛ p.18, 27
無線 LAN を使う場合は、同梱の無線 LAN カードを本機のカードスロットにセットします。☛ p.16

3 **レンズカバーを外します。**

4 **本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。**
本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、しっかりと奥まで差し込みます。



5 **電源プラグをコンセントに差し込みます。**
⏻インジケータがオレンジ色の点灯に変わるまで待ちます。





ポイント

⏻インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンや本体のボタン操作は無効となります。

電源ON、投写開始



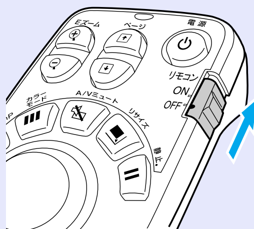
ポイント

パスワードプロテクトを有効にしている場合は、電源を入れたときにパスワードプロテクト解除画面が表示されます。
パスワードを入力してください。☛ p.57

操作

1 **⏻インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。**

2 **リモコンを使用する場合は、[リモコン]スイッチをONにします。**



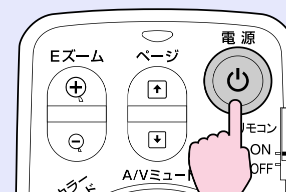
3 **本機に接続されている機器の電源を入れます。**

ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。

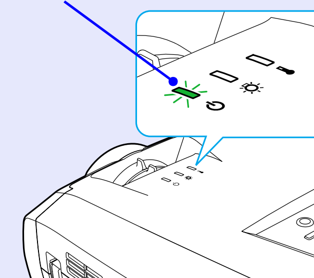
4 **リモコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れます。**

⏻インジケータが緑色の点滅に変わります。しばらくするとランプが点灯し投写が始まります。
⏻インジケータが緑色の点灯に変わるまで待ちます(約30秒かかります)。

リモコン



緑色の点滅から点灯に変わります。





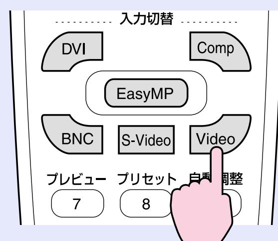
ポイント

- ⏻インジケータが緑色で点滅しているときは、リモコンや本体の[電源]ボタン操作は無効となります。
- 環境設定メニューの設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。☛「設定」→「ノーシグナル表示」p.79

5 複数の機器を接続している場合は、次表を参照し、リモコンまたは本体のボタンで投写したい映像ソースに切り替えます。

プレビュー機能を使って選択することもできます。☛ p.38

リモコン



接続端子	選択するボタン		画面上の表示
	リモコン	本体	
EasyMP	[EasyMP]	[コンピュータ/DVI]を押すたびに映像ソースが切り替わります。※2	EasyMP
コンピュータ	[Comp]※1		コンピュータ(Analog-RGB)※3 コンピュータ(RGB-Video)※3
DVI	[DVI]		DVI
BNC	[BNC]※1	[ビデオ/BNC]を押すたびに映像ソースが切り替わります。※4	BNC(Analog-RGB)※5 BNC(RGB-Video)※5 BNC(YCbCr)※5 BNC(YPbPr)※5
S-ビデオ	[S-Video]		S-ビデオ
ビデオ	[Video]		ビデオ

※1 ボタンを 1 回押すと、画面上に環境設定メニューで設定されている信号名が表示されます。表示されている間に再びボタンを押すと、信号の設定を変更することができます。ここで変更した結果は、環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ入力」、「BNC入力」に反映されます。

※2 画面上に信号名が表示されている間に[コンピュータ/DVI]ボタンを押さないと、次の映像ソースに切り替わりません。
現在、[DVI]、[コンピュータ]端子、EasyMPのいずれかから入力している信号を投写している場合は、[コンピュータ/DVI]ボタンを 1 回押すと画面上に現在の信号名が表示されます。

※3 環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ入力」で設定されているものが表示されます。リモコンの[Comp]ボタンを押すと設定を変更することができます。

※4 画面上に信号名が表示されている間に[ビデオ/BNC]ボタンを押さないと、次の映像ソースに切り替わりません。
現在、[BNC]、[S-ビデオ]、[ビデオ]端子のいずれかから入力している信号を投写している場合は、[ビデオ/BNC]ボタンを 1 回押すと画面上に現在の信号名が表示されます。

※5 環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で設定されているものが表示されます。リモコンの[BNC]ボタンを押すと設定を変更することができます。

6 EasyMP を使う場合は、EasyMP に映像ソースを切り替えます。
切り替えた後は、『EasyMP セットアップガイド』をご覧ください。



ポイント

- 接続機器が 1 台だけの場合は、[入力切替]ボタンを押さなくても投写されます。
- 「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータをコンピュータケーブルで接続したときに、映像が投写されない場合は、投写開始後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定をコンピュータ側で行ってください。
  次表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外部モニタへの出力」などの項をご覧ください。

NEC製	Panasonic製	東芝製	IBM製	SONY製	富士通	Macintosh
[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	※

  ※再起動した後、コントロールパネルの調整でミラーリングの設定にする。
- 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがあります。静止映像は長時間投写しないでください。
- EasyMPの機能については、『EasyMP セットアップガイド』を参照してください。

映像を見ながら投写映像を選ぶ(プレビュー機能)

現在、選択している映像ソースを一度に投写し、プレビュー画面を見て、映像を切り替えることができます。
プレビュー機能の操作はリモコンを使って行います。

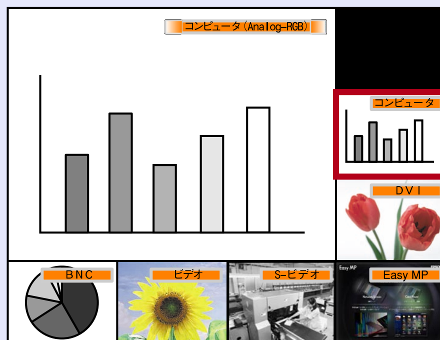
操作

1 **リモコンの[プレビュー]ボタンを押します。**
しばらくすると、下図のようなプレビュー画面が投写されます。
プレビューを実行したときに、映像信号が未入力状態や未サポートの信号が入力されている端子は、青色で投写されます。
リモコンの[入力切替]ボタンで投写したい映像ソースを選択すると、映像が切り替わります。



2 **映像を詳細に見たいときは、[ ]ボタンを傾け、切り替えたい映像を選択します。**

赤枠のカーソルを移動させ、目的の映像を選択します。



3 **[Enter]ボタンを押します。**

選択した映像がアクティブ画面に投写されます。
再度、[Enter]ボタンを押すと、プレビュー機能は解除され、アクティブ画面の映像が投写されます。
プレビュー機能実行前の映像に戻る場合は、[ESC]または[プレビュー]ボタンを押します。





ポイント

- プレビュー画面表示中は、アクティブ画面に投写中の映像の音声が流れます。ただし、[コンピュータ]端子、または[DVI]端子からの映像をアクティブ画面に投写中のときは環境設定メニューの「音声」→「コンピュータ/DVI音声入力」の設定に従って音声が流れます。
- アクティブ画面に投写中の映像以外は、静止画像で投写されます。
- Eズーム機能実行中やリアル表示になっているときに[プレビュー]ボタンを押すと、各機能が解除されてからプレビュー画面が表示されます。映像を切り替えずにプレビュー機能を終了した場合は、プレビュー機能実行前の映像状態に戻ります。



電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

操作

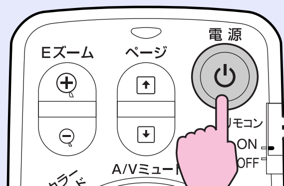
1 本機に接続している機器の電源をOFFにします。

すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

2 リモコン、または本体の[電源]ボタンを押します。

次の確認のメッセージが表示されます。

リモコン



電源を切りますか？

はい　：（電源）を押す
いいえ：[電源]ボタン以外を押す

電源を切りたくないときは、下記以外のボタンを押します。

- **リモコンの場合**：[電源]、[▼]、[▲]、[☼]、[数字]、[ID]ボタン
- **本体の場合**　　：[電源]ボタン

何も操作しないと、約7秒後に自動的にメッセージが消えます（電源は切れません）。



注意

「内部温度が上昇しています。エアーフィルタの掃除や交換を行い、室温を下げてください。」とメッセージが表示されたときは、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、電源をOFFにしたあと、エアーフィルタの掃除を行ってください。☛ p.110

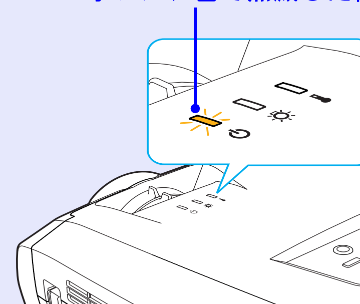
3 もう一度、リモコンまたは本体の[電源]ボタンを押します。

ランプが消灯します。⏻インジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウン ▸▸が始まります。

クールダウンの時間は約30秒です。

クールダウンが終了すると、⏻インジケータがオレンジ色の点灯に変わります。

オレンジ色で点滅した後、点灯に変わります。

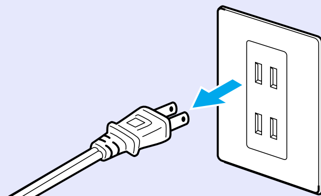




ポイント

- ⏻インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンまたは本体のボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。
- 環境設定メニューで「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定している場合は、クールダウンが終了しても排気ファンが回り続けます。故障ではありませんのでご了承ください。

4 本機を長期間使用しない場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。

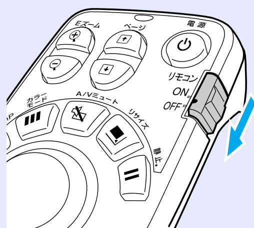




注意

⏻インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になります。

5 [リモコン]スイッチをOFFにします。



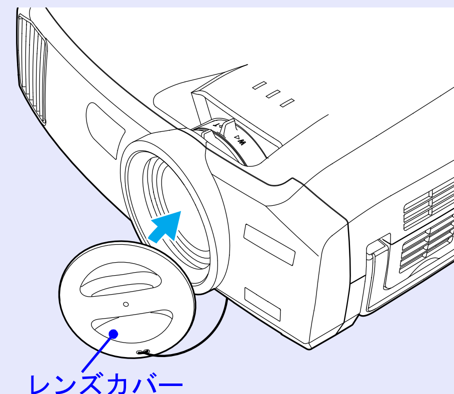


ポイント

[リモコン]スイッチがONのままになっていると電池が消耗します。使用しないときは[リモコン]スイッチをOFFにしてください

6 レンズカバーを取り付けます。

レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。





投写画面の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

投写サイズの微調整（ズーム調整）

基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。☛ p.15
ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。



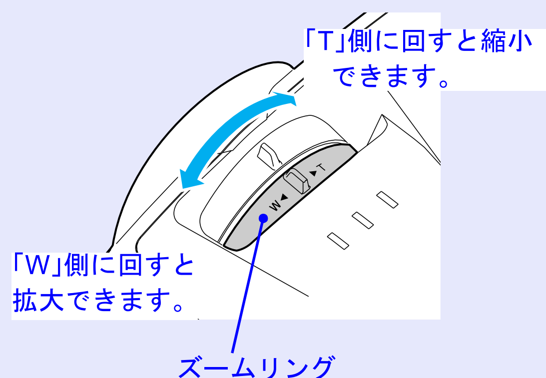
ポイント

一部分を拡大するEズーム機能もあります。☛ p.61

操作

本体のズームリングを回して調整します。

標準レンズの場合は、1.35倍まで拡大できます。
さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。☛ p.15

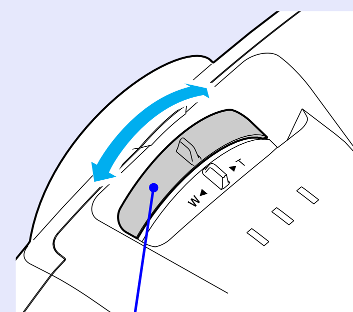


ピントを合わせる（フォーカス調整）

操作

本体のフォーカスリングを回してピントを合わせます。

台形補正やシャープネス設定を行っているとピントが合わないことがあります。





ポイント

- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。☛ p.96, 110
- 標準レンズを装着している場合、設置距離が77～1113cmから外れると、ピントが合いません。設置距離を確認してください。オプションのレンズを装着している場合は、レンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

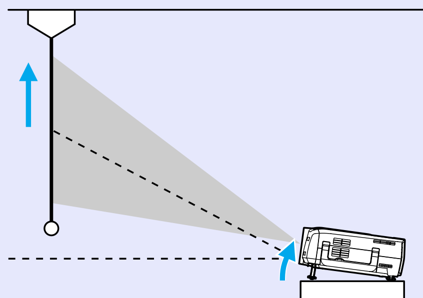
投写画面の位置調整

本機をスクリーンに対して上下左右に傾けて設置するときは、以下の調整をしてください。

■ スクリーンに対して上下に傾けて投写したとき

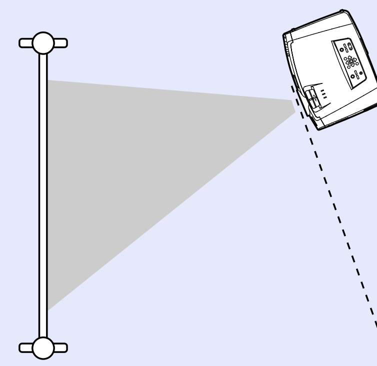
高い位置にあるスクリーンに投写するときは、フロントフットを伸ばして本機を傾けます。☛ p.44

本機を傾けて投写すると、投写画面が台形にゆがむことがあります。その場合は、自動台形補正機能が働き自動的にゆがみのない映像を投写します。☛ p.46



■ スクリーンに対して横から投写したとき

スクリーンの正面から投写できないときは、サイドから投写できます。投写した画面が台形にゆがむ場合は、「ヨコ補正」「Quick Corner」を使ってゆがみを補正します。☛ p.46, 48



■ フットの調整

フロントフットやリアフットの伸縮を調節することで、上方向に最大12°、下方向に最大4°までの範囲で本機を傾けることができます。



ポイント

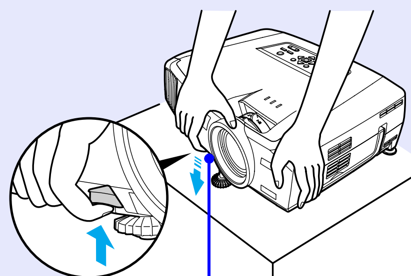
フロントフットやリアフットを使い本機を傾けると、投写画面が台形にゆがむことがあります。その場合は自動台形補正が働き、自動的にゆがみのない映像を投写します。☛ p.46

操作

前面のフットレバーを引いたまま、本機前面を持ち上げると、フロントフットが伸びます。

投写したい角度になるまでフロントフットを伸ばし、フットレバーを離します。

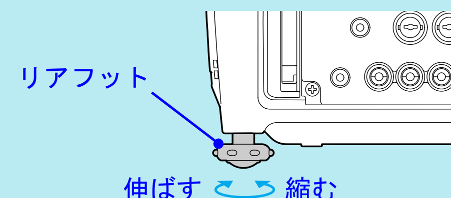
フロントフットを収納するには、フットレバーを引いたまま、本機をゆっくり降ろします。





ポイント

本機を下方向に傾ける場合や、水平方向に傾いているときは、左右のリアフットの接地部を回して、高さを微調整してください。本機が水平方向に傾いていると、正しく自動台形補正が行われない場合があります。



投写画面のゆがみを補正しよう(台形補正)

本機は、投写時に上下の傾きを検知し、自動的にタテ補正を行う「自動台形補正機能」を備えています。自動台形補正の結果を微調整したい場合や、本機を左右にも傾けて設置したときは手動で補正を行います。



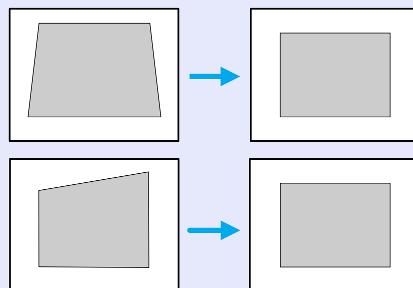
ポイント

本機を設置する際の傾斜角度が上下に約30°までであれば、自動的に台形補正されます。上下約 40°、左右約 20° までであれば、手動で台形補正できます。
ただし、次の設定により対応できる角度は変わります。
・上下方向と左右方向の両方とも傾けた場合。
・オプションの投写レンズを装着している場合。
・ズームを「W」側に調整している場合。

本機は、次の 2 種類の台形補正の機能を装備しています。いずれかを選んでお使いください。

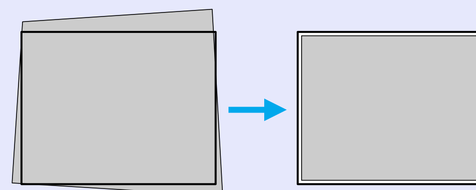
- **自動台形補正/タテヨコ補正**

  自動台形補正は、投写画面が縦方向にゆがんでいる場合に自動的に補正します。
  タテヨコ補正は、自動的に補正された結果を微調整したい場合や、横方向の台形にゆがんでいるときの補正に使います。
  本機を移動して設置する場合など、本体のボタン操作で簡単に補正できます。
  ☛「自動台形補正」p.46
  ☛「タテヨコ補正」p.46
  ☛「高さ補正」p.47



- Quick Corner(クイックコーナー)

  投写画面が縦・横両方向の台形にゆがんでいる場合の補正に使います。4 つの角を補正して、スクリーンピッタリになるように補正できます。☛ p.48



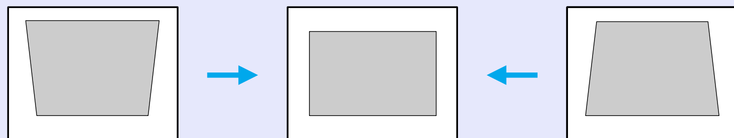


ポイント

- 「自動台形補正/タテヨコ補正」と「Quick Corner」を一緒に使うことはできません。一方の補正方式に切り替えると、もう一方の補正状態は解除されます。
- 傾斜角度が大きくなるほど、投写映像の輪郭部分のピントが合いにくくなります。
- 台形補正の補正量が大きくなると、文字や罫線などの細かい部分がぼやけます。
- 台形補正の状態は本機の電源を切っても記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、補正し直してください。
- 「ヨコ補正」と「高さ補正」を一緒に使うことはできません。
- 台形補正をすると画面が小さくなります。必要に応じてズーム調整をしてください。☛ p.42
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。☛ p.73, 75

■ 自動台形補正

本機を上下方向に傾けたときは、自動的にタテ補正が行われ、ゆがみのない映像を投写します。



自動台形補正は、本機を設置して投写を開始してから約 1 秒後に行われます。自動調整中はタテ補正ゲージが表示されます。



ポイント

- 自動台形補正は環境設定メニューの「高度な設定1」→「リア」、または「天吊り」が「ON」のときやQuick Cornerで補正している場合は実行されません。
- 自動台形補正の結果を微調整したい場合や、本機が左右にも傾いているときは手動で補正を行うことができます。☛「タテヨコ補正」
- 自動台形補正が不要な場合は、環境設定メニューの「設定」→「台形補正」→「タテヨコ」→「自動台形補正」を「OFF」に設定してください。☛ p.79

■ タテヨコ補正

タテヨコ補正は本体操作パネルと環境設定メニューから行えます。ここでは、本体操作パネルからの補正方法を記載します。

環境設定メニューからの補正 ☛「設定」→「台形補正」→「タテヨコ」p.79

高さ補正を行っているときにヨコ補正を行うと高さ補正は解除されます。

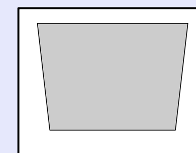


ポイント

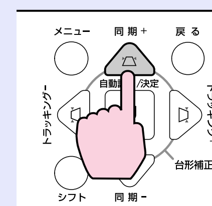
環境設定メニューの「設定」→「台形補正」で「Quick Corner」を選択している場合は「⏶」「⏷」「⏴」「⏵」を押すと「Quick Corner」の補正画面が表示されます。☛ p.48
タテヨコ補正を行う場合は「タテヨコ」を選択してから操作を行ってください。☛ p.79

操作

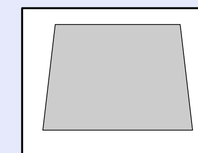
上辺が広いとき



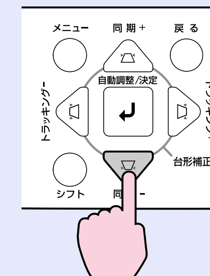
本体

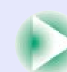


底辺が広いとき

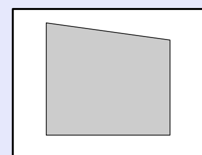


本体

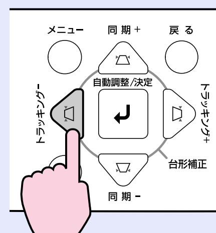




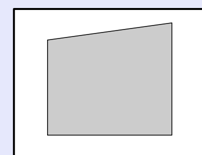
左辺が広いとき



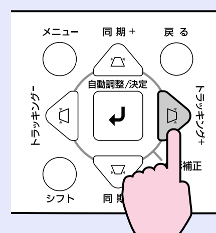
本体



右辺が広いとき



本体





ポイント

タテヨコ補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなった場合は、補正量の限界に達したことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。

■ 高さ補正

自動台形補正やタテ補正を行うと画面の高さが低くなります。画面の高さを補正するには高さ補正で行います。
高さ補正は環境設定メニューから行います。
ヨコ補正を行っているときは、設定できません。

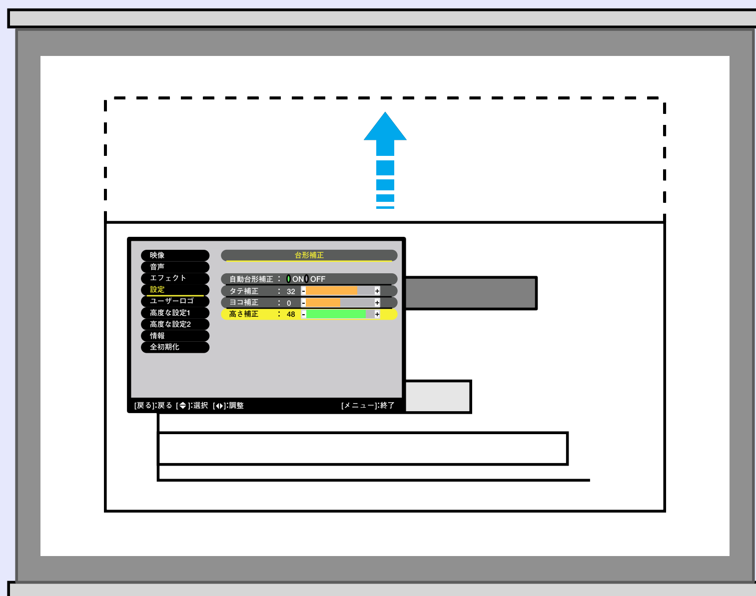
操作

1 リモコン、または本体の [メニュー] ボタンを押します。環境設定メニューで「設定」→「台形補正」→「タテヨコ」→「高さ補正」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。
☛ p.87



2 リモコンの[◯]ボタンを左右に傾けるか、または本体の[◁][▷]ボタンを押して、投写映像を見ながら高さを補正します。



3 設定が終了したら、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

■ スクリーンピッタリに台形補正する（Quick Corner）

Quick Corner は本体操作パネルと環境設定メニューから行えます。ここでは、本体操作パネルからの補正方法を記載します。

環境設定メニューからの補正　☛「設定」→「台形補正」→「Quick Corner」p.79



ポイント

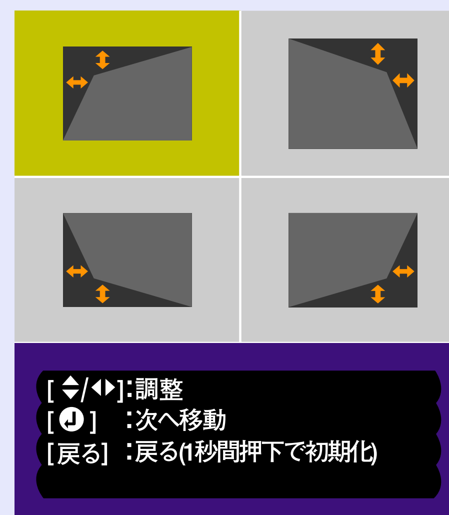
環境設定メニューの「設定」→「台形補正」で「タテヨコ」を選択している場合は「△」「▽」「◁」「▷」を押すとタテ補正、またはヨコ補正のゲージが表示されます。☛ p.46

Quick Corner を行う場合は「Quick Corner」を選択してから操作を行ってください。☛ p.79

操作

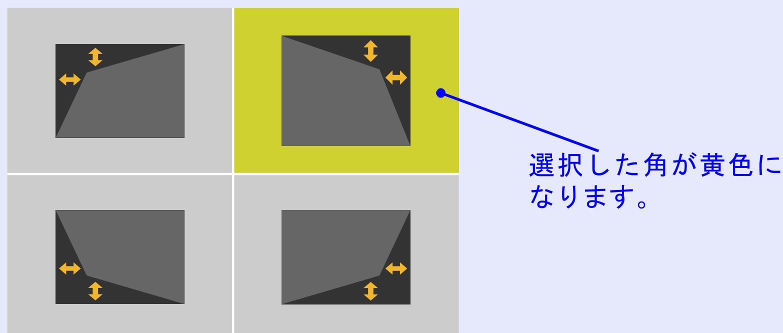
1 本体の「△」「▽」「◁」「▷」を押します。

Quick Cornerの補正画面が表示されます。



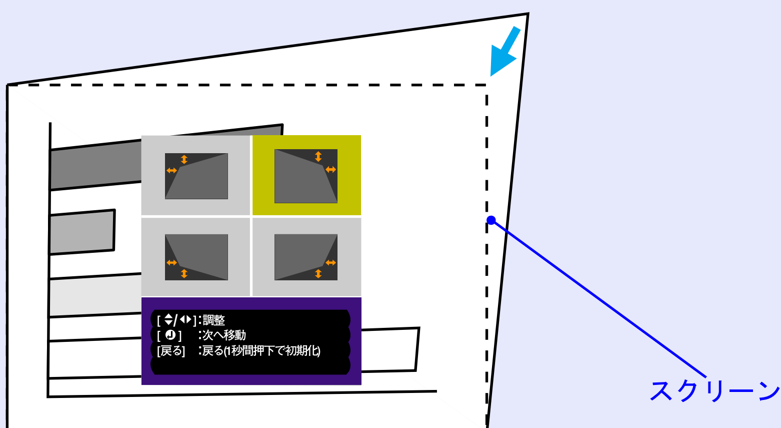
2 **本体の[自動調整/決定]ボタンを押して補正する角を画面で選択します。**

リモコンの[Enter]ボタンを押して選択することもできます。



3 **本体の[△][▽][◁][▷]ボタンを押して角の位置を補正します。**

リモコンの[◌]ボタンを傾けて角の位置を補正することもできます。





ポイント

- Quick Cornerの補正画面表示中に、リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを約１秒間押し続けると、補正した画面を初期化できます。
- Quick Cornerで補正中に、画面に「これ以上調整できません。」と表示された場合は、補正量の限界に達したことを示しています。以下の2点を確認してください。
  - ・目的のスクリーンサイズに適した投写距離になっているか ☛ p.15
  - ・本機を制限以上に傾けていないか ☛ p.45
- Quick Cornerで補正中に、映像信号が入力されなくなる、または未サポート信号に切り替わった場合は、補正値が記憶されQuick Cornerを終了します。
- Quick Cornerの補正画面を表示すると、次の機能は解除されます。
  ・Eズーム機能　・リアル表示　・フリーズ

4 **補正を終了するときは、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押します。**



映像の画質を調整します。

スクリーンがなくても見やすい映像を投写する（Wall Shot）

Wall Shot を使うと、スクリーンの代用として黒板や色のついた壁に投写するような場合でも、映像本来の色を損なわずに投写できます。例えば、緑色の黒板に投写した場合、投写映像は緑がかった色になり大変見にくくなります。Wall Shot を使うとセンサーで投写先の状態を測定し、自動的に色補正を行った状態で投写されます。
さらに、Wall Shot は階調補正も行います。窓際などに設置されているスクリーンに投写していて、ぼやけたように感じるときも Wall Shotを行うとはっきりした映像になります。



ポイント

- Wall Shotが行えるのは、投写距離が約80cm～1000cmの範囲です。ただし、ホワイトボードのように光の反射率が強い場合や、暗い色の壁など光を反射しないときなど、投写先の状態によりこの距離は変わることがあります。
- 投写先の壁が柄付きや縞模様の場合、Wall Shotを使ってもセンサーが状態を正確に測定できないため、正しく色補正できない場合があります。

操作

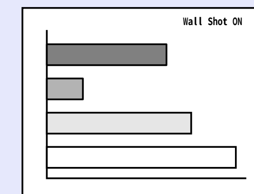
Wall Shotはリモコン、または本体操作パネルから行います。

1 **投写している状態で、リモコンまたは本体の[Wall Shot]ボタンを押します。**

ボタンを押すと画面上に現在の状態が表示されます。

リモコン





2 **状態を変更する場合は、画面に状態が表示されている間に[Wall Shot]ボタンを押します。**

例えば、「Wall Shot OFF」と表示されている間に、[Wall Shot]ボタンを押すと「Wall Shot ON」の状態になり投写先の状態の測定を開始します。
測定中は、赤 → 緑 → 青 → 黒の順で約5秒間投写します。

3 **測定後、色の補正が終了すると補正した状態で映像が投写されます。**

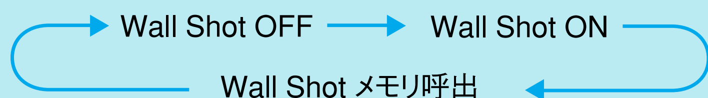
解除するには、画面に「Wall Shot ON」と表示されている間に[Wall Shot]ボタンを押し、「Wall Shot OFF」を選択します。





ポイント

- 本機の電源を切ると、次回は「Wall Shot OFF」の状態で投写を開始します。ただし、前回測定した結果の色補正値は、本機の電源を切っても記憶されます。
  前回と同じ場所で投写するときは、前回の色補正値を呼び出すことができます(調整に必要な約5秒はかかりません)。
  [Wall Shot]ボタンを押すたびに次の順で状態を選択できます。



  「Wall Shot メモリ呼出」を選択すると、前回の調整値が呼び出されます。
- 「Wall Shot ON」のときに、測定をやり直したいときは[Wall Shot]ボタンを押すたびに次の順で状態が切り替わるので、「Wall Shot再調整」を選択します。



コンピュータ映像の調整

自動調整機能

コンピュータケーブルで接続しているコンピュータのアナログRGB 信号を判断し、コンピュータの映像を最適な状態に自動的に調整します。
自動調整機能で調整されるのは、トラッキング ▸▸、表示位置、同期 ▸▸ の3項目です。



ポイント

- 環境設定メニューの「高度な設定２」→「自動セットアップ」を「OFF」に設定している場合は(初期設定は「ON」)、自動調整機能は働きません。この場合は、コンピュータの映像(アナログRGB)を投写中に、リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、調整を行います。

リモコン

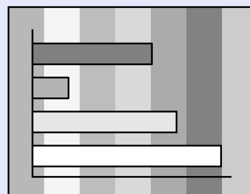


- Eズーム機能や静止機能を実行しているときにリモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、トラッキングと表示位置、同期をそれぞれ調整してください。☛ p.52, 53, 73
- プレビュー機能を実行しているときは、自動調整機能は働きません。



■ トラッキングの調整

自動調整を行っても、コンピュータの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別にトラッキング ▸▸ の調整を行います。



操作

トラッキングの調整は、本体操作パネルと環境設定メニューから調整できます。ここでは本体操作パネルからの調整方法を記載します。

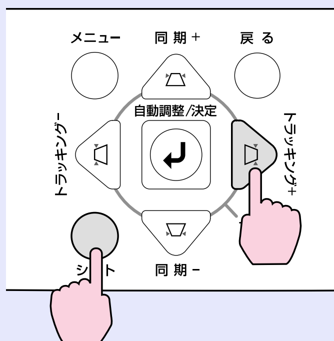
環境設定メニューからの調整 ☛「映像」→「トラッキング」p.73

以下のボタンを押して映像の縦の縞模様が消えるようにトラッキングの値を設定します。

本体の[シフト]ボタンを押したまま[▷]ボタンを押します。

ボタンを押すたびにトラッキングの値が上がります。

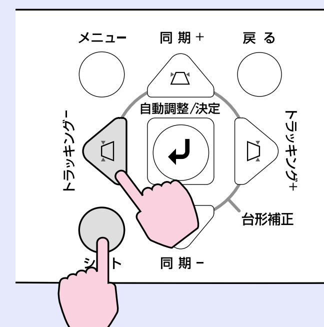
本体



本体の[シフト]ボタンを押したまま[◁]ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、トラッキングの値が下がります。

本体



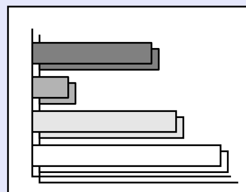


ポイント

連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

■ 同期の調整

自動調整を行っても、コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期 ▸▸ 調整を行います。



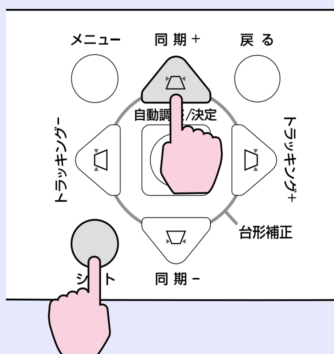
操作

同期の調整は本体操作パネルと環境設定メニューから調整できます。ここでは本体操作パネルからの調整方法を記載します。
環境設定メニューからの調整　☛「映像」→「同期」p.73

以下のボタンを押して映像のちらつき、ぼやけ、横ノイズが消えるように同期の値を設定します。

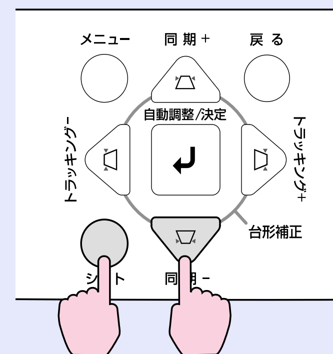
本体の[シフト]ボタンを押したまま[△]ボタンを押します。
ボタンを押すたびに同期の値が上がります。

本体



本体の[シフト]ボタンを押したまま[▽]ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、同期の値が下がります。

本体





ポイント

- トラッキングを合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。
- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト ▸▸、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。

映り具合を選ぶ(カラーモード選択)

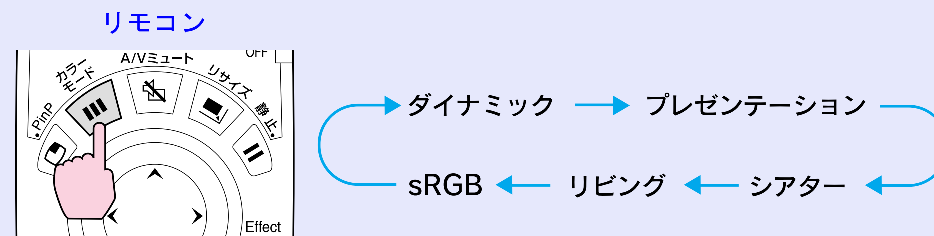
映像の特徴に合わせた次の 5 種類の設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るさを重視した、鮮やかでメリハリを付けた映像にします。
プレゼンテーション	明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。
シアター	自然な色合いで映画に最適です。
リビング	明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。
sRGB	色の標準規格であるsRGB に準拠します。接続している機器にsRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGB に設定して使用します。

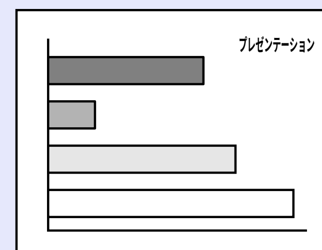
操作

カラーモードの選択はリモコンと環境設定メニューから選択できます。
ここではリモコンからの選択方法を記載します。
環境設定メニューからの選択 ☛「映像」→「カラーモード」p.76

リモコンの[カラーモード]ボタンを押すたびに次の順でカラーモードが切り替わります。



モードを切り替えるたびに、画面上に現在の設定が表示されます。



カラーモードの初期設定値は、次のとおりです。
コンピュータ映像入力時:「プレゼンテーション」
その他の映像入力時:「ダイナミック」

音量を調整しよう

本機の内蔵スピーカ、または本機に接続している外部スピーカの音量を調整します。

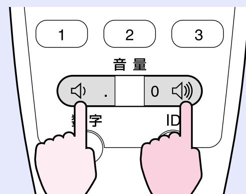
操作

音量は、リモコンと本体操作パネル、環境設定メニューから調整できます。
ここではリモコンと本体操作パネルからの調整方法を記載します。
環境設定メニューからの調整 ☛「音声」→「音量」p.77

リモコン、または本体の[音量]ボタンを押して調整します。

🔊側を押すと音量が上がり、🔈側を押すと下がります。
調整中は音量ゲージが表示されます。

リモコン



音量：15 - +



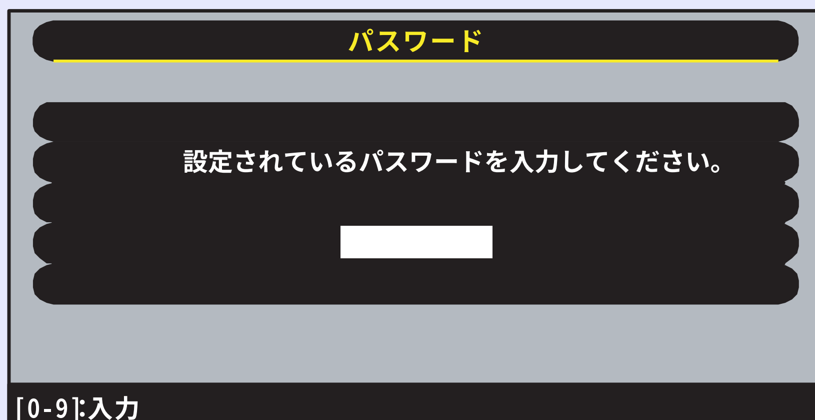
ポイント

- 音量調整を行っているときに、画面に表示されているゲージの値が変化しなくなったら、音量調整の限界に達したことを示しています。
- 音量の調整結果は各映像ソースごとに保存されます。

本機には、パスワードプロテクト機能が備わっています。パスワードプロテクトを「ON」に設定しておくと、電源プラグをコンセントに接続後、初めて本機の電源を入れたときにパスワードを入力しないと投写を開始できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使えないため、盗難等の防止につながります。
初期設定では、パスワードプロテクトは「OFF」になっています。使い始めたら、すみやかにパスワードプロテクトを「ON」にして、パスワードを設定してください。

パスワードプロテクトを有効にしていると

パスワードプロテクトを有効(ON)にしている場合は、本機に接続した電源ケーブルをコンセントに接続後、初めて本機の電源を入れるとパスワードの入力を求める画面が表示されます。



設定されているパスワードを、リモコンのテンキーから入力します。☛ p.57
正しくパスワードを入力すると、投写を開始します。

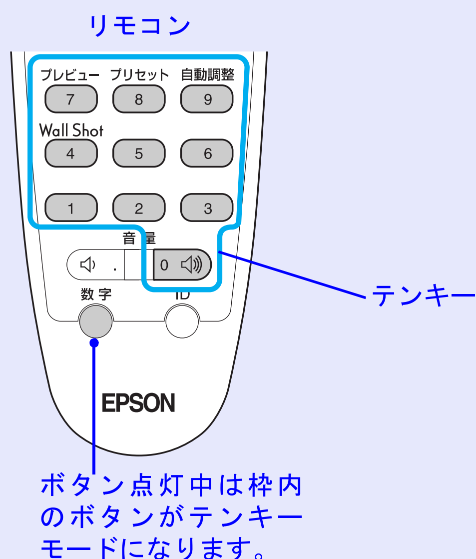
電源プラグをつないだままにしていると、次回、電源を入れてもパスワードを入力する画面は表示されずに投写を開始します。電源プラグをコンセントに接続後、初めて本機の電源を入れたときに限りパスワードを入力する画面は表示されます。


ポイント

- パスワードプロテクトに関してお問い合わせいただいた際は、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』に記載されているお客様のお名前や連絡先などをお聞きし、ご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約５分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
  万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている「問い合わせコード:xxxx」の番号を控えて、インフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。☛「お問い合わせ先」p.132
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて9回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。エプソン修理センターにお問い合わせください。」

リモコンでパスワードを入力するには

パスワードを入力する際は、リモコンの[数字]ボタンを押します。
[数字]ボタンが点灯してテンキーモードになり数字が入力できるようになります。
再度、[数字]ボタンを押すと、[数字]ボタンが消灯してテンキーモードが解除されます。



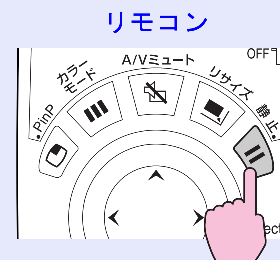
パスワードプロテクトの設定を変更する

パスワードプロテクトを有効にしたり、パスワードを設定する場合は、下記の手順で行います。

操作

1 リモコンの[静止]ボタンを約5秒間押し続けます。
本体操作パネルから操作する場合は、[▷]ボタンを押したまま[メニュー]ボタンを約5秒間押し続けます。

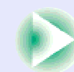
パスワードプロテクトメニューが表示されます。



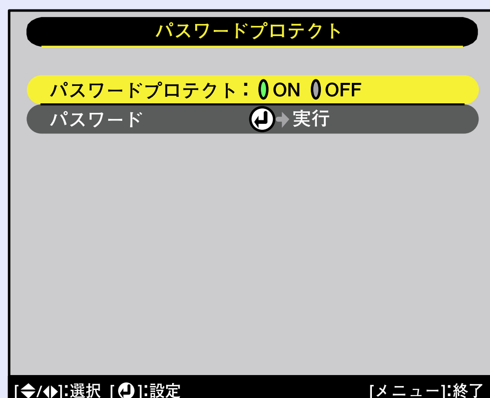


ポイント

すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードを入力する画面が表示されます。
パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクトメニューが表示されます。☛「パスワードプロテクトを有効にしていると」p.56



2 **「パスワードプロテクト」で「ON」を選択して、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。**



3 **パスワードを変更するには「パスワード」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。**

4 **「パスワードを変更しますか?」と表示されるので、「はい」を選択してリモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。**

初期設定でパスワードは「0000」に設定されていますが、必ず任意のパスワードに変更してください。
「いいえ」を選択すると、手順2の画面に戻ります。

5 **パスワードを数字4桁で入力します。**

リモコンの[数字]ボタンを押し、テンキーから4桁の数字を入力します。
入力したパスワードは「****」と表示されます。
4桁目を入力すると、次の確認画面に切り替わります。

6 **手順5で入力したパスワードを再度入力します。**

「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。
間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

7 **設定が終了したら、[メニュー]ボタンを押します。リモコンの[数字]ボタンを押し、テンキーモードを解除します。**

[数字]ボタンが消灯したことを確認してください。

次回、電源プラグをコンセントに差し込み電源を入れたときに、パスワードプロテクトが機能します。



ポイント

- パスワードプロテクトを「ON」にした場合は、盗難防止の効果を高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。
- 設定したパスワードは、忘れないように記録して管理してください。
- リモコンをなくすとパスワードの入力ができなくなります。リモコンは大切に保管してください。



TOP

応用編

この章では、投写を効果的にするための機能と環境設定メニューについて説明しています。

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

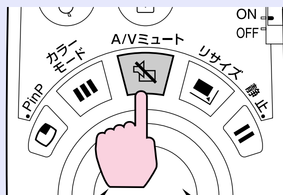
A/Vミュート機能

映像と音声を一時的に消します。
例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を表示したくない場合に使用すると便利です。
ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

操作

リモコン、または本体の[A/Vミュート]ボタンを押します。
映像と音声が消えます。

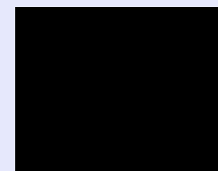
リモコン



もう一度[A/Vミュート]ボタンを押すと投写を再開します。
リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを押しても再開します。

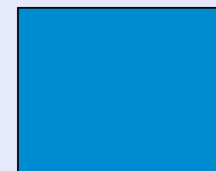
映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「設定」→「A/V ミュート」により、次の 3 種類の中から選択できます。 ☛ p.80

黒一色



初期設定

青一色



ユーザーロゴ





ポイント

ユーザーロゴには EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録が必要です。 ☛ p.116

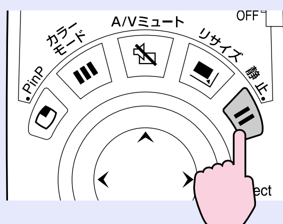
静止機能

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。
動画を停止している場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止したときの場面からは再開できません。

操作

リモコンの[静止]ボタンを押します。
映像が停止します。

リモコン



解除するには再び[静止]ボタンを押します。リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを押しても解除できます。



ポイント

- 環境設定メニュー、ヘルプメニュー表示中にリモコンの[静止]ボタンを押すと、各メニューは解除されます。
- Eズーム実行時も、静止機能で停止できます。

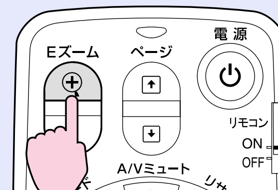
Eズーム機能

グラフや表など見たい部分を拡大/縮小できます。
Eズーム機能の操作はリモコンを使って行います。

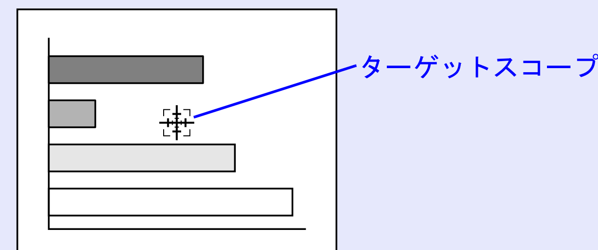
操作

1. **リモコンの[Eズーム⊕]ボタンを押します。**
投写中の画面に、ズームを行う中心点を表すカーソル(ターゲットスコープ)が表示されます。

リモコン

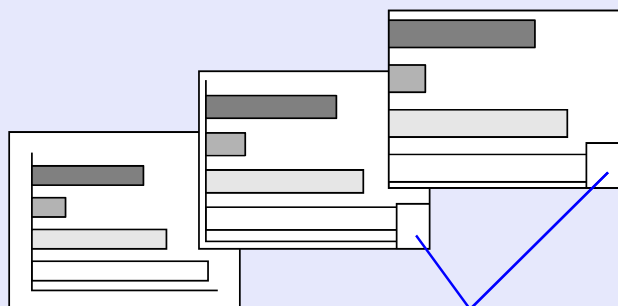


2. **拡大/縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。**
ターゲットスコープの移動は、[◯]ボタンを傾けて行います。





3 **[⊕]ボタンを押すと、ターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。**
[⊖]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。
画面右下に倍率が表示されます。
[◌]ボタンを傾けることによって、画面のスクロールができます。



解除するには[ESC]ボタンを押します。


ポイント

1〜4倍まで、0.125倍刻みに25段階で拡大できます。

PinP(ピクチャー イン ピクチャー)機能

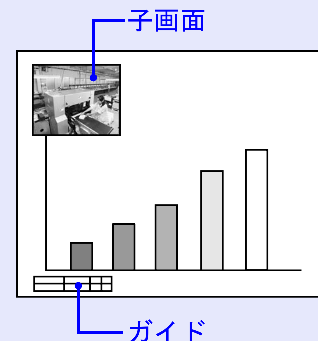
現在、投写している画面(親画面)の中に別の映像を小さな画面(子画面)で投写できます。
親画面にはコンピュータ、または EasyMP の映像を、子画面にはビデオ映像(コンポジットビデオ、S-ビデオ)を表示できます。
子画面のビデオ映像は、環境設定メニューの「設定」→「P in P 子画面」で選択します。☛ p.79
PinP機能の操作はリモコンを使って行います。


ポイント

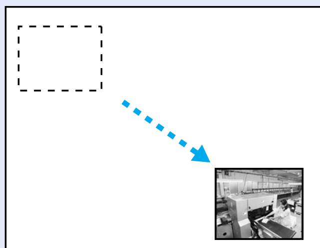
リフレッシュレートがインタレースに設定されているコンピュータ映像とRGBビデオ映像の場合、PinP機能は働きません。

操作

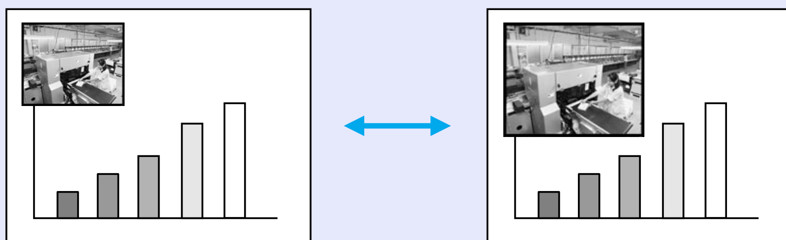
1 **親画面、子画面に投写する機器を接続し、環境設定メニューの「設定」→「P in P 子画面」で子画面の設定を行ったうえでリモコンの[PinP]ボタンを押します。**
画面の左上に子画面が、左下に操作ガイドが表示されます。



2 **リモコンの[ ]ボタンを傾けると、子画面の位置を移動できます。**



3 **リモコンの[E ズーム]ボタンを押すと、子画面のサイズを5段階で変更できます。**



親画面の縦・横の各辺を1とした場合の子画面の辺の比率は下記のとおりです。

1段階 約1/3.4 ↔ 2段階 約1/3.2 ↔ 3段階 約1/3.0 ↔ 4段階 約1/2.8 ↔ 5段階 約1/2.7

[PinP]ボタンを押したときの、子画面の初期サイズは2段階目の大きさとなります。

4 **[Enter]ボタンを押すと、操作ガイド画面が消え、子画面の表示位置とサイズが決定されます。**

PinPを解除するには、再び[PinP]ボタンを押します。



ポイント

- 子画面の位置は記憶され、次回PinP機能を実行したときの子画面の位置は前回確定した位置になります。
- 子画面の表示位置とサイズを決定する前に、以下の操作を行うと、親画面と子画面の音声を切り替えることができます。
  ・親画面の音声を流す場合：[カラーモード]ボタンを押す
  ・子画面の音声を流す場合：[A/Vミュート]ボタンを押す



エフェクト機能

投写中の映像にポインタアイコンを表示させてリモコンで操作したり、直線や曲線を描くことができます。
この機能を使うと、注目させたい部分をアピールすることができます。
エフェクト機能の操作はリモコンを使って行います。



ポイント

環境設定メニューの「エフェクト」でポインタアイコンの種類や大きさ、移動速度、描く線の色や太さを設定できます。「ポインタ/ライン1」、「ポインタ/ライン2」、「ポインタ/ライン3」にそれぞれの設定を登録しておき、呼び出すことができます。☛ p.78

■ ポインタアイコンを使う

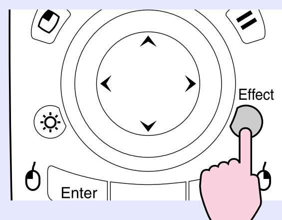
プレゼンテーション中などに、投写映像の説明している箇所をポインタアイコンを使って指し示すことができます。

操作

1 リモコンの[Effect]ボタンを押します。

画面中央にポインタアイコンが表示されます。
[Effect]ボタンを押すたびに、「ポインタ/ライン1」→「ポインタ/ライン2」→「ポインタ/ライン3」の順で設定されているポインタアイコンが表示されます。

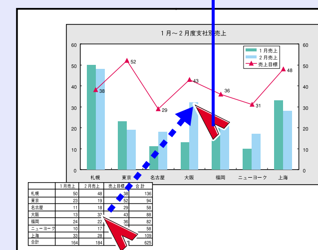
リモコン



2 [◯]ボタンを傾けると、ポインタアイコンを移動できます。

解除するには、[ESC]ボタンを押します。ポインタアイコンが消えます。

ポインタアイコン





ポイント

本機の電源を切るまでは、最後に使用したポインタアイコンの種類が記憶されます。エフェクトを実行すると、最後に使用したポインタアイコンが表示されます。本機の電源を切ると、以降は「ポインタ/ライン1」のポインタアイコンが初めに表示される状態に戻ります。

■ 直線や曲線を描く

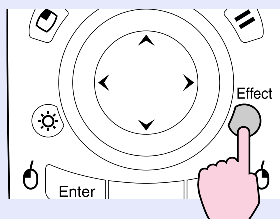
プレゼンテーション中などに、投写映像の強調したい箇所に直線を引いたり、フリーハンドで丸囲みしたりできます。

操作

1 リモコンの[Effect]ボタンを押します。

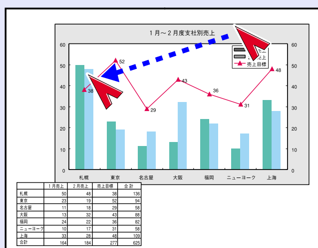
画面中央にポインタアイコンが表示されます。
[Effect]ボタンを押すたびに、「ポインタ/ライン1」→「ポインタ/ライン2」→「ポインタ/ライン3」の順で設定されているポインタアイコンが表示され、一緒に設定してある線の種類を選択できます。

リモコン



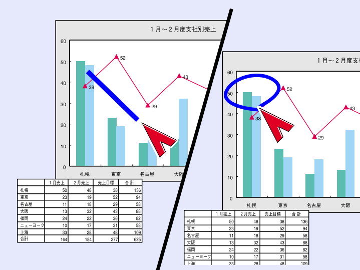
2 引く線の始点を決定します。

直線：ポインタアイコンを線の始点に移動し、[Enter]ボタンを押します。
曲線：ポインタアイコンを線の始点に移動し、[Enter]ボタンを約 1.5 秒押し続け、カーソルをドラッグモードにします。[Enter]ボタンが点灯します。



3 引く線の終点を決定します。

直線：ポインタアイコンを線の終点まで移動し、[Enter]ボタンを押します。
曲線：ポインタアイコンを線の終点まで移動します。ポインタアイコンの移動した軌跡が線として描かれます。
[Enter]または[ESC]ボタンを押します。[Enter]ボタンが消灯します。





ポイント

- 線の始点を設定し終点を決定する間は、[Effect]ボタンを押しても線の太さや色を切り替えることはできません。
- 描いた直線や曲線を1本ずつ消すことはできません。エフェクト機能を終了すると描いたすべての線が消去されます。

4 続けて何本か線を描く場合は、手順2～3を繰り返します。

解除するには、[ESC]ボタンを押します。ポインタアイコンで描いた線が消えます。

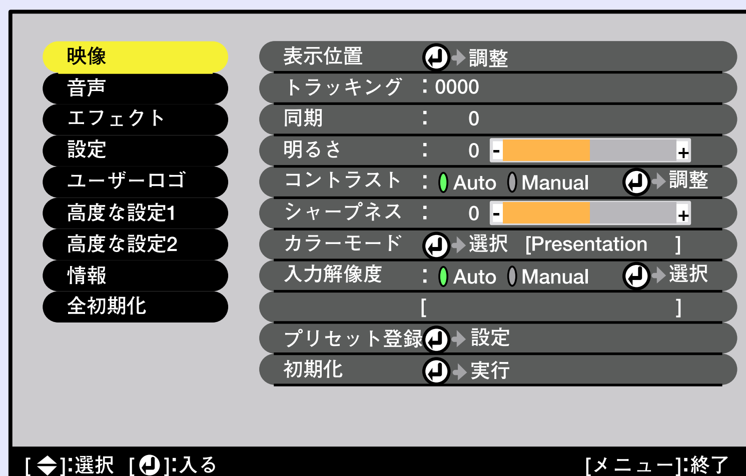
プリセット機能

コンピュータケーブルで接続しているコンピュータから入力しているアナログ RGB 信号の映像を投写中に、環境設定メニューの「映像」の全項目の設定値を最大10個まで記憶させることができます。解像度や周波数に応じて設定値を記憶させておけば、リモコンの［プリセット］ボタンを押すだけで現在投写中のアナログ RGB の映像に、記憶させた「映像」メニューの設定値を反映させられます。

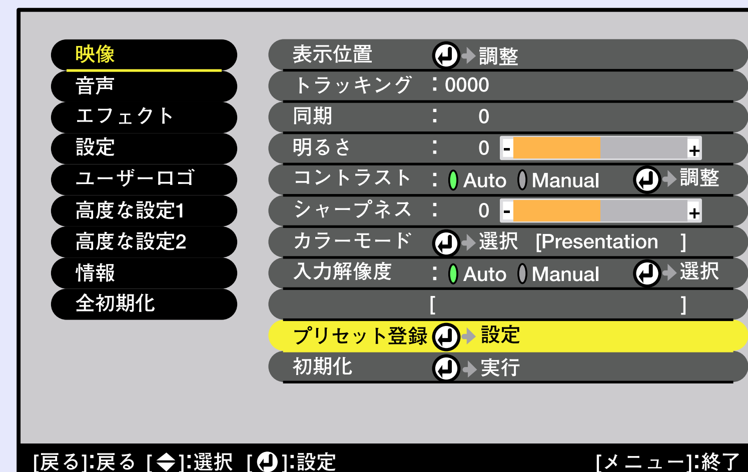
「映像」メニューを記憶する

操作

1 リモコン、または本体の［メニュー］ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」を選びます。設定内容を記憶させる状態に設定します。☛ p.73



2 設定が終ったらサブメニューの「プリセット登録」を選択して、リモコンの［Enter］ボタン、または本体の［自動調整/決定］ボタンを押します。



3 記憶させたい番号（1〜10）を選択します。





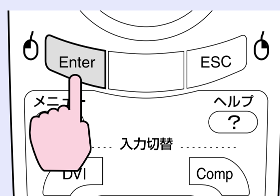
ポイント

入力解像度が表示されているプリセット番号は記憶済みです。記憶済みのプリセット番号を選択し、再度記憶させると上書きされます。

4 リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して「映像」メニューを記憶させます。

記憶させると記憶した入力解像度が表示されます。

リモコン





ポイント

- 記憶した内容を消去するには、環境設定メニューの「映像」→「初期化」を選択してください。ただし、プリセット登録した内容がすべて初期化されます。
- Wall Shot ON/OFFにかかわらず、プリセット登録ができます。ただし、Wall Shotの設定は登録されません。

記憶した「映像」メニューを反映させる

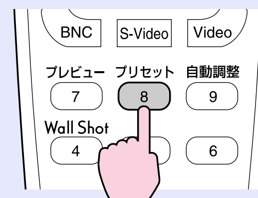
操作

コンピュータケーブルで接続しているコンピュータのアナログRGB映像を投写中に、リモコンの[プリセット]ボタンを押すと、記憶した「映像」メニューの設定値が投写中の映像に反映されます。

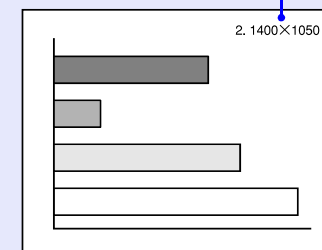
ボタンを押すたびに昇順で記憶したプリセット番号に切り替わります。

画面上に番号と入力解像度が表示されている間に[プリセット]ボタンを押さないと切り替わりません。

リモコン



プリセット番号と入力解像度が表示されます。





ポイント

- 未登録のプリセット番号はとばして切り替わります。
- 1つもプリセット登録していない場合は、リモコンの[プリセット]ボタンを押すと「登録されていません」と表示されます。



リサイズ/アスペクト比の切り替え

EasyMP 実行中は、リアル表示への切り替えやアスペクト比の変更は行えません。

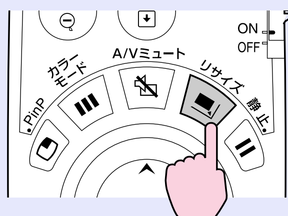
■ コンピュータの表示種類を切り替える

コンピュータの映像投写時は、投写サイズいっぱいになるように投写するリサイズ表示と、入力信号の解像度のまま投写するリアル表示を切り替えることができます。
コンピュータの映像投写時は、リサイズ表示で投写されます。

操作

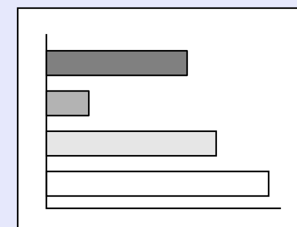
リモコン、または本体の[リサイズ]ボタンを押すたびに、リアル表示/リサイズ表示が切り替わります。

リモコン

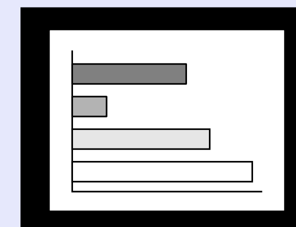


入力解像度がパネル解像度(1024×768)より小さい場合

リサイズ表示



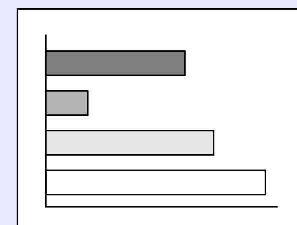
リアル表示



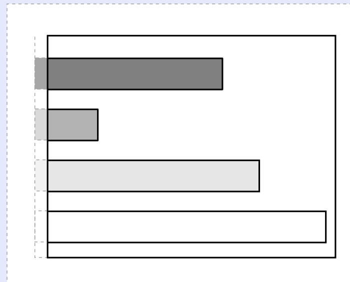
画面中央に入力信号の解像度のまま投写されます。

入力解像度がパネル解像度(1024×768)より大きい場合

リサイズ表示



リアル表示



映像の中央部分が投写されます。
リモコンの[ ]ボタンを傾けると映像をスクロールできます。

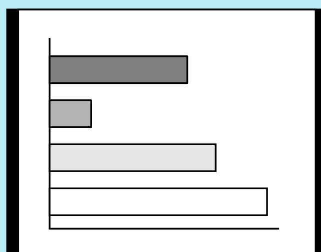




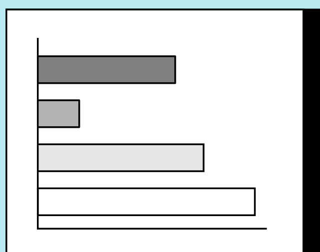
ポイント

- 投写映像の表示種類は各映像ソースごとに保存されます。
- 入力信号の解像度がパネル解像度(1024×768 ドット)と同じサイズの場合は映像サイズは切り替わりません。
- SXGA(5:4)の入力信号の場合は、本体の[シフト]ボタンを押したまま[リサイズ]ボタンを押すたびに映像の位置が次のように切り替わります。

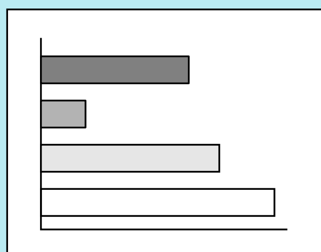
リサイズ表示(5:4)



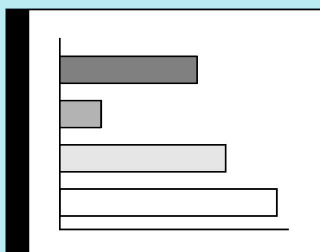
左端表示(5:4)



リサイズ表示(4:3)



右端表示(5:4)



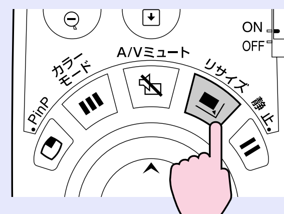
■ ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す

コンポーネントビデオ(YCbCr、YPbPr)、S-ビデオ、コンポジットビデオ投写時は、アスペクト比4:3と16:9を切り替えることができます。
デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写できます。

操作

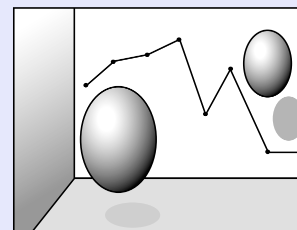
リモコン、または本体の[リサイズ]ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

リモコン

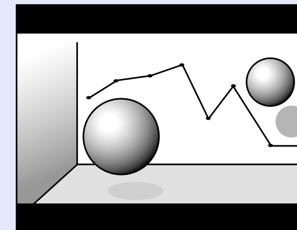


SDTV時
16:9出力の映像を4:3のアスペクトで表示すると水平方向に圧縮され縦長の映像になります。

スクイーズモードの映像を4:3で投写した場合

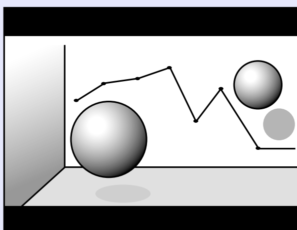


スクイーズモードの映像を16:9で投写した場合

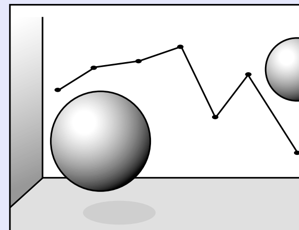


HDTV時
16:9 出力の映像を 4:3 のアスペクトで表示すると、縦方向にいっぱいになるようにリサイズし、表示しきれない左右をカットします。

スクイーズモードの映像を16:9で投写した場合



スクイーズモードの映像を4:3で投写した場合

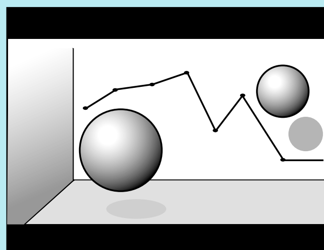




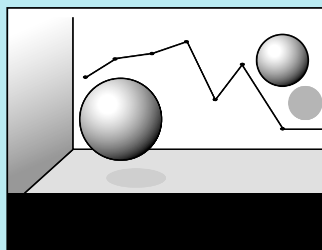
ポイント

アスペクト比が 16:9 の映像を投写中の場合は、本体の[シフト]ボタンを押したまま、[リサイズ]ボタンを押すたびに映像の位置が次のように切り替わります。

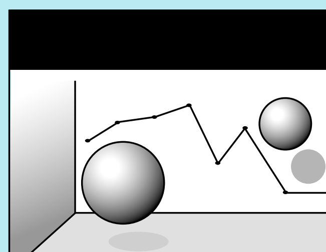
中央表示



上端表示



下端表示



プロジェクターID/リモコンID

ショーなどで本機を複数台使用する場合、プロジェクターとリモコンにID番号を登録すると、ID番号が一致するプロジェクターだけをリモコンで操作できるようになります。反対に、リモコンの ID 番号を「0」に設定すると、プロジェクター本体の ID 番号にかかわらず、すべてがリモコンの操作対象になります。



ポイント

ID 番号の初期設定値は、プロジェクター本体が「1」、リモコンが「0」になっています。

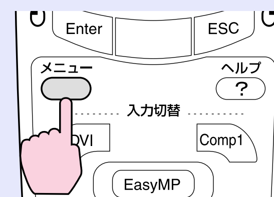
プロジェクター本体に ID 番号を登録する

操作

1 **リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューで「高度な設定 2」→「プロジェクターID」を選びます。**

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。
☛ p.87

リモコン



2 **リモコンの[◌]ボタン、または本体の[◁][▷]ボタンで登録したいID番号(1〜9)を選択します。**

リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整 / 決定]ボタンを押し、ID番号を決定します。





ポイント

「プロジェクターID」で設定できるID番号は「1〜9」です。「0」に設定することはできません。

3 **設定が終了したら[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューを終了します。**

登録が終了すると、ID 番号が一致する、または ID 番号が「0」に設定されているリモコンからの操作以外は受け付けなくなります。

■ リモコンの ID 番号を登録する

操作

1 **リモコンの[ID]ボタンを押します。**

[ID]ボタンが点灯します。

リモコン



2 **リモコンの[0]〜[9]ボタンを押してIDを指定します。**

[ID]ボタンが消灯し、登録が終了します。「0」以外に登録した場合は、ID 番号が一致するプロジェクター以外は操作できなくなります。

リモコン





ポイント

現在設定されているリモコン ID を確認したいときは、リモコンの[ID]ボタンを押し、[ID]ボタンが点灯したら、もう一度[ID]ボタンを押します。しばらくすると設定されている ID 番号の数だけ[ID]ボタンが点滅します。

環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。
メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。
操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」(☛ p.87)をご覧ください。

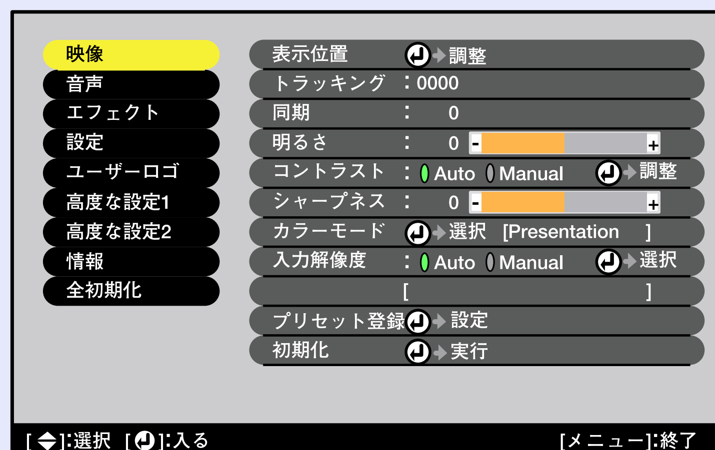


機能一覧

映像メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「入力解像度」、「ビデオ信号方式」を除く項目は調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

コンピュータ（Analog-RGB）



コンピュータ（Digital-RGB）/EasyMP



サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	（アナログRGB信号入力時のみ調整可能） 映像の表示位置を上下左右に移動します。 • リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。	入力信号による
トラッキング	（アナログRGB信号入力時のみ調整可能） 映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	入力信号による
同期	（アナログRGB信号入力時のみ調整可能） 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 • ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 • トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	入力信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値（0）
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。 • Auto：　コントラストを自動で最適値に調整します。 • Manual：コントラストを手動で調整します。	Auto
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値（0）



サブメニュー	機能	初期設定値
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 次の5種類の画質から選択できます。 •ダイナミック:明るさを重視した、鮮やかでメリハリを付けた映像にします。 •プレゼンテーション:明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 •シアター:自然な色合いで映画に最適です。 •リビング:明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。 •sRGB ▸▸: sRGB規格に準拠した映像にします。sRGBに設定すると「高度な設定1」→「カラー調整」の色温度が6500Kに固定されます。	プレゼンテーション
入力解像度	(アナログRGB信号が入力、選択されているときのみ調整可能) 使用機器の入力解像度を設定します。 •Auto :入力信号に応じて自動的に設定します。 •Manual :入力解像度を手動で選択します。	Auto
プリセット登録	(アナログRGB信号入力時のみ登録可能) 映像メニューの設定値を登録しておき、リモコンの[プリセット]ボタンを押すことで投写中のアナログRGB信号の映像に、登録しておいた設定値を反映することができます。 •プリセット番号(1～10)を選択することにより、現在の設定値を登録します。すでに設定値が登録されているプリセット番号には、登録された入力解像度が表示されます。設定値を変更するときは、登録済みのプリセット番号を選択すると、現在の設定値を上書きすることができます。	―
初期化	「映像」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 •リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 •「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.86	―

コンポーネントビデオ(YCbCr、YPbPr)



RGBビデオ



ビデオ(コンポジットビデオ、S-ビデオ)

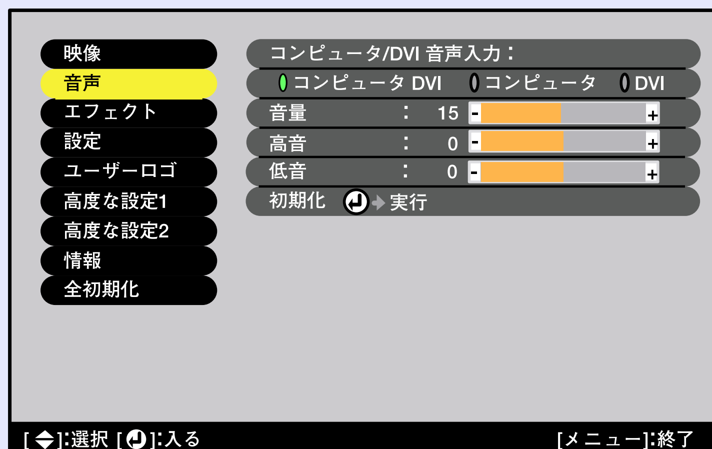


サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 • リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。	入力信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値(0)
色の濃さ	(RGBビデオの場合は表示されません。) 映像の色の濃さを調整します。	中心値(0)
色合い	(RGBビデオの場合は表示されません。) 映像の色合いを調整します。	中心値(0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)



サブメニュー	機能	初期設定値
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 5種類の画質から選択できます。 • ダイナミック:明るさを重視した、鮮やかでメリハリを付けた映像にします。 • プレゼンテーション:明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 • シアター:自然な色合いで映画に最適です。白黒伸長機能が働き、黒っぽい映像時や白っぽく明るい映像時も階調(色の濃淡)差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 • リビング:明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。 • sRGB ▸▸:sRGB規格に準拠した映像にします。sRGBに設定すると「高度な設定1」→「カラー調整」の色温度が6500Kに固定されます。	ダイナミック
ビデオ信号方式	(コンポジットビデオ/S-ビデオ信号が入力、選択されているときのみ選択可能) ビデオ信号方式を選択します。 • リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して選択します。 • 「Auto」にすると自動的にビデオ信号が選択されます。	Auto
初期化	「映像」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 • リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 • 「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。☛ p.86	—

音声メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
コンピュータ/DVI音声入力	[コンピュータ]端子、[DVI]端子の共通の[音声入力]端子を使用する映像端子を固定する場合に選択します。 •コンピュータ/DVI：映像ソースの選択に関わらず、入力している音声を出力します。 •コンピュータ：[コンピュータ]端子からの映像投写時だけ[音声入力]端子が有効になります。 •DVI：[DVI]端子からの映像投写時だけ[音声入力]端子が有効になります。	コンピュータ/DVI
音量	音量を調節します。	15
高音	高音の強弱を調整します。	中心値(0)
低音	低音の強弱を調整します。	中心値(0)
初期化	「音声」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 •リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 •「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.86	ー


ポイント

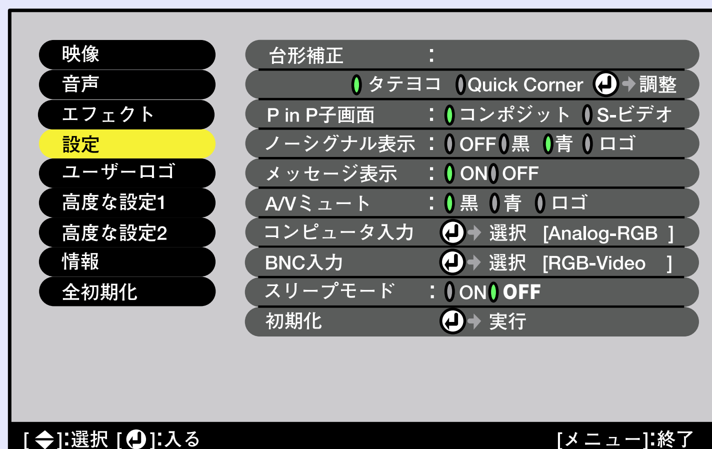
「音声」メニューの調整値は各映像ソースごとに保存されます。

エフェクトメニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
ポインタ/ライン1	リモコンの[Effect]ボタンを1回押したときに表示される内容を設定します。 •形状: ポインタアイコンの形状を以下の8種類から選択します。 •倍率: ポインタアイコンの表示倍率を「100%」、「200%」の中から選択します。 •ラインカラー:直線や曲線の色を8種類の中から選択します。 •ライン幅: 直線や曲線の線幅を「太」、「中」、「細」の中から選択します。	形状: 倍率:100% ラインカラー:水色 ライン幅:太
ポインタ/ライン2	リモコンの[Effect]ボタンを2回押したときに表示される内容を設定します。 設定できる項目、内容は「ポインタ/ライン1」と同じです。	形状: 倍率:100% ラインカラー:青色 ライン幅:中
ポインタ/ライン3	リモコンの[Effect]ボタンを3回押したときに表示される内容を設定します。 設定できる項目、内容は「ポインタ/ライン1」と同じです。	形状: 倍率:100% ラインカラー:赤色 ライン幅:細
ポインタ移動速度	リモコンの[ ]ボタンを押したときのポインタアイコンの移動速度を選択します。 L:遅い　M:中間　H:速い	M
初期化	「エフェクト」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 •リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 •「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.86	ー

設定メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
台形補正	投写画面のゆがみを補正します。 リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して補正します。 タテヨコ ☛ p.46 • 自動台形補正:本機を上下に傾けたとき、傾きを検知して自動的にタテ補正する機能のON/OFFを設定します。 「高度な設定1」の「リア」、「天吊り」がともに「OFF」のときに限り機能が働きます。 「リア」、「天吊り」のどちらかが「ON」になっていると、このメニューは選択できません。 • タテ補正: 本体の[⏶][⏷]ボタンによる補正と同等の機能です。 縦方向の台形にゆがんだ画面を補正します。 • ヨコ補正: 本体の[⏴][⏵]ボタンによる補正と同等の機能です。 横方向の台形にゆがんだ画面を補正します。 • 高さ補正: 自動台形補正やタテ補正の結果、画面の高さが小さくなった場合の補正です。 Quick Corner ☛ p.48 • 画面の4つの角を補正してスクリーンピッタリに合わせます。 補正後、ムラが目立つ場合は、「映像」→「シャープネス」で調整してください。	自動台形補正: ON タテ補正: 中心値(0) ヨコ補正: 中心値(0) 高さ補正: 中心値(0) Quick Corner: 無補正
P in P子画面	PinP機能時に子画面として投写する映像信号を、コンポジットビデオ▶▶、S-ビデオ▶▶から選択します。	コンポジット
ノーシグナル表示	映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態、背景の画面の設定を行います。 「OFF」に設定すると、メッセージは表示されず背景は黒色になります。 • ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。☛ p.116	青

サブメニュー	機能	初期設定値
メッセージ表示	映像信号やカラーモードを切り替えたときに、映像信号名またはカラーモード名を画面に表示する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。	ON
A/Vミュート	[A/Vミュート]ボタンを押したときの画面の状態を設定します。☛ p.60 •ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。☛ p.116	黒
コンピュータ入力	[コンピュータ]端子に接続している機器に応じて映像信号を選択します。	Analog-RGB
BNC入力	[BNC]端子に接続している機器に応じて映像信号を選択します。	Analog-RGB
スリープモード	映像信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 •「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で約30分間操作しないと自動的に投写を終了し、クールダウン後、スリープモード(スタンバイ状態)になります。(⏻インジケータはオレンジ色に点灯しています。) •リモコン、または本体の[電源]ボタンを押すと投写を再開します。	OFF
初期化	「設定」メニューのうち、「コンピュータ入力」、「BNC入力」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 •リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 •「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。☛ p.86	ー

ユーザーロゴメニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
実行	ユーザーロゴを登録します。☛ p.116 • リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、画面の指示に従って操作します。	EPSONロゴ

高度な設定 1 メニュー



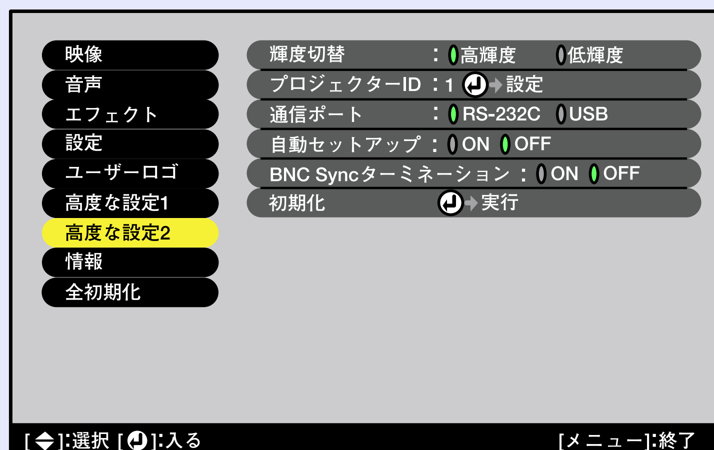
サブメニュー	機能	初期設定値
スタートアップスクリーン	スタートアップスクリーンの表示のON/OFFを設定します。 ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。☛ p.116 設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン終了後に電源を入れ直します。電源を入れ直した以降、設定が有効になります。	ON
プログレッシブ変換	(コンポジットビデオ/S-ビデオ/コンポーネントビデオ(525i,625i)信号入力時のみ設定可能) インタレース(i)信号をプログレッシブ(p)に変換するときに使います。 「OFF」に設定するとインタレース信号のまま投写されます。 •OFF: IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。 •ビデオ: フィルム判定機能をOFFにします。 •フィルム/Auto:通常はこの設定で使用します。自動的に映画ソースかどうかを判断し、映画の場合は3-2プルダウン機能が働き、オリジナルとそん色のないフィルム映像を再現します。	フィルム/Auto
カラー調整	映像ソースごとに、映像の色温度とRGB(赤緑青)の各色の強さを調整します。 •色温度: 白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。 色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。 色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。 リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。 •RGB: リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。 R(赤)、G(緑)、B(青)の項目をそれぞれ調整します。調整は画面の状態を見ながら行ってください。 「映像」→「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません。	色温度: 入力信号により異なる



サブメニュー	機能	初期設定値
リア	リアスクリーンに後方から投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が左右に反転します。 「ON」に設定した場合は、自動台形補正は行われません。	OFF
天吊り	天井に取り付けて投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が180°回転し、逆さまに投写されます。 「ON」に設定した場合は、自動台形補正は行われません。	OFF
待機モード	本機がスタンバイ状態のときも、ネットワーク監視・制御機能を働かせる場合は、「ネットワーク有効」に設定します。 設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン▸▸終了後以降、設定が有効になります。	ネットワーク無効
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。 • リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して選択します。	日本語
初期化	「高度な設定1」メニューのうち、「リア」、「天吊り」、「言語」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 • リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 •「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。☛ p.86	ー



■ 高度な設定 2 メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
輝度切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。 「低輝度」で使用すると、投写中の消費電力や騒音が減り、ランプ寿命が延びます。	高輝度
プロジェクターID	本体のID番号を設定します。☛ p.70	1
通信ポート	コンピュータと通信を行う場合のポートをRS-232CとUSBのどちらを使用するかを設定します。 設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン ▸▸終了後に電源を入れ直します。電源を入れ直した以降、設定が有効になります。	RS-232C
自動セットアップ	入力信号がコンピュータのアナログRGB映像に切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整機能のON/OFFを設定します。	ON
BNC Sync ターミネーション	[BNC]端子のターミネーションモードを設定します。映像の端末処理を行えます。 •ON :アナログ(75Ω)で終端します。 •OFF:TTL(通常のPCから出力される信号レベル)入力します。 通常は「OFF」で使用します。スイッチャなど、アナログ(75Ω)終端が必要な場合は「ON」に設定します。	OFF
初期化	「高度な設定2」メニューのうち、「プロジェクターID」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 •リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 •「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。☛ p.86	ー

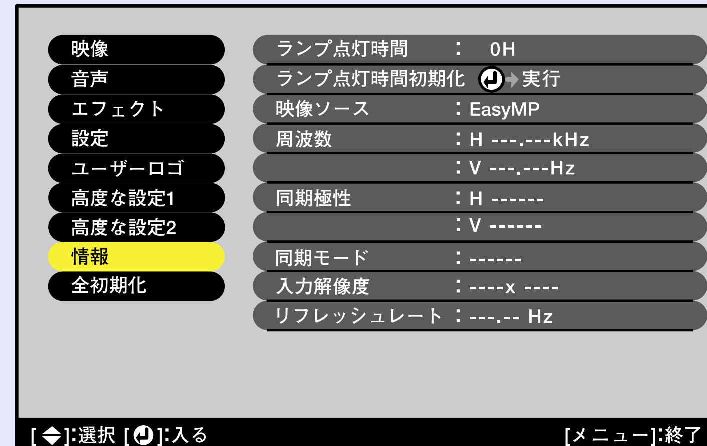
■ 情報メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力信号の設定状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0〜10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。

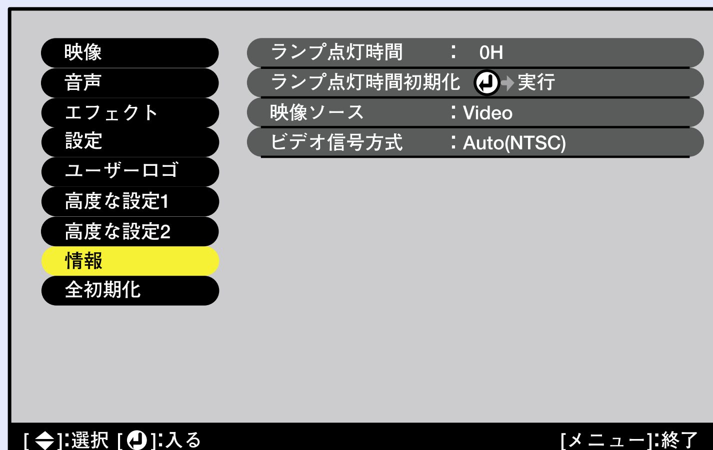
コンピュータ(Analog-RGB、Digital-RGB)/ コンポーネントビデオ(YCbCr、YPbPr)/RGBビデオ



EasyMP



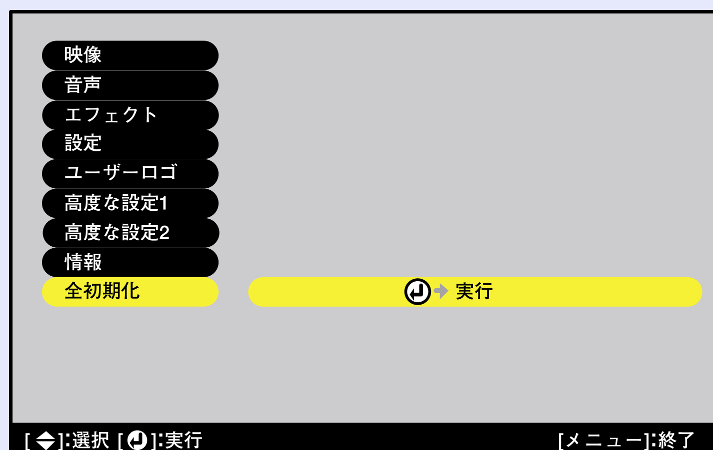
ビデオ(コンポジットビデオ、S-ビデオ)



サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 • ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色(赤)で表示されます。	0H
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	ー
映像ソース	現在投写中の映像ソースを表示します。	
入力信号	入力信号の設定を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオ、EasyMPの場合は表示されません。)	
ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。 (映像ソースがコンピュータ、コンポーネントビデオ、RGBビデオ、EasyMPの場合は表示されません。)	ー
周波数	水平・垂直走査周波数を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	ー

サブメニュー	機能	初期設定値
同期 ▶極性	同期の極性を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	―
同期モード	同期の属性を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	―
入力解像度	入力解像度を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	―
リフレッシュレート ▶	リフレッシュレートを表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	―

■ 全初期化メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
実行	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 • リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 •「映像」や「音声」など各メニューごとに設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 •「コンピュータ入力」、「BNC入力」、「ユーザーロゴ」、「言語」、「プロジェクターID」、「ランプ点灯時間」は初期値に戻りません。	―



環境設定メニューの操作

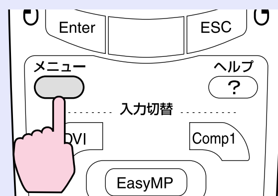
環境設定メニューはリモコンと本体のどちらからでも操作できます。

操作

1 リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

リモコン



2 メインメニューで項目を選択します。

リモコンの場合は、[○]ボタンを上下に傾けて項目を選択します。
本体の場合は、[△][▽]ボタンを押して項目を選択します。
サブメニューがメインメニューで選択した項目に合わせて変わります。

映像
音声
エフェクト
設定
ユーザーロゴ
高度な設定1
高度な設定2
情報
全初期化

3 項目を決定します。

リモコンの場合は[Enter]ボタンを押して項目を決定します。
本体の場合は[自動調整/決定]ボタンを押して項目を決定します。
サブメニューにカーソルが表示され設定できる状態になります。

スタートアップスクリーン ：ON OFF
プログレッシブ変換 ：
OFF ビデオ フィルム/Auto
カラー調整 ：色温度 RGB→調整
リア ：ON OFF
天吊り ：ON OFF
待機モード ：
ネットワーク有効 ネットワーク無効
言語 →選択[日本語]
初期化 →実行

4 設定を行う項目を選択します。

リモコンの場合は、[○]ボタンを上下に傾けて選択します。
本体の場合は、[△][▽]ボタンを押して選択します。

スタートアップスクリーン ：ON OFF
プログレッシブ変換 ：
OFF ビデオ フィルム/Auto
カラー調整 ：色温度 RGB→調整
リア ：ON OFF
天吊り ：ON OFF
待機モード ：
ネットワーク有効 ネットワーク無効
言語 →選択[日本語]
初期化 →実行



ポイント

「映像」メニューや「情報」メニューは、投写している映像ソースによって表示される項目が異なります。

5 調整値を選択します。

リモコンの[◌]ボタンを傾ける、または本体の[◁][▷]ボタンを押して、調整値を変更します。
現在設定されている項目は（緑色）になっています。リモコンの[◌]ボタンを傾ける、または本体の[◁][▷]ボタンを押して設定値を選択すると、選択した設定値の（オレンジ色）で表示されます。リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して確定すると、（緑色）に変わります。

スタートアップスクリーン ：ON OFF
プログレッシブ変換 ：
OFF ビデオ フィルム/Auto
カラー調整 ：色温度 RGB→調整
リア ：ON OFF
天吊り ：ON OFF
待機モード ：
ネットワーク有効 ネットワーク無効
言語 →選択[日本語]
初期化 →実行



ポイント

- 設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろにマークが表示されています。この項目の場合はリモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押した後、調整値を選択します。
- 各設定項目の機能については「機能一覧」をご覧ください。☛ p.73

6 続いて他の項目も同様に設定します。

手順 2 ～ 5 と同様です。1 つ前の階層に戻るには、リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを押します。

7 環境設定メニューを終了します。

リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押します。



ポイント

環境設定メニューは、映像の左上と右下の２箇所のうちどちらかに表示できます。環境設定メニューを起動するときに、リモコンまたは本体の
[メニュー]ボタンを２秒間押し続けると、前回と異なる位置に表示されます。映像を確認しながら環境設定メニューの設定をしたいときは、都合のよい方を選んで環境設定メニューを表示させてください。



TOP

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

ヘルプの見方

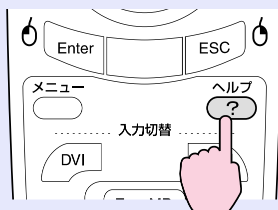
トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。

操作

1 リモコン、または本体の[ヘルプ]ボタンを押します。

ヘルプメニューが表示されます。

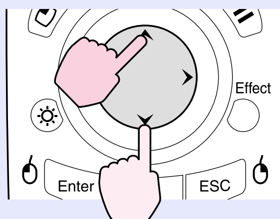
リモコン

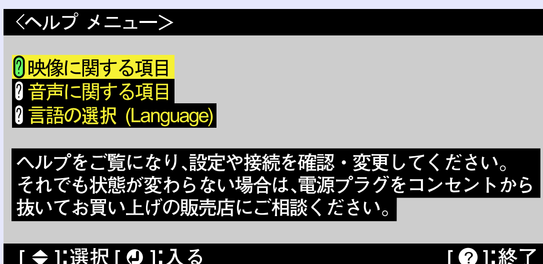


2 項目を選択します。

リモコンの場合は、[ ]ボタンを上下に傾けて項目を選択します。
本体の場合は、[ ][ ]ボタンで項目を選択します。

リモコン

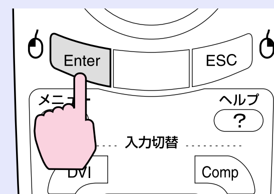




3 項目を決定します。

リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整 / 決定]ボタンを押して項目を決定します。

リモコン



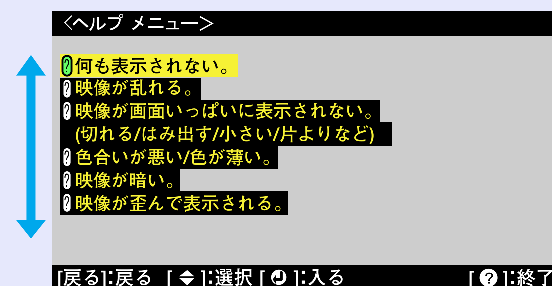


ポイント

リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを押すと 1 つ前の選択画面に戻ります。

4 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。

[ヘルプ]ボタンを押すと、ヘルプメニューは解除されます。





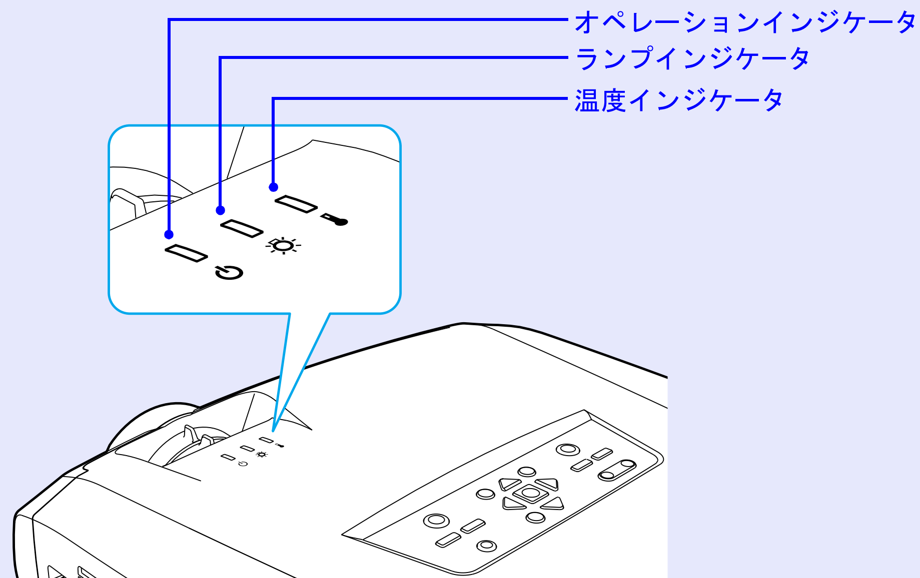
ポイント

ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」(☛ p.91)をご覧ください。

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわからないとき」を参照してください。☛ p.94

インジケータの見方

本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、以下の表を参照してください。

■：点灯　点滅　□：消灯

状態	原　因	処置または状態
赤（点灯）赤（点滅）赤（点滅）	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.132
赤（点灯）（消灯）赤（点滅）	ファン異常 センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.132



：点灯　：点滅　：消灯

状態	原　因	処置または状態
赤 赤 赤（点灯・点滅・消灯）	ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプ切れ	ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認します。☛「ランプの交換方法」p.112 割れていなければ再セットし、電源を入れます。それでも直らないときは、新しいランプと交換してください。 以上の処置を行っても直らないときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.132
		ランプが割れている場合 お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにランプ交換を依頼してください。 （交換しないと映像を投写することはできません。）☛「お問い合わせ先」p.132
		ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、ランプが点灯しません。
赤 赤（点灯・消灯・点灯）	内部高温異常 （オーバーヒート）	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、電源プラグを抜いて、次の2点を確認して改善します。 ●エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。☛ p.15 ●エアーフィルタが目詰りしている場合は、掃除または交換してください。☛ p.110 電源プラグを差し直すと、状態が復帰します。リモコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れ直します。 上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.132
赤 オレンジ（点滅・消灯・点滅）	高速冷却中	（異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止します。） ●エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。☛ p.15 ●エアーフィルタが目詰りしている場合は、掃除をしてください。☛ p.110
オレンジ（※・点滅・消灯）	ランプ交換勧告	新しいランプに交換してください。☛ p.112 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。 ※⏻インジケータは、そのときのプロジェクターの状態により異なります。

：点灯　：点滅　：消灯

状態	原　因	処置または状態
オレンジ	スタンバイ状態	(異常ではありません。) リモコン、または本体の[電源]ボタンを押すと投写を開始します。 電源を切って終了する場合は、この状態でコンセントから電源プラグを抜いてください。
緑	ウォームアップ中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。ウォームアップの時間は40秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。
緑	投写中	(異常ではありません。)
オレンジ	クールダウン中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。 ●クールダウンの時間は約30秒です。 ●クールダウン中はリモコン、または本体の[電源]ボタンは操作できません。クールダウンが終了し、オレンジ色の点灯に変わってから、もう一度操作してください。

インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。



ポイント

- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、「インジケータを見てもわからないとき」(☛ p.94)をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンター(☛ p.132)にお問い合わせください。



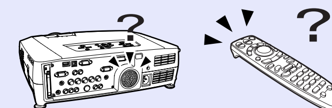
インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

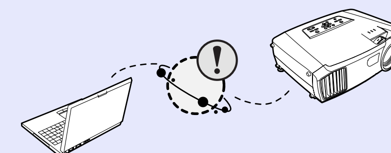
- 映像が表示されない ☛ p.95
  投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- 自動的に投写が消える ☛ p.95
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される
  ☛ p.95
- 「映像信号が入力されていません。」と表示される ☛ p.96
- ぼやける、ピントが合わない ☛ p.96
- ノイズが入る、乱れる ☛ p.97
  ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- 切れる(大きい)、小さい ☛ p.97
  映像の一部分しか投写されないなど...
- 色合いが違う ☛ p.98
  全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
  (コンピュータのモニタや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニタでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 暗い ☛ p.98

その他のトラブル



- 音が出ない・小さすぎる ☛ p.99
- リモコンで操作できない ☛ p.99
- 電源を切っても、排気ファンが止まらない ☛p.100

ネットワークとEasyMPに関するトラブル



- プロジェクターに異常が起きても
  メールが送られてこない ☛ p.100
- EMP Monitorでプロジェクターを制御・監視できない ☛ p.101
- ネットワーク接続時、映像が投写されたままになって他のコンピュータから接続できない ☛ p.101
- EMP NS Connectionを起動してもプロジェクターが見つからない
  ☛ p.102
- アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続できない
  ☛ p.103
- アドホックモードで接続できない ☛ p.103
- Network Screenで映像が表示されない、表示が遅い ☛ p.104
- Network ScreenでPowerPointのスライドショーが動作しない
  ☛ p.104
- Network Screenを使用できない ☛ p.104
- EMP SlideMaker2でファイル指定ができない ☛ p.104
- エラーメッセージが表示される ☛ p.105

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか?	リモコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れます。 リモコンは[リモコン]スイッチをONにしないと操作できません。☛ p.36
A/Vミュートの状態になっていませんか?	リモコン、または本体の[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p.60
「ノーシグナル表示」を「OFF」にしていませんか?	環境設定メニューの「ノーシグナル表示」を「OFF」に設定しているときは、「黒」または「青」に設定して、メッセージを表示させてください。メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。☛「設定」→「ノーシグナル表示」p.79
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか?	全初期化してみてください。☛ p.86
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか? コンピュータ投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか? ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。☛「映像」→「ビデオ信号方式」p.76

自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」を「ON」にしていませんか?	環境設定メニューの「スリープモード」を「ON」に設定した場合、映像信号が入らない状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき⏻インジケータはオレンジ色に点灯しています。リモコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れます。「スリープモード」を働かせないときは設定を「OFF」にしてください。☛「設定」→「スリープモード」p.80

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか?	[BNC]端子からの信号を投写している場合は、環境設定メニューの「BNC入力」で接続している機器の信号に合った信号方式に設定してください。☛「設定」→「BNC入力」p.80 コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。☛「映像」→「ビデオ信号方式」p.76
映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか? コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「周波数」で入力中の映像信号を確認してください。☛「情報」→「周波数」p.85 コンピュータの解像度・周波数を確認してください。☛コンピュータの『取扱説明書』など

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.18～p.30
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコン、または本体の[入力切替]ボタンを押して映像を切り替えます。☛ p.37
接続されたコンピュータやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。☛ p.35
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニタや付属モニタにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニタや付属モニタに映像が出せないモデルもあります。☛コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへ出力のしかた」など 本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn]（ファンクションキー）が使えないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。☛ p.36, 40

■ ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	本体のフォーカスリングを回してピントを合わせます。☛ p.42
レンズカバーが付いたままではありませんか？	レンズカバーを外します。☛ p.35
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は77cm～1113cmです。この範囲で設置してください。☛ p.15
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☛ p.46, 48
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？	[BNC]端子に接続している場合は、環境設定メニューの「BNC入力」で機器の信号に合った信号方式に設定してください。☛「設定」→「BNC入力」 p.80 コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p.76
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.19〜p.30
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☛「対応解像度一覧」p.126 ☛コンピュータの『取扱説明書』など
「同期・トラッキング」は正しく調整されていますか？ コンピュータ投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「同期」、「トラッキング」で調整することもできます。☛ p.52, 53

■ 切れる（大きい）、小さい

確認	対処法
リアル表示になっていませんか？ アスペクト比の設定は正しいですか？	リモコン、または本体の[リサイズ]ボタンを押してください。☛ p.68
Eズーム機能で拡大されたままになっていませんか？	リモコンの[ESC]ボタンを押してEズーム機能を解除します。☛ p.61
「表示位置」は正しく調整されていますか？	コンピュータのアナログRGB映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタンまたは本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、自動調整を行います。 自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「表示位置」で調整することもできます。コンピュータのアナログRGB映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの「表示位置」で調整します。☛「映像」→「表示位置」 p.73, 75
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ☛コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
「入力解像度」は正しく設定されていますか？ コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「入力解像度」の設定をコンピュータと合わせてください。 ☛「映像」→「入力解像度」 p.74 ☛コンピュータの『取扱説明書』など

■ 色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	コンピュータやRGBビデオを[BNC]端子に接続しているのに、環境設定メニューの「BNC入力」で「YCbCr」や「YPbPr」に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。 コンポーネントビデオ機器を[BNC]端子に接続しているのに、環境設定メニューの「BNC入力」で「Analog-RGB」に設定していると映像が緑色がかって表示されます。 接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。☛「設定」→「BNC入力」p.80 コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。☛「映像」→「ビデオ信号方式」p.76
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」を調整してください。☛「映像」→「明るさ」p.73, 75
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.19〜30
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。☛「映像」→「コントラスト」p.73, 75
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの「カラー調整」を調整してください。☛「高度な設定1」→「カラー調整」p.82
「Wall Shot ON」になっていませんか？	スクリーンに投写する場合は、リモコン、または本体の[Wall Shot]ボタンを押して「Wall Shot OFF」に切り替えます。Wall Shotの再調整をする場合は、「Wall Shot再調整」を行います。☛ p.50
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。 ☛「映像」→「色の濃さ」、「色合い」p.75

■ 暗い

確認	対処法
映像の明るさや輝度は正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」や「輝度切替」を設定してください。 ☛「映像」→「明るさ」p.73, 75 ☛「高度な設定2」→「輝度切替」p.84
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。☛「映像」→「コントラスト」p.73, 75
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p.112

その他のトラブル

音が出ない・小さすぎる

確認	対処法
音声入力は正しく接続されていますか？	正しい[音声入力]端子にケーブルを接続しているか確認してください。 ☛ p.31
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。☛「音声」→「音量」 p.55
[音声出力]端子にオーディオケーブルが接続されたままではありませんか？	[音声出力]端子にケーブルのコネクタを差し込むと、内蔵スピーカから音声が出力されなくなります。外部スピーカを使わないときは、オーディオケーブルを[音声出力]端子から取り外してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコン、または本体の[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。 ☛ p.60
「コンピュータ/DVI音声入力」は正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「音声」→「コンピュータ/DVI音声入力」を投写する映像に合わせて設定する、または「コンピュータ/DVI」に設定してください。 ☛ p.77

リモコンで操作できない

確認	対処法
[リモコン]スイッチが「ON」になっていますか？	「ON」に切り替えてください ☛ p.36
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲は、左右約30°、上下約15°です。 ☛ p.13
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約10 mです。 ☛ p.13 操作可能距離より離れて操作する場合や確実にリモコンで操作したい場合は、オプションのリモコンケーブルセットをお使いください。 ☛ p.119
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。 ☛ p.11
リモコンのID番号とプロジェクターのID番号が一致していますか？	リモコンIDを「0」以外に設定しているときは、プロジェクターのID番号と一致していないとリモコンで操作できません。 ☛ p.70
リモコン、または本機の[リモート]端子にリモコンケーブルが接続されたままになっていませんか？	[リモート]端子にケーブルのコネクタを差し込むと本体のリモコン受光部、またはリモコン発光部が働かなくなります。リモコンケーブルセットを使用しないときは、リモコンケーブルをリモコン、本機のどちらからも取り外してください。

■ 電源を切っても排気ファンが止まらない

確認	対処法
環境設定メニューの「待機モード」で「ネットワーク有効」に設定していませんか？	「ネットワーク有効」になっている場合はクールダウンが終了しても排気ファンは回り続けます。 ☛「高度な設定1」→「待機モード」p.83

■ ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御に関するトラブル

■ プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認し、接続されていなかったり間違って接続されている場合は、正しく接続してください。
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	「ネットワーク詳細設定」の設定を確認してください。 ☛『EasyMPセットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定してください。 ☛「高度な設定1」→「待機モード」p.83
致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止状態になっていませんか。	瞬時に起動停止するとメール送信できません。 本機を確認しても復帰しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.132
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

■ EMP Monitorでプロジェクターを制御・監視できない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認し、接続されていなかったり間違って接続されている場合は、正しく接続してください。
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	「ネットワーク詳細設定」の設定を確認してください。 ☛『EasyMPセットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
コンピュータにEMP Monitorが正しくインストールされていますか？	アンインストールしてから、再度インストールしてください。 ☛『EasyMPセットアップガイド』「EasyMP Softwareのアンインストール」「EasyMP Softwareのインストール」
制御・監視したいすべてのプロジェクターがプロジェクターリストに登録されていますか？	プロジェクターリストに登録してください。 ☛『EasyMP 活用ガイド』「EMP Monitorを使って監視や制御をする」
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもEMP Monitorを使うためには、環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定してください。 ☛「高度な設定1」→「待機モード」 p.83
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

■ ネットワーク接続時、映像が投写されたままになって他のコンピュータから接続できない

確認	対処法
プレゼンテーションした人がネットワーク接続を切断せずに会議室から出てしまっていませんか？	ネットワーク接続では、コンピュータとプロジェクターが接続中に別のコンピュータから接続しようとすると、先に接続していたコンピュータとの接続を切断し、後から接続の操作をしたコンピュータと接続できます。 したがって、プロジェクターキーワードがプロジェクターに設定されていない場合や、プロジェクターキーワードを知っている場合は、接続操作をすれば現在の接続を切断し、プロジェクターと接続できます。 プロジェクターキーワードがプロジェクターに設定されていて、プロジェクターキーワードを知らない場合は、プロジェクター側から接続を切断して再接続します。プロジェクター側から接続を切断するには、リモコンの[ESC] ボタンを押し、表示された終了メニューで「終了する」を選択してリモコンの[Enter] ボタンを押します。切断されたら、目的のコンピュータから接続します。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「ネットワーク接続を切断する」

■ EMP NS Connectionを起動してもプロジェクターが見つからない

確認	対処法
プロジェクターのカードスロットにLANカードがセットされていますか？	プロジェクターのカードスロットにLANカードをセットし、Network Screenの接続待機画面が表示されることを確認してください。 LANカードをセットしてもNetwork Screenの接続待機画面が表示されない場合は、LANカードをいったんカードスロットから抜いて、セットし直します。 ☛「カードのセットと取り出し」p.16
プロジェクターにセットした無線LANカードのアクセスランプが黄色で点灯していますか？	アクセスランプが消えている場合は、無線LANカードをいったんカードスロットから抜いて、セットし直します。 ☛「カードのセットと取り出し」p.16
無線LAN接続の場合、「アドホックモード」で接続待機中になっていますか？	Network Screenの接続待機画面に「ESSID（ネットワーク名）: xxx」と表示されていますか？ 表示されていない場合は、プロジェクター側の簡単接続モード詳細設定画面で、「アドホックモード設定」を「ESSID指定アドホック」に設定してください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」
無線LAN接続の場合、コンピュータとプロジェクターで同一のESSIDを設定していますか？	コンピュータ側とプロジェクター側で同じESSIDを設定してください。 コンピュータ側で、無線LANの通信設定ユーティリティにESSIDの設定がない場合は、「ESSID指定アドホック」は使用できません。この場合は、「チャンネル指定アドホック」を利用してください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」
プロジェクター側がネットワーク詳細設定画面になっていませんか？	ネットワーク詳細設定画面表示中はネットワーク接続が無効になります。Network Screen接続待機画面に戻してください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
コンピュータ側のLANカードや内蔵のLAN機能が使用できる状態になっていますか？	「コントロールパネル」－「システム」のデバイスマネージャなどでLANが有効になっているか確認してください。
無線LAN接続の場合、コンピュータ側の無線LAN設定がアドホックモードになっていますか？	コンピュータ側で無線LANの通信設定ユーティリティ（クライアントマネージャ等）を使ってアドホックモードに設定します。無線LANカードメーカによっては、「無線LANパソコン間通信（WiFi）」「WiFiアドホック」「802.11アドホック」「802.11モード接続」「Peer to Peer」と表現されることがあります。
EMP NS ConnectionのLAN選択画面で、使用するLANカードを選択しましたか？	お使いのコンピュータが複数のLAN環境を持っている場合、EMP NS Connectionで使用するLANカードを選択していないと接続できません。EMP NS Connectionの「拡張機能」－「LAN切替」で使用するLANカードを選択してください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
無線LAN接続の場合、コンピュータの省電力設定で無線LANが使用不可の設定になっていませんか？	無線LANを使用可能にしてください。
お使いの無線LANはWi-Fiに準拠していますか？	Wi-Fi準拠（802.11b）以外の規格（802.11、802.11a、802.11gなど）には対応していません。 ☛エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」（http://www.i-love-epson.co.jp）
WEP暗号化設定はONになっていませんか？	アドホックモードのとき、WEPはOFFでなければ接続できません。WEP暗号化設定をOFFにしてください。 ☛『EasyMPセットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」

■ アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続できない

確認	対処法
アクセスポイントモードの場合、コンピュータとプロジェクターで同一のESSIDを設定していますか？	同じESSIDに設定しないと接続できません。プロジェクター側とコンピュータ側で同じESSIDを設定してください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
コンピュータとプロジェクターで同一のWEPキーを設定していますか？	同じWEPキーに設定しないと接続できません。プロジェクター側とコンピュータ側で同じWEPキーを設定してください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
アクセスポイント側でMACアドレス制限、ポート制限などの接続拒否機能を正しく設定していますか？	アクセスポイント側でプロジェクターを接続許可に設定してください。
コンピュータとプロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されていますか？	DHCP使用しない場合は各設定を合わせてください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
コンピュータとプロジェクターのサブネットが異なっていませんか？	EMP NS Connectionの「IP指定接続を使用する」を選択し、IP指定接続モードで接続してください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」

■ アドホックモードで接続できない

確認	対処法
アドホックモードの種類（チャンネル指定アドホックまたはESSID指定アドホック）は正しいですか？	古いタイプのコンピュータでアドホックモードによる接続をしようとすると、「チャンネル指定アドホック」しか使えないものがあります。逆に最近のものは「ESSID指定アドホック」だけのものが増えています。無線LANの通信設定ユーティリティに両方の設定がある場合は、通常はESSID指定アドホックをお使いください。
ESSID指定アドホック設定の場合、メルコ社製アクセスポイントが近くで動作していませんか？	同じESSIDに設定されているメルコ社製アクセスポイントが近くで動作しているとアドホック接続ができなくなります。アクセスポイントの電源を切るか、アクセスポイントとは異なるESSIDを設定してください。

■ Network Screenで映像が表示されない、表示が遅い

確認	対処法
Media Playerで動画を再生したり、スクリーンセーバのプレビューを実行しようとしませんでしたか？	コンピュータによっては、Media Playerによる動画再生画面が表示されなかったり、スクリーンセーバのプレビューが正常に表示されないことがあります。
アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続していませんか？	アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードでNetwork Screenを使用する場合は、簡単接続モードに比べて表示速度が低下します。
WEP暗号化を有効にしたり、複数台のプロジェクターに接続していませんか？	WEP暗号化有効の場合や、複数台接続を行ったときは、表示速度が低下します。
アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで、DHCPを有効にしていませんか？	アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードでDHCP有効に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバが見つからないと、Network Screen接続待機画面に切り替わるのに時間がかかります。

■ Network Screen使用時にPowerPointのスライドショーが動作しない

確認	対処法
PowerPointを起動中に、EMP NS Connectionを起動しませんでしたか？	Network Screenで接続する際は、事前にPowerPointを終了してください。起動したまま接続するとスライドショーが動作しなくなることがあります。

■ Network Screenを使用できない

確認	対処法
パーソナルファイヤーウォールを設定していませんか？	パーソナルファイヤーウォールが設定されている場合は、Network Screenを使用できないことがあります。

■ EMP SlideMaker2でファイル指定ができない

確認	対処法
使おうとしているPowerPointファイル(.ppt)は、PowerPoint 95/98の形式ではありませんか？	PowerPoint 95/98で作成したファイルやPowerPoint 95/98形式で保存してあるファイルはEMP SlideMaker2で編集できません。一度、PowerPoint 2000/2002で保存し直してから利用してください。 ☛『EasyMP 活用ガイド』「シナリオに組み込めるファイル」
PowerPointファイル(.ppt)をシナリオに貼り付けることができなかったりサムネイルに表示できない場合、Microsoft OfficeのJPEGコンバータがインストールされていますか？	JPEGコンバータをインストールしてください。JPEGコンバータのインストールについては、Microsoft Officeの取扱説明書をご覧ください。

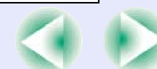
■ エラーメッセージが表示される

EMP NS Connection実行時のエラーメッセージ

確認	対処法
プロジェクターとの接続に失敗しました。	再度、接続の操作をします。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。 ネットワーク詳細設定について　☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
キーワードが一致しません。プロジェクターに表示された、正しいキーワードを入力してください。	プロジェクターの接続待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。
接続したいプロジェクターをリストから選択して下さい。	接続したいプロジェクター名にチェックマークを付けてから、「接続」ボタンをクリックしてください。 接続方法について　☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
選択されたプロジェクターは使用中です。接続処理を続行しますか？	別のコンピュータが接続しているプロジェクターに接続しようとしました。 「はい」ボタンをクリックすると、プロジェクターと接続します。このとき、接続していた別のコンピュータとプロジェクターの接続は切断されます。 「いいえ」ボタンをクリックすると、プロジェクターと接続しません。 別のコンピュータとプロジェクターの接続は保持されます。
EMP NS Connection の初期化に失敗しました。	EMP NS Connection をいったんアンインストールして、その後もう一度EMP NS Connection をインストールしてください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「EasyMP Software のアンインストール」、「EasyMP Software のインストール」
プロジェクターとの通信エラーが発生しました。プロジェクターへの再接続を実施します。よろしいですか？	コンピュータとプロジェクターの間で通信エラーが発生し、接続が切断されました。 「はい」ボタンをクリックすると、再接続を行います。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。 ネットワーク詳細設定について　☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」 「いいえ」ボタンをクリックすると、切断された状態のままメッセージ画面を閉じます。
キーワードが間違っていたため接続できないプロジェクターがあります。	プロジェクターキーワードが設定されているプロジェクターへの接続時に、間違ったプロジェクターキーワードを入力しました。 プロジェクターキーワードは、プロジェクターの接続待機画面に表示されていますので確認してください。いったん接続を切断してから、再接続して接続時に表示されるキーワード入力画面で、そのプロジェクターキーワードを入力します。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」



確認	対処法
ネットワークアダプタの情報取得に失敗しました。ネットワークの設定を確認し再度起動してください。	次の点を確認します。 ・コンピュータにネットワークアダプタが装着されていますか。 ・コンピュータに、使用するネットワークアダプタのドライバがインストールされていますか。 確認後、コンピュータを再起動して、もう一度接続の操作を行います。 それでも接続できない場合は、次を確認してください。 コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。 ネットワーク詳細設定について ☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
SXGAを超える解像度をサポートしていないプロジェクターがあります。パソコンの解像度を下げて再接続してください。	接続先のプロジェクターの中にELP-735があります。コンピュータの画面の解像度を、SXGA（1280×1024）以下に変更してください。
応答しないプロジェクターが存在します。	複数のプロジェクターに同時に接続しようとしましたが、そのうち1台または複数台のプロジェクターに接続できませんでした。接続できたプロジェクターはそのまま使用できます。 接続できなかったプロジェクターに接続したい場合は、いったん接続を切断してからもう一度接続してください。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。 ネットワーク詳細設定について ☛『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
プロジェクターに表示されたキーワードを入力してください。	プロジェクターの接続待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。
指定したIP アドレスのプロジェクターは見つかりませんでした。	接続したいプロジェクターでNetwork Screen のネットワーク詳細設定がアクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードに設定されているか確認します。簡単接続モードに設定されている場合はアクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードに設定を変更します。 次に、アクセスポイントモード詳細設定画面または有線LAN詳細設定画面で、「IP アドレス」を確認し、その「IP アドレス」をIP 指定接続モード接続時に指定してください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」 それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。 ネットワーク詳細設定について ☛『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
パソコンの画面の領域が、XGA(1024x768pixel) より大きい場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか？	プロジェクターに接続するコンピュータの画面の 解像度がXGA（1024×768）を超えています。 「はい」をクリックすると、プロジェクターと接続します。ただし、投写画面の表示速度が遅くなります。投写画面の表示速度が遅くなることを避けたい場合は、「いいえ」をクリックして、コンピュータの画面の解像度をXGA（1024×768）以下に変更してください。



確認	対処法
パソコンの画面の色が24ビット以上の場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。NS Connectionはパフォーマンスの低下を軽減するために16ビットに変換して接続します。接続処理を続行しますか？	プロジェクターに接続するコンピュータの画面の色が、24ビット以上に設定されています。「はい」をクリックすると、プロジェクターと接続します。ただし、投写画面は16ビットカラーになります。

EMP SlideMaker2実行時のエラーメッセージ

確認	対処法
.SIT は既に登録されています。 (はシナリオファイル名)	すでに「オートランシナリオファイルリスト」に追加されているシナリオファイルを、もう一度追加することはできません。 ☛『EasyMP 活用ガイド』「シナリオの転送」
ディスクの空き容量が不足しています。	シナリオ転送先ドライブの空き容量が不足しており、シナリオを転送できません。不要なファイルを削除するなどして、シナリオファイルを転送できるように転送先ドライブの空き容量を確保してください。
** には無効なパスが含まれています。 (** はシナリオファイル名を含むパス名)	開こうとしたファイルのパスが見つかりませんでした。次の原因が考えられます。 ・最後にEMP SlideMaker2で保存した以降に、シナリオファイルを他のフォルダに移動した。 ・最後にEMP SlideMaker2で保存した以降に、シナリオファイルがあるフォルダ名を変更した。 ・開こうとしたシナリオファイルが削除されている。 「ファイル」ー「開く」を選択して目的のシナリオファイルを開くか、Windows のファイル検索機能などを使って検索してください。
** へのアクセス中にディスクがいっぱいになりました。 (** はシナリオファイル名を含むパス名)	作業用フォルダがあるドライブの空き容量が不足しており、シナリオファイルを保存できませんでした。不要なファイルを削除するなどして、シナリオファイルを保存できるように作業用フォルダがあるドライブの空き容量を確保してください。
指定されたドキュメントはオープンできません。	シナリオに追加しようとしたPowerPoint ファイルが壊れているか、正しくないため使用できません。他のPowerPoint ファイルを使用してください。
違う名前か、違うディレクトリを指定してください	同名のファイルや作業用フォルダがすでに存在しています°シナリオ名または作業用フォルダ名を変更して、保存してください。



EMP Monitor実行時のエラーメッセージ

確認	対処法
パスワードが正しくありません。	まちがったパスワードを入力しました。正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、プロジェクターのNetwork Screen のネットワーク詳細設定で「WEB コントロール用パスワード」を確認してください。
入力されたIP アドレスのプロジェクターに接続できません。	接続したいプロジェクターでNetwork Screen のネットワーク詳細設定がアクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードに設定されているか確認します。簡単接続モードに設定されている場合はアクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードに設定を変更します。 次に、アクセスポイントモード詳細設定画面または有線LAN詳細設定画面で、「IP アドレス」を確認し、その「IP アドレス」をIP 指定接続モード接続時に指定してください。 ☛『EasyMP セットアップガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」 それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。 ネットワーク詳細設定について ☛『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」

TOP

付　録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。



注意

掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。



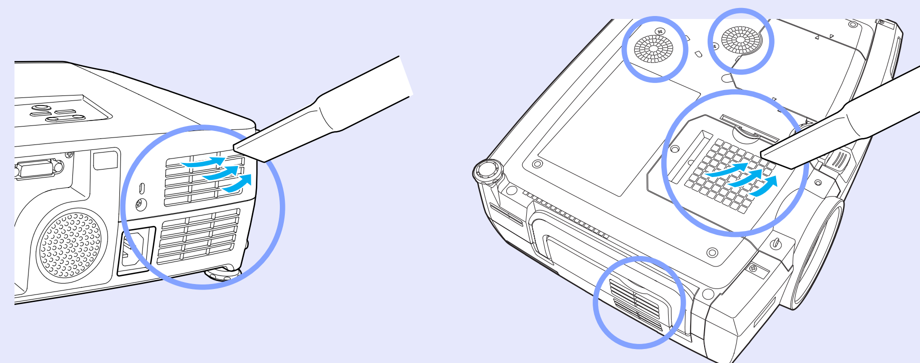
注意

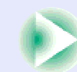
レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアーフィルタ・吸気口の掃除

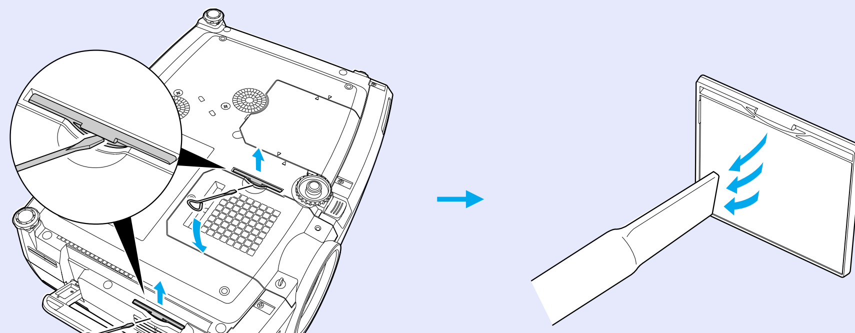
エアーフィルターや吸気口にホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。
約 3ヶ月に一度は掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

- 背面と側面と底面の吸気口
  本機を裏返して掃除機で吸い取ります。





- 側面と底面のエアーフィルタ
  本機からエアーフィルタを引き抜いてから掃除機で吸い取ります。





ポイント

- エアーフィルタが破れたり、掃除を行ってもメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアーフィルタに交換してください。 ☛「付録 オプション品一覧」p.119
- 交換用ランプにも、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に、一緒に交換してください。

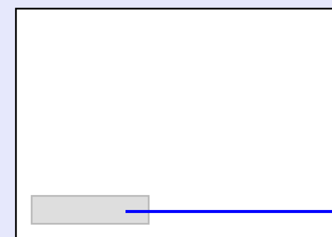
消耗品の交換

ここではランプとエアーフィルタの交換方法について説明します。

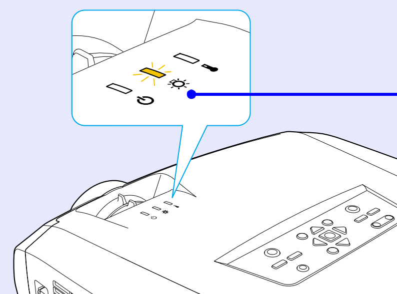
ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき



- ☼インジケータがオレンジ色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



ポイント

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。
  ・高輝度で使い続けた場合：約1900時間
  ・低輝度で使い続けた場合：約2900時間
  ☛「輝度切替」p.84
  交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOAサプライ株式会社フリーダイヤル0120-251-528でお買い求めください。

ランプの交換方法



注意

- ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。
  本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。
- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。ランプが十分冷えるには、クールダウン後、約1時間必要です。

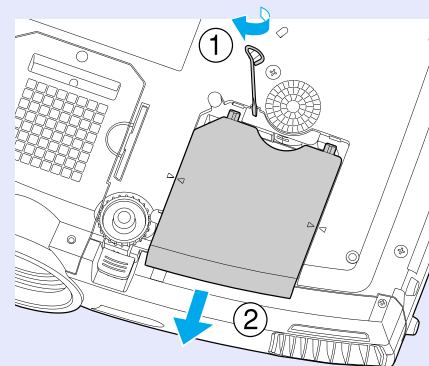
操作

1 本機の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。

クールダウンの時間は、約30秒です。

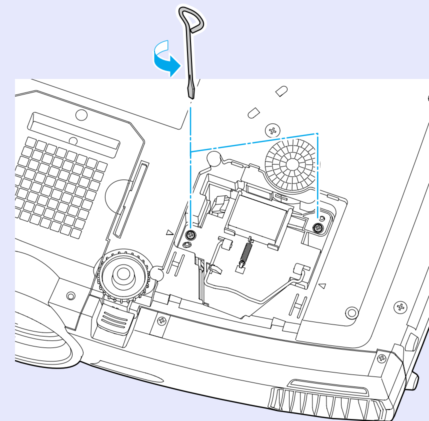
2 ランプが十分冷えてから、本体底面のランプカバーを外します。

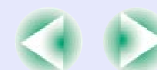
ランプが十分冷えるには、クールダウン後約1時間必要です。
本体とランプカバーの間のくぼみに、交換用ランプに同梱のドライバ、または一のドライバを差し込んで回転させるとロックが外れます。ランプカバーの ▷ 印と本体の ◁ 印が合う位置までまっすぐスライドさせて、持ち上げて取り外します。



3 ランプ固定ねじ 2 本をゆるめます。

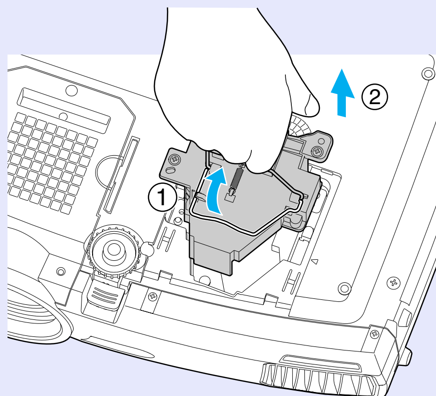
ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ 2 本を、交換用ランプに同梱のドライバ、または一のドライバでゆるめます。





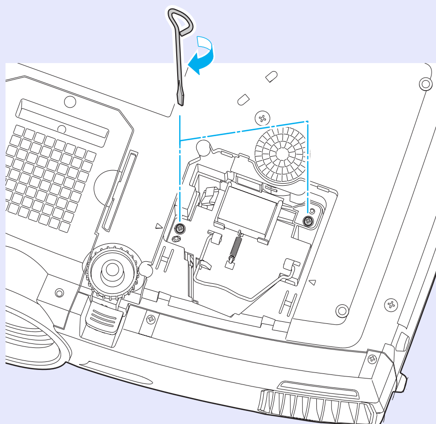
4 古いランプを取り外します。

右図のように、ハンドルを起こして持ち、ランプを引き抜きます。ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにランプ交換を依頼してください。☛「お問い合わせ先」p.132



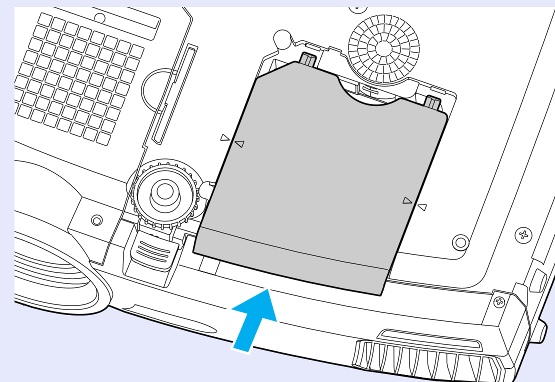
5 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きにして、カチッと音がするまでしっかり押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。

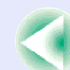
カチッと音がするまでカバーをスライドさせます。





ポイント

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- 交換用ランプに交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。☛ p.115
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。



■ ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。



ポイント

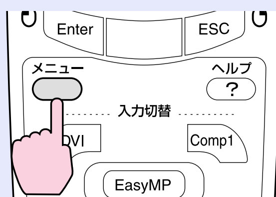
ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

1 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れ、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

リモコン



2 「情報」→「ランプ点灯時間初期化」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。

ランプ点灯時間	： 1900H
ランプ点灯時間初期化	→ 実行
映像ソース	：Computer
入力信号	：Analog-RGB
周波数	：H ---.---kHz
	：V ---.---Hz
同期極性	：H ------
	：V ------
同期モード	：------
入力解像度	：0x 0
リフレッシュレート	：0.0 Hz

3 「はい」を選択して、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。

ランプ点灯時間が初期化されます。

ランプ点灯時間初期化

ランプ点灯時間を初期化しますか？

はい　いいえ

■ エアーフィルタの交換方法

本機を天吊り設置している状態でもエアーフィルタの交換ができます。

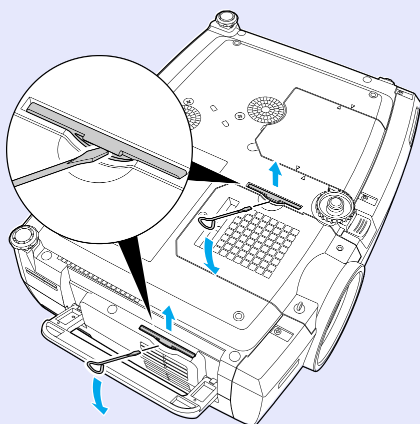
操作

1 **本機の電源を切り、クールダウン»が終了してから電源ケーブルを外します。**

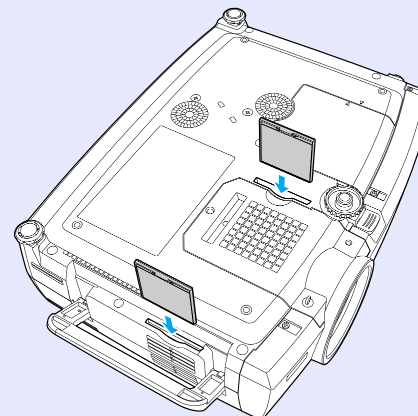
クールダウンの時間は、約30秒間です。

2 **エアーフィルタを引き抜きます。**
右図のように、くぼみに－のドライバを差し込み、まっすぐ上へ引き抜きます。

エアーフィルタは2枚あります。
側面のエアーフィルタを取り出すにはハンドルを立てて行います。



3 **新しい2枚のエアーフィルタをそれぞれ差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。**




ポイント

使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。



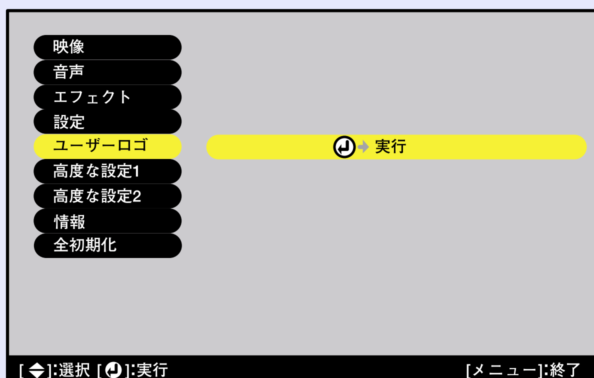
ポイント

ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

操作

1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押します。

2 「ユーザーロゴ」メニューを選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。

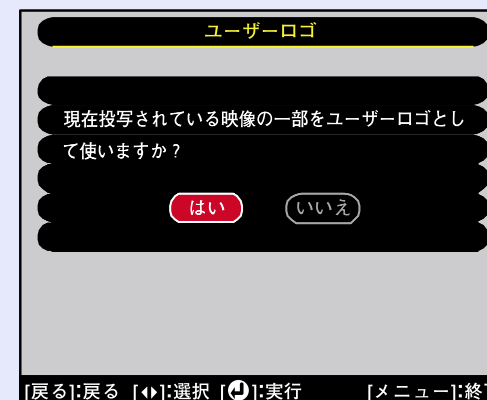




ポイント

台形補正やＥズームを行っている場合、「ユーザーロゴ」を選択すると、台形補正やEズームは解除されます。

3 サブメニューで「はい」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。





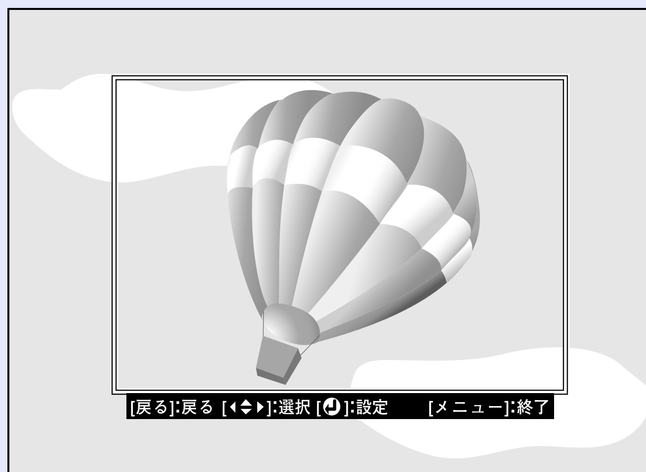
ポイント

リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押すと、映像信号の解像度のまま表示されるため、本機のパネル画素数以外の解像度の映像を投写している場合とビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変わります。



4 登録する映像と選択枠が表示されるので、使う位置を選択します。

リモコンの[◌]ボタンを傾ける、または本体の[△][▽][◁][▷]ボタンを押して、ユーザーロゴとして使いたい部分を選択した後、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整 / 決定]ボタンを押します。

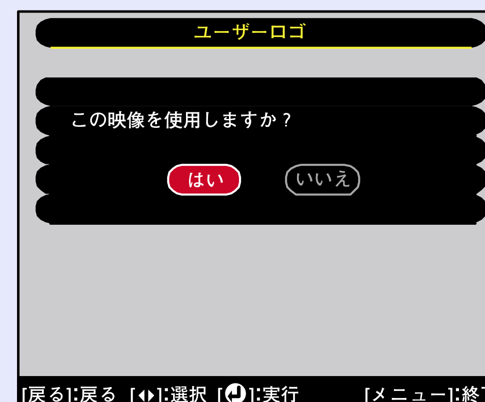




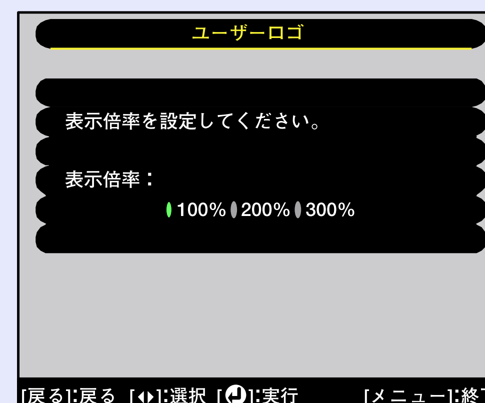
ポイント

登録できるサイズは480×360ドットです。

5 使用確認画面で「はい」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。

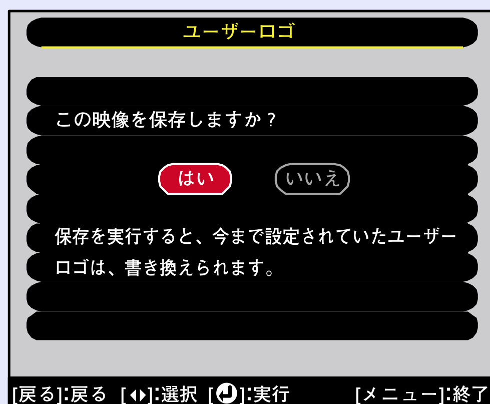


6 表示倍率設定画面で倍率を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。



7 **保存確認画面で「はい」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。**

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。




注意

- 保存にはしばらく時間がかかります（約15秒）。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。



オプション品一覧

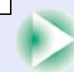
下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2003年6月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

ソフトキャリングケース　ELPKS28 **ハードトラベルケース　ELPKS29** ハンドキャリングするときに使います。
交換用ランプ　ELPLP22 **（交換用ランプとエアーフィルタ1セット（2枚））** 使用済みランプと交換します。
エアーフィルタセット　ELPAF01 **（エアーフィルタ3セット（6枚））** 使用済みエアーフィルタと交換します。
40型ウィンドウスクリーン※1　ELPHS01 **60型ウィンドウスクリーン　ELPHS03** 透過タイプスクリーンです。（アスペクト比 ➡4:3）
60型スクリーン　ELPSC07 **80型スクリーン　ELPSC08** **100型スクリーン　ELPSC10** 携帯型ロールスクリーンです。（アスペクト比4:3）
携帯スクリーン（50型）　ELPSC06 持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。（アスペクト比4:3）
コンピュータケーブル　ELPKC02 **（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m）** 製品同梱のコンピュータケーブルと同等品です。
コンピュータケーブル　ELPKC09 **（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m）** **コンピュータケーブル　ELPKC10** **（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m）** 製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。
コンピュータケーブル　ELPKC11 **（ミニD-Sub 15pin/5BNC用 1.8m）** 5BNC端子のコンピュータと接続するときに使います。
デジタルI/Fケーブル　ELPKC20 **（DVI-D オス-オス 3m）** デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュータと接続するときに使うDVI ➡用ケーブルです。
デジタルI/Fケーブル　ELPKC21 **（DVI-D/DFP20pin用 3m）** デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュータと接続するときに使うDFP ➡用ケーブルです。
D端子ケーブル　ELPKC23 **（3BNC/D端子用 3m）** BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。
リモコンケーブルセット　ELPKC28 **（φ3.5mmミニピンプラグ（オスとオス）10m）** **（φ3.5mmミニピンジャック（オスとメス）10m）** 離れたところから確実にリモコンを操作したいときに使います。
長焦点ズームレンズ※2　ELPLL05 **（投写距離比:約2.33～3.15）** **中焦点ズームレンズ※2　ELPLM03** **（投写距離比:約1.75～2.36）** 投写距離比＝投写距離/投写画面の幅 値は設置の目安です。投写条件により変わります。
天井プレート※2　ELPFC03 **パイプ370（370mm シルバー）※2　ELPFP04** **パイプ570（570mm シルバー）※2　ELPFP05** **パイプ770（770mm シルバー）※2　ELPFP06** 高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
天吊り金具※2　ELPMB13 本機を天井に取り付けるときに使います。
マルチメディアビューワー　ELPDC04 書籍などを投写するときなどに使います。

※1 40型ウィンドウスクリーンと長焦点レンズの組み合わせでは使用できません。
※2 レンズの交換、および天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

3-2 プルダウン 機能	映画フィルムと同じ24フレームで記録された映像ソースを、60フレームのプログレッシブ信号へと直接変換する機能です。これにより、24フレームで記録されたDVDソフトなどを大画面に映し出す場合にも、映画フィルムの質感を損なわず、自然で緻密な映像として再生できます。
5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
DFP	Digital Flat Panel の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレス を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DPOF	Digital Print Order Formatの略で、デジタルカメラで撮影した写真をプリントするための情報（プリントしたい写真とその枚数の指定など）を、メモリカードなどの記録媒体に記録するフォーマットです。
DVI	Digital Visual Interface の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 DVI はパソコン以外にデジタル家電もターゲットにした規格であり、DFP よりも高解像度の画像が転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
ESSID	ESSとはExtended Service Set(拡張サービスセット)の略です。ESSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。ESSIDが一致している機器どうしで無線通信できます。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度750p、1125i以上 （pはプログレッシブ 走査、iはインタレース 走査） ・画面のアスペクト比 は16:9 ・ドルビーデジタル 音声の受信、再生（あるいは出力）
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
MACアドレス	Media Access Controlアドレスの略です。MACアドレスはネットワークアダプタごとの固有のID番号です。すべてのネットワークアダプタは１つずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダプタ間の送受信が行われます。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y（輝度信号）C（色信号）の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいて、ルータやコンピュータ、端末など、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム（OS）やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。



SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。
USB	Universal Serial Busの略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,600ドット×縦1,200ドットのものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。
WEP	Wired Equivalent Privacyの略で、通信中のデータを暗号化するセキュリティ方法です。 WEPで暗号キーを登録しておくと同じ暗号キーが登録されている機器どうしでないとデータの通信が行なえなくなります。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。
YCbCr	現行のテレビ(NTSC方式)で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)PbPr(色差信号)で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4:3です。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
クールダウン	投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。リモコン、または本体の[電源]ボタンを押し電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。
ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバ(ルータ)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。 カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
スクイーズモード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。 本機のスクイーズモードを使って投写すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。
チャンネル	同じ周波数を使用して無線通信する機器が多いと、通信速度が低下します。その場合、無線LANネットワークごとに無線チャンネルを設定することで、他の無線LANの干渉を避けることができます。



同期	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社　情報機器事業部 〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピュータのIPアドレス ▸▸のことです。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア2chスピーカ、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。
フィルム判定機能	映像ソースが24Hzプログレッシブのフィルムソースかどうかを判別する機能です。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて1画面を構成する方式をいいます。
リサイズ表示	本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュータからの映像も表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。



ESC/VP21コマンド一覧

コマンドリスト

プロジェクターに電源 ON のコマンドを送信すると、プロジェクターがウォームアップ状態になります。電源 ON の状態になった時にコロン':'を返信します。
プロジェクターはコマンドを実行後、':'を返信し、次のコマンドを受け付けます。
異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に':'を送信します。

項　　目		コマンド
電源のON/OFF	ON	PWR ON
	OFF	PWR OFF
信号切り替え	コンピュータ	SOURCE 10
	DVI ▸▸	SOURCE 30
	ビデオ	SOURCE 41
	S-ビデオ	SOURCE 42
	BNC	SOURCE B0
A/Vミュート機能のON/OFF	ON	MUTE ON
	OFF	MUTE OFF
A/Vミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ユーザーロゴ	MSEL 02

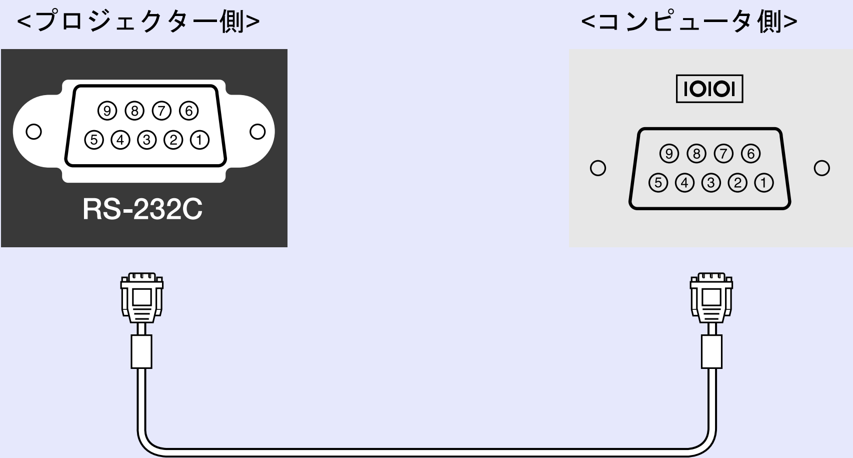
通信プロトコル

- ボーレート基準速度　:9600 bps
- データ長　:8 bits
- パリティ　:なし
- ストップビット　:1 bit
- フロー制御　:なし
- コネクタ形状　:D-sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名　:RS-232C

ケーブル配線

シリアル接続

- コネクタ形状　　　　　　:D-sub 9pin（オス）
- プロジェクター入力端子名　:RS-232C



<プロジェクター側>		(PCシリアルケーブル)	<コンピュータ側>	
GND	5	―――	5	GND
RD	2	◀―――	3	TD
TD	3	―――▶	2	RD
DTR	4	―――▶	6	DSR
DSR	6	◀―――	4	DTR

信号名	機　能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

USB 接続

- コネクタ形状　　　　:USB（Bタイプ）



※[USB TypeA]端子は、USBハブとしては使えません。

USB通信の準備

USB接続による通信で本機をESC/VP21コマンドで制御するには、事前に次の準備が必要です。

操作

1. **エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」からお使いのコンピュータに「USB 通信ドライバ(USB-COM Driver)」をダウンロードします。**
   URLは下記のとおりです。
   http://www.i-love-epson.co.jp/products/download/elp/menu.htm

2. **お使いのコンピュータにそのUSB通信ドライバをインストールします。**
   ダウンロード画面の注意事項をお読みください。

3. **本機の環境設定メニューで「高度な設定 2」→「通信ポート」を「USB」に設定します。**

4. **本機の電源を切ります。**

5. **クールダウン››が終了後、本機の電源を入れます。**
   本機の電源を入れ直した以降、USB接続による通信が可能になります。


注意

クールダウンが終了する前に電源ケーブルを抜いた場合は、通信ポートの変更は行われません。

対応解像度一覧

■ コンピュータ /RGB ビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度(ドット)	リサイズ表示時画素数(ドット)
VGAEGA		640×350	1024×560
VGA	60/72/75/85/100/120,iMac※1	640×480	1024×768
SVGA	56/60/72/75/85/100/120,iMac※1	800×600	1024×768
XGA	60/70/75/85/100/120,iMac※1	1024×768	1024×768
SXGA	70/75/85/100	1152×864※2	1024×768
SXGA	60/75/85	1280×960※2	1024×768
		1280×1024※2	960×768
SXGA+	60/75/85	1400×1050※2	1024×768
UXGA	60/65/70/75/80/85	1600×1200※2	1024×768
MAC13"		640×480	1024×768
MAC16"		832×624	1024×768
MAC19"		1024×768	1024×768
MAC21"		1152×870※2	1016×768
SDTV (525i,525p,625i,625p)			1024×768 (4:3アスペクト比) 1024×576 (16:9アスペクト比)
HDTV (750p)			1024×576
HDTV (1125i,1125p)			1024×576

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。
※2 リアル表示時は仮想(ウィンドウ)表示になります。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。
ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

■ コンポーネントビデオ

信号	表示モード(ドット)	
	4:3アスペクト比表示	16:9アスペクト比表示
SDTV (525i,525p,625i,625p)	1024×768	1024×576
HDTV (750p) 16:9	—	1024×576
HDTV (1125i) 16:9	—	1024×576

■ コンポジットビデオ /S- ビデオ

信号	表示モード(ドット)	
	4:3アスペクト比表示	16:9アスペクト比表示
TV (NTSC)	1024×768	1024×576
TV (PAL,SECAM)	1024×768	1024×576

仕様一覧

商品名	マルチメディアプロジェクター　EMP-7850
外形寸法	幅419×高さ117×奥行き325mm(フット含まず)
パネルサイズ	1.0型
表示方式	ポリシリコンTFT
画素数	XGA 786,432個(横1024×縦768ドット)×3
フォーカス調整	手動式
ズーム調整※1	手動式(約1:1.35)
ランプ(光源)	UHEランプ　定格250W　型番:ELPLP22
音声最大出力	5Wモノラル
スピーカ	1個
電源	100-240V±10%、50/60Hz AC 定格消費電力350W スタンバイ時 ネットワーク無効:1.5W(100V時) ネットワーク有効:47W(100V時)
使用温度範囲	+5℃～+35℃(結露しないこと)
保存温度範囲	−10℃～+60℃(結露しないこと)
質量	約5.8kg
接続端子	DVI端子: 1系統 DVI-D コンピュータ端子: 1系統 ミニD-Sub 15pin(メス) 青色 音声入力端子: 1系統 ステレオミニピンジャック
	USB端子※2: 2系統 USBコネクタ(A、Bタイプ)
	BNC端子: 1系統 5BNC(メス) 音声入力端子: 1系統 RCAピンジャック×2(L,R)
	S-ビデオ端子: 1系統 ミニDIN 4pin 音声入力端子: 1系統 RCAピンジャック×2(L,R)
	ビデオ端子: 1系統 RCAピンジャック 音声入力端子: 1系統 RCAピンジャック×2(L,R)
	RS-232C端子: 1系統 D-Sub 9pin(オス)
	リモート端子: 1系統 ステレオミニピンジャック
	モニタ出力端子: 1系統 ミニD-Sub 15pin(メス) 黒色
	音声出力端子: 1系統 ステレオミニピンジャック
Card Slot(カードスロット)	PCMCIA TypeII スロット×1

※1 標準レンズを装着した場合です。オプションレンズを装着している場合は、レンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。
※2 USB端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。



本機にはPixelworks DNX™のICが搭載されています。

Safety

USA
UL1950 3rd Edition
Canada
CSA C22.2 No.950-95 (cUL)
European Community
The Low Voltage Directive (73/23/EEC)
IEC60950 2nd Edition, +Amd.1, +Amd.2, +Amd.3, +Amd.4

EMC

USA
FCC 47CFR Part15B Class B (DoC)
Canada
ICES-003 Class B

European Community
The EMC Directive (89/336/EEC)
EN55022, 1998 Class B
EN55024, 1998
IEC61000-4-2, IEC61000-4-3, IEC61000-4-4, IEC61000-4-5,
IEC61000-4-6, IEC61000-4-8, IEC61000-4-11,
IEC61000-3-2, IEC61000-3-3

Australia/New Zealand
AS/NZS 3548:1995, A1:1997, A2:1997 Class B
CISPR Pub.22:1993, A1:1995, A2:1996, Class B

DECLARATION of CONFORMITY
According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We	:EPSON AMERICA, INC.
Located at	:3840 Kilroy Airport Way MS: 3-13 Long Beach, CA 90806
Tel	:562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name	:EPSON
Type of Product	:Projector
Model	:EMP-7850

FCC Compliance Statement
For United States Users

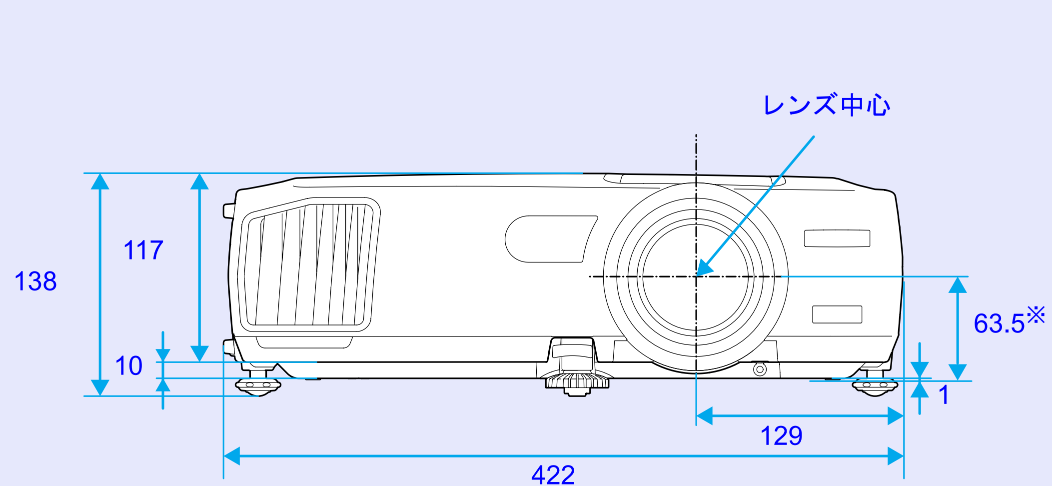
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

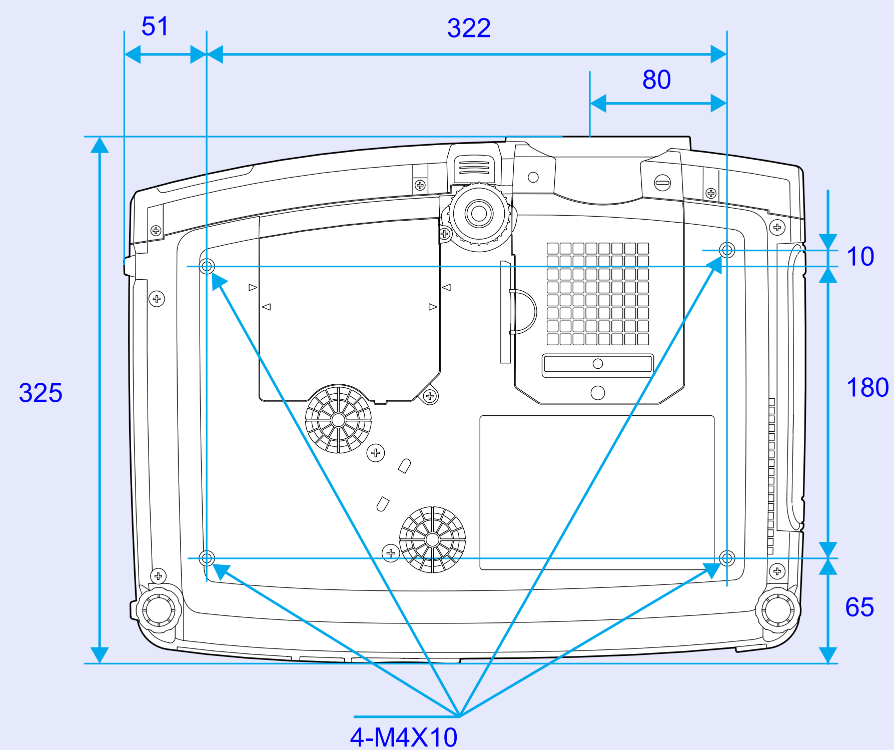
WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user’s authority to operate the equipment.

外形寸法図



※レンズ中心から天吊固定部までの寸法



単位:mm



ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/Vは、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer Inc. の登録商標です。
Windows、Windows NTは米国マイクロソフト社の商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
Pixelworks、DNXはPixelworks社の商標です。
EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
The freely available TIFF library written by Sam Leffler, Copyright © 1988-1997 Sam Leffler and Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc., is used for loading, drawing and writing the TIFF file.
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570ー004141（全国ナビダイヤル）【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
*修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話 0570ー090ー090（全国ナビダイヤル）【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
0570ー004110（全国ナビダイヤル）【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）
*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/
エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！ http://myepson.i-love-epson.co.jp/ ▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社（ホームページアドレス http://www.epson-supply.co.jp/ またはフリーダイヤル0120ー251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

21113002